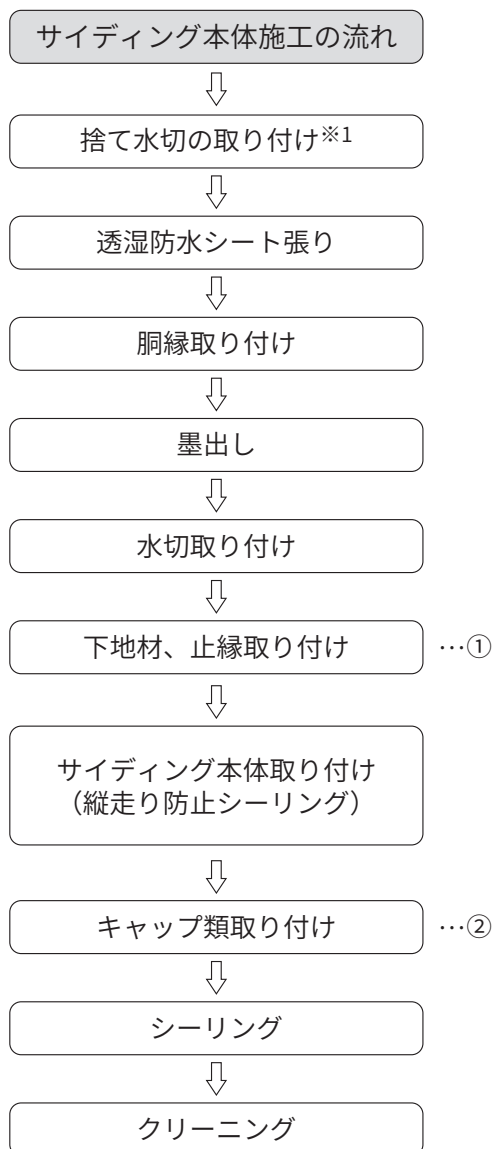


5 施工の手順とポイント

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 施工の流れ | ・・・・・・・・ P13 |
| 2. 下地の施工 | ・・・・・・・・ P14 |
| 3. 本体、部材の施工 | ・・・・・・・・ P17 |
| 4. 連窓の施工について | ・・・・・・・・ P25 |

1. 施工の流れ



※ 1 水切25を使用する場合。

① 先付け部材

② 後付け部材

部位	必要部材	手順
土台部	水切25 縦用スターター25 アルミ縦用スターター25	① ① ①
出隅部	〔 出隅下地25N 3M出隅キャップ15-25 4M出隅キャップ15-25 〕	① ② ②
入隅部	止縁C25	①
縦継ぎ部	水切25 縦用スターター25	① ①
軒部	通気軒見切15-25 止縁C25 〔 止縁捨板15-25 止縁キャップ25 〕	① ① ① ②
見切り下屋部	-	-
笠木部	水切（現場加工） 縦用スターター25	① ①
下がり壁部	下がり壁水切（現場加工）	①
開口部	上	捨板（15×85） 止縁C25※2 ① ①
	左右・下	〔 止縁C25 止縁捨板15-25 止縁キャップ25 〕 ① ① ②
	隅角	ワンタッチコーナー キャップ15-25 ②

注）部材の 〔 〕 内はセットで使用してください。商品毎に対応部材が異なります。
各商品の部材規格をご確認ください。

※ 2 水抜き穴（Φ5@300mm）の現場加工が必要です。

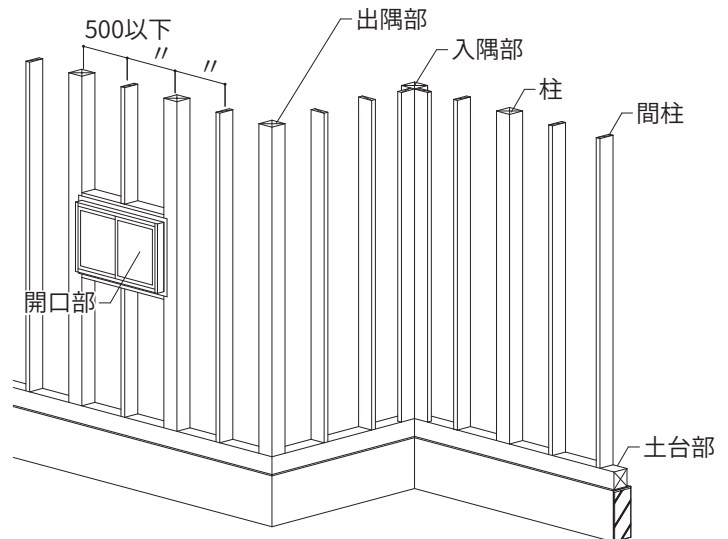
① 先付け部材

② 後付け部材

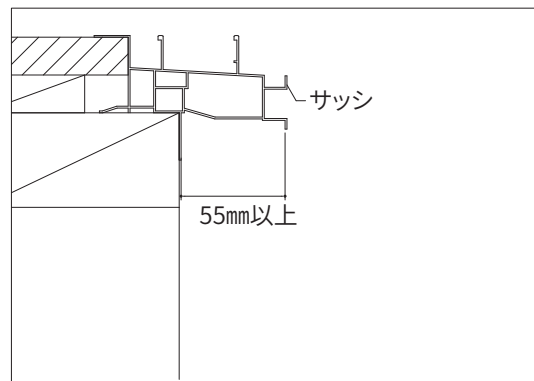
2. 下地の施工

①柱・間柱・サッシなどのチェック

- デザイン、作業効率、材料のロス、開口部の位置などを考慮して、本体のジョイント位置を決めます。
- 本体が極端に短くならないよう注意してください。
- 各取り合い部には予め複数の部材を用意しています。デザイン性・施工性を考慮し選択してください。その際、キャップ類と捨板類の組み合わせについて間違いがないか確認してください。

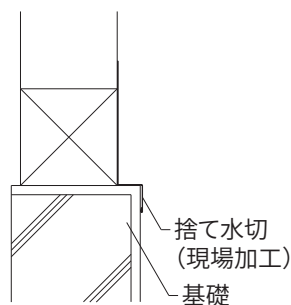


- サッシは、下地表面からの出幅が55mm以上を使用してください。

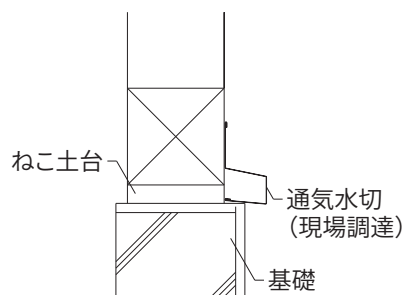


②捨て水切または水切 (現場調達) の取り付け

○水切25を使用する場合



○水切 (現場調達) を使用する場合

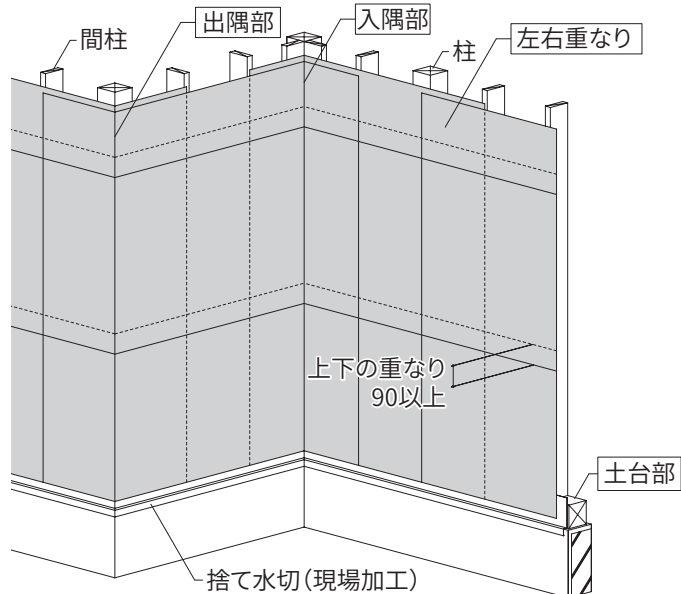


2. 下地の施工

③透湿防水シート張り

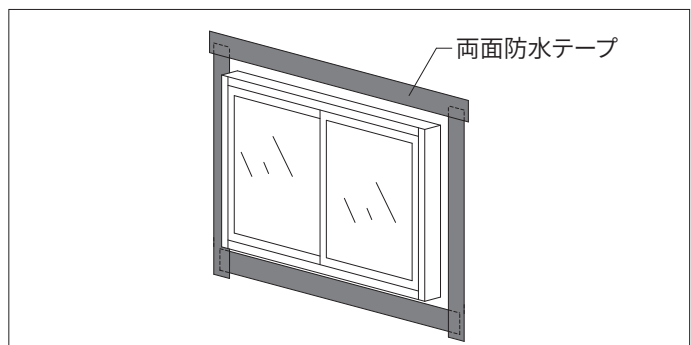
1) 一般部

- 透湿防水シートは横張りを原則とし、下から上へ張り上げてください。重ね合わせは鉛直方向で、90mm以上、水平方向で耐力面材のない場合は、間柱(柱)と間柱の間とし、耐力面材のある場合は150mm以上としてください。
- 換気口、配管回り、その他の壁貫通口などの周囲は、防水テープを貼り、すき間ができないように透湿防水シートと密着してください。



2) 開口部

- 開口部では、サッシ枠周囲に両面防水テープを貼り、すき間ができないよう防水紙を密着してください。



④胴縁の取り付け

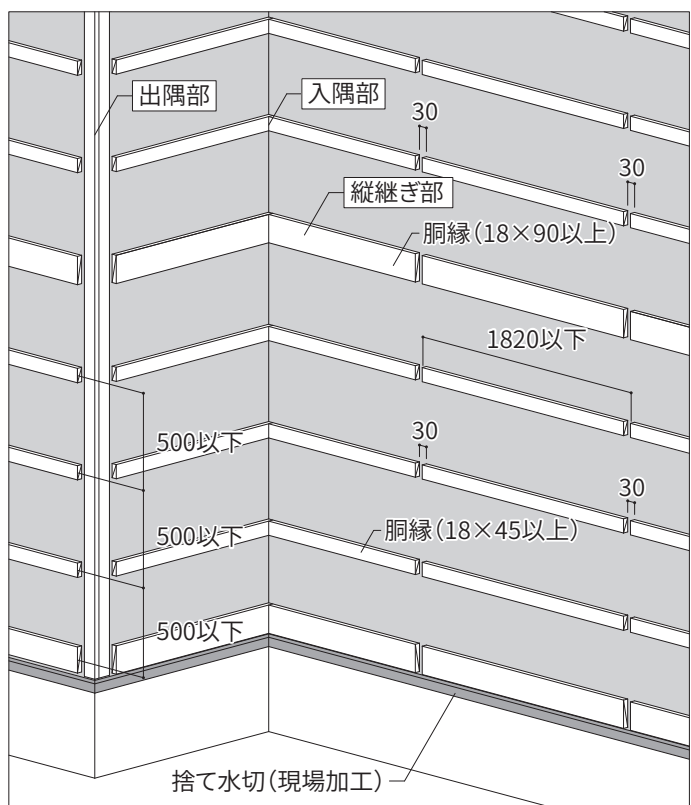
次の胴縁を施工してください。

胴縁間隔: 500mm以下

部位	胴縁サイズ※1
一般部 出隅部	18×45mm以上
土台部 縦継ぎ部 軒部 開口部	18×90mm以上、 または18×45mm以上(ダブル)

- 積雪地域では、雪の積もる高さまで、胴縁間隔を狭くするなどの対処をしてください。

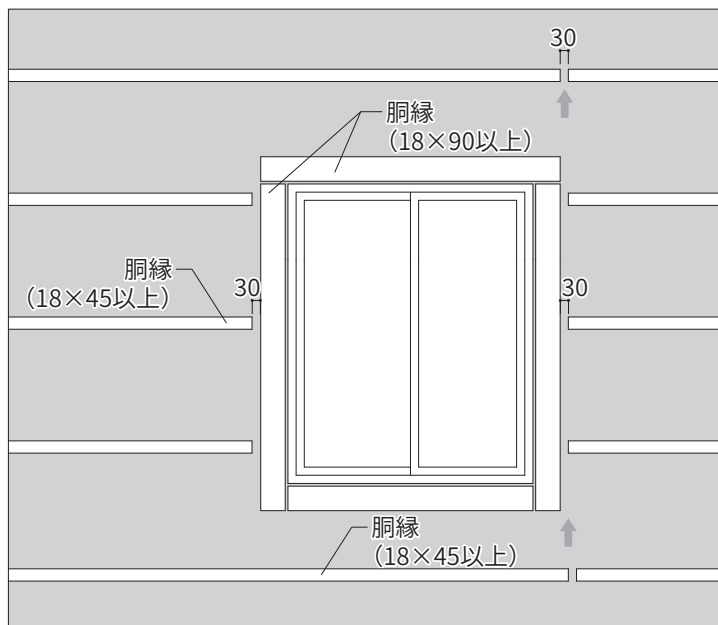
※1 横胴縁は、直接商品を留め付けるため、十分な強度が必要になります。防耐火構造認定では、15×45mm以上を取得していますが、厚さ18mmを推奨しています。



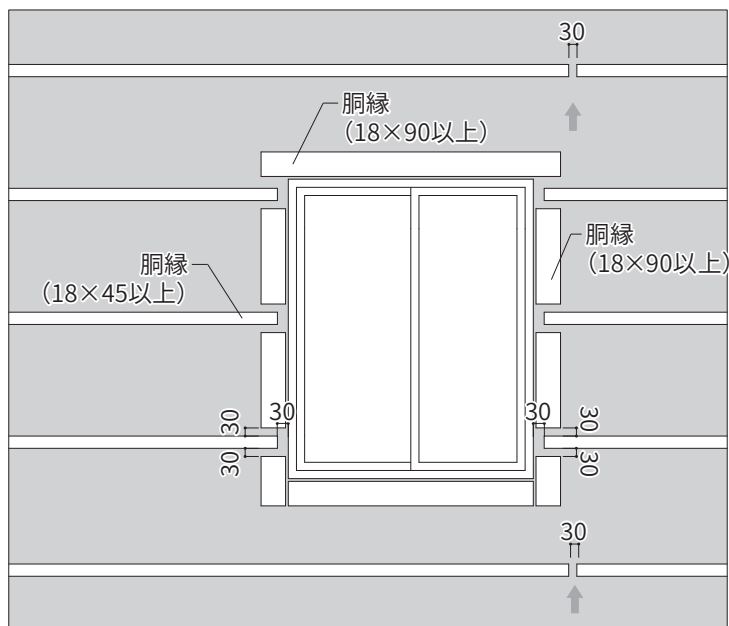
2. 下地の施工

・開口部

開口部周囲の胴縁は、30mm程度のすき間をあけ、通気を妨げないように施工してください。



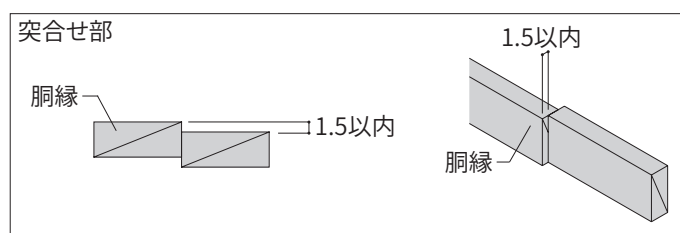
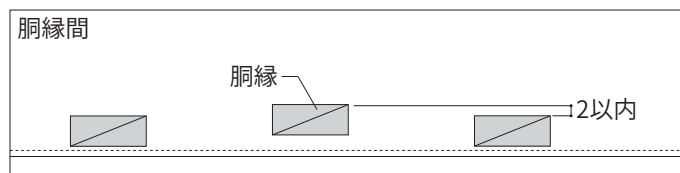
横胴縁がサッシ左右に留め付けられない場合は、右図のように配置してください。



・胴縁の不陸

本体を施工する前に、胴縁の不陸を確認し調整をしてください。

胴縁間の不陸は、2mm以内、突合せ部は1.5mm以内としてください。SP-ガラスクエアは、表面がフラットです。表面のゆがみや下地の跡が強調される場合があります。



3. 本体、部材の施工

①先付け部材の施工(1階部分)

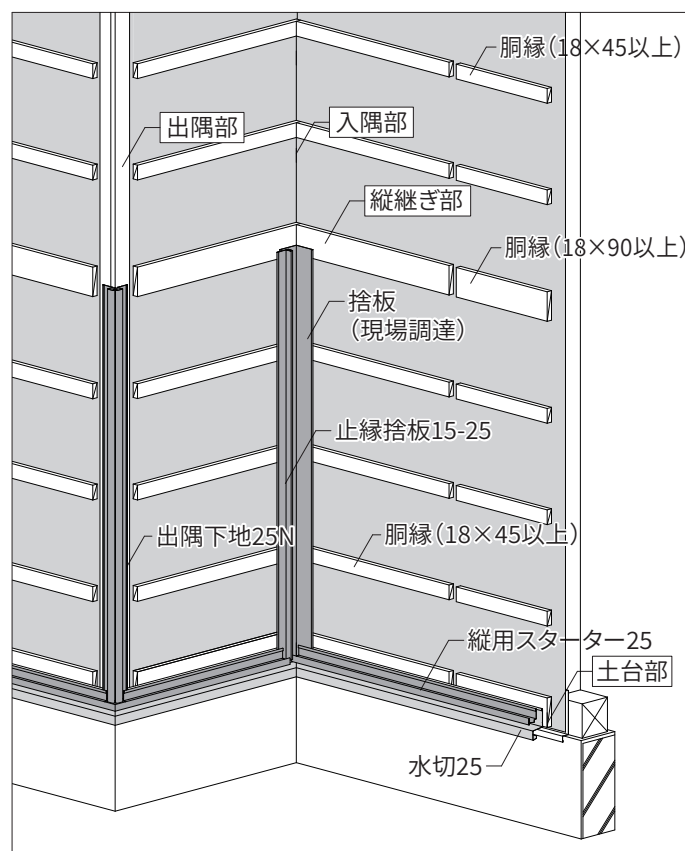
1) 部材の施工順序(縦継ぎを設ける場合)

施工順序	部位	部材名
1	土台部	水切25
2	出隅部	出隅下地25N
3	入隅部	止縁C25または止縁捨板15-25 捨板(現場加工)
4	土台部	縦用スターター25 または アルミ縦用スターター25

2) 部材の施工順序(縦継ぎを設けない場合)

- ・準標準品などの長尺を使用し、縦継ぎを設けない場合は、次の順序で施工してください。

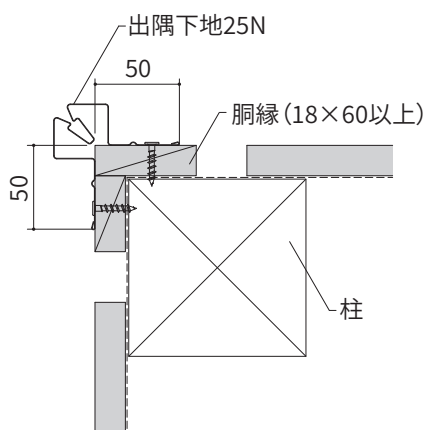
施工順序	部位	部材名
1	土台部	水切25
	軒部	止縁C25または止縁捨板15-25
2	出隅部	出隅下地25N
3	入隅部	止縁C25または止縁捨板15-25 捨板(現場加工)
4	土台部	縦用スターター25または アルミ縦用スターター25



- ・7.部材の加工例とつなぎ方を併せて参照ください。
- ・縦用スターター25を土台に施工する場合は、部材の加工方法によって施工順序が異なる場合があります。

3) 墨出し

- ・墨出しを行い、先付け部材を水平、垂直に施工してください。



5. 施工の手順とポイント

単位：mm

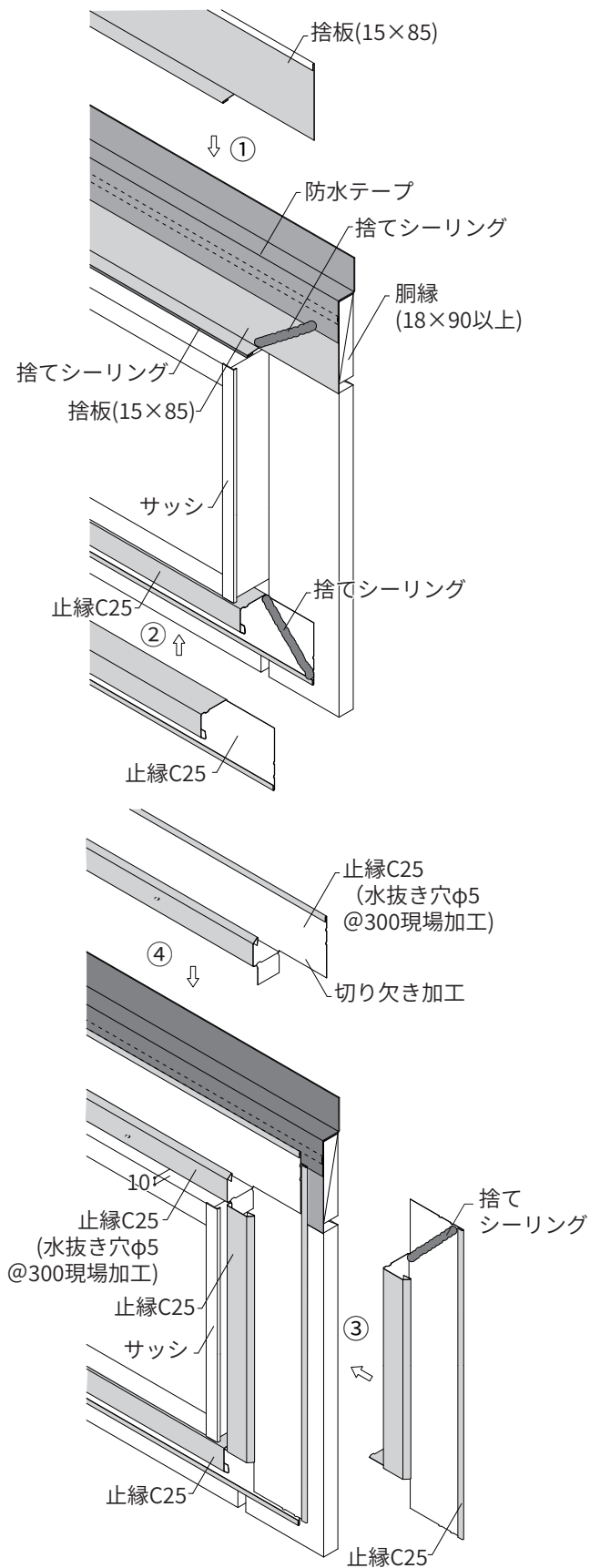
3. 本体、部材の施工

4) 開口部：部材の施工順序

・次の順序で施工してください。

施工順序	部位	部材名
1	開口部上	捨板(15×85)
2	開口部下	止縁C25または止縁捨板15-25
3	開口部左右	止縁C25または止縁捨板15-25
4	開口部上	止縁C25(現場加工水抜き穴)
5	隅角部	ワンタッチコーナーキャップ15-25

・複数の部材を準備しています。デザイン性、施工性を考慮して選択してください。詳細は、6.各部位の納まり図を併せて参照してください。

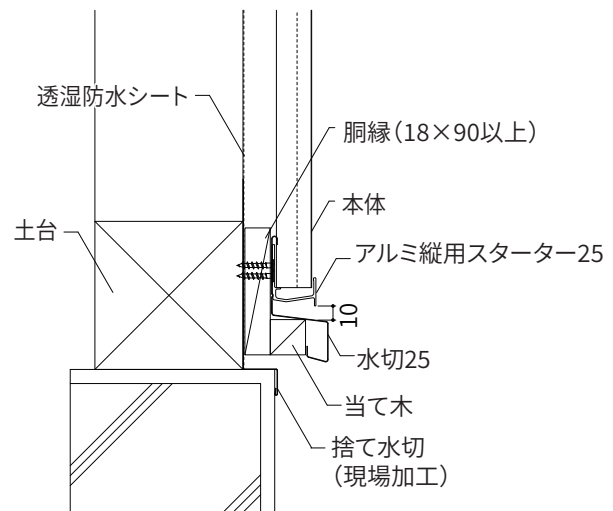


3. 本体、部材の施工

5) 積雪の影響(雪の負荷)のある地域

土台部や下屋見切り部では、雪の重みで本体や部材が変形するおそれがありますので、次の対処をしてください。

- 雪の積もる高さまで胴縁の間隔を狭くするなどの対処をしてください。
- 水切25には、図のように当て木を入れるなどの対処をしてください。
- 本体と部材は、積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください。
- 縦用スターター25ではなく、アルミ縦用スターター25の使用をお勧めします。



② 本体の施工 (1階部分)

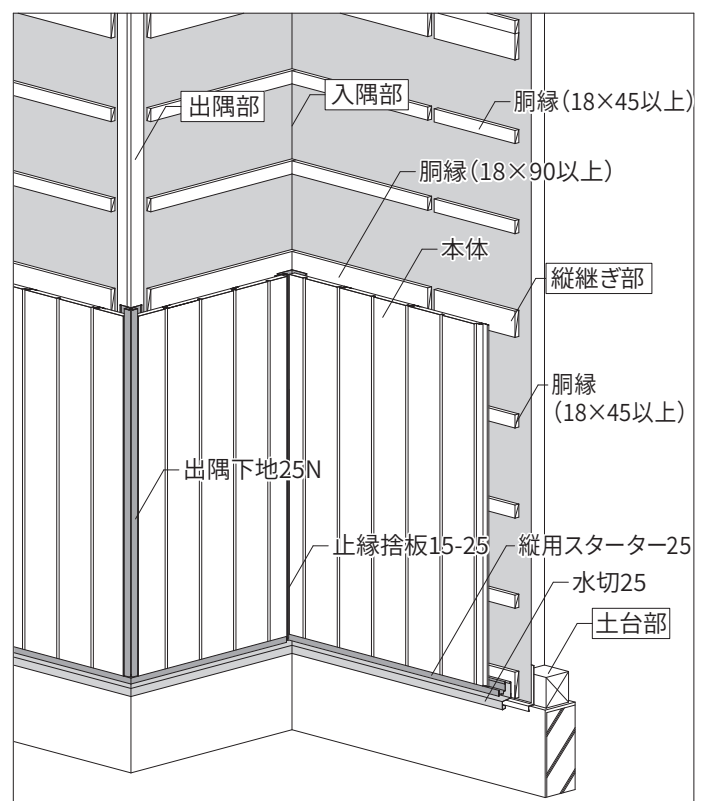
6. 各部位の納まり図を併せて参照してください。

1) 墨出し

働き幅に合わせ墨出しを行ってください。

2) 本体の施工

本体は、働き幅で施工してください。働き幅より広い幅で施工すると、水密性や耐風圧強度などで十分な性能を発揮できなくなるおそれがあります。本体の張り終わりと張り始めを留め付ける場合は、下穴をあけてから、脳天打ちをしてください。脳天打ちの留め具は、スクリューぐを推奨します。

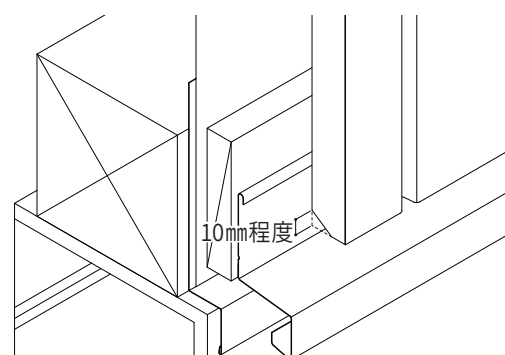


• 本体の切断

各施工箇所に合わせて、本体を切断してください。

切断時に発生するバリや切粉を放置すると、さびや汚れの原因になります。速やかに除去してください。

本体を切断して納める際は、本体下部からしん材を10mm程度取り除いてください。

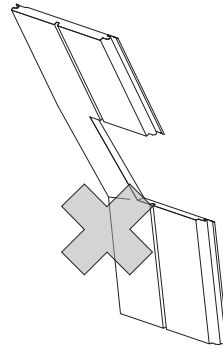


3. 本体、部材の施工

3) 開口部：本体の施工

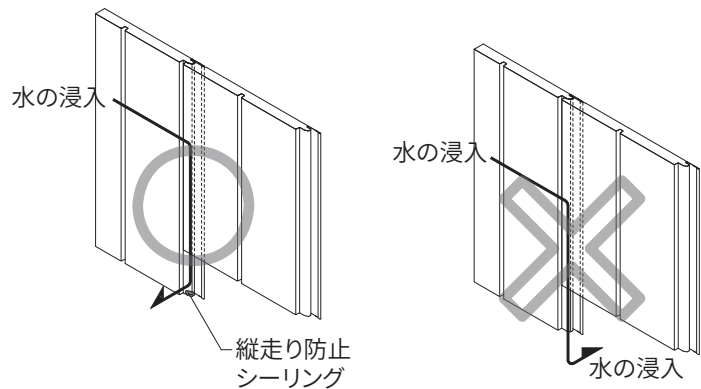
• 本体の切断と施工

割り付けを行って無理な力がかからないように施工してください。無理に押し込むとゆがみの原因になります。しん材が破損した本体は使用しないでください。



• 縦走り防止シーリング

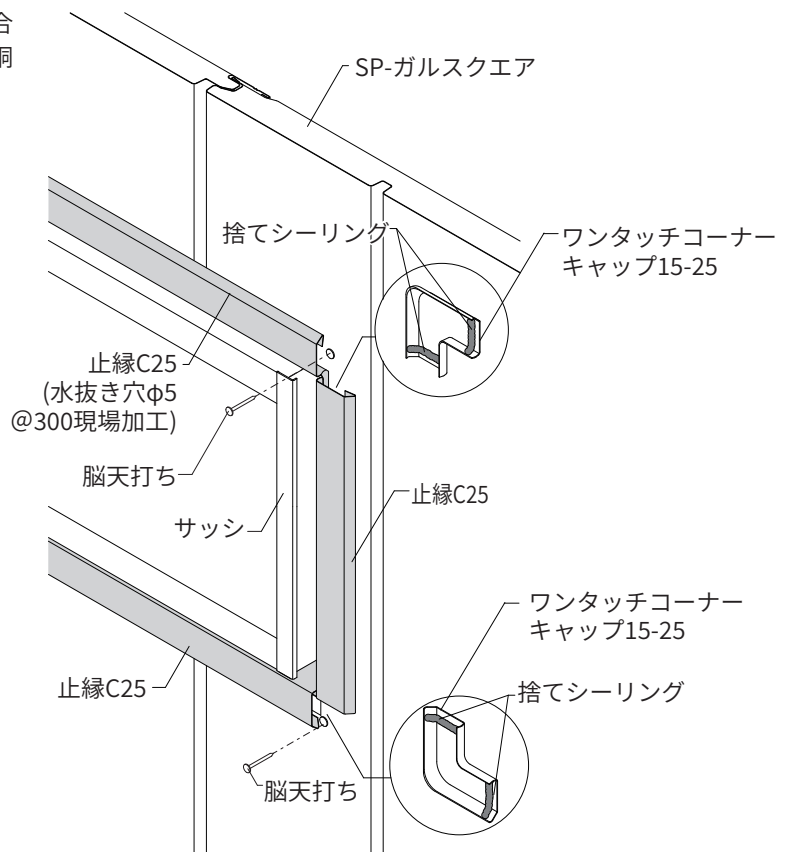
開口部上の止縁C25を使用する場合は、本体端部からの雨水の浸入を防ぐため、本体一枚ごとに縦走り防止シーリング材を施工してください。



• 縦走り防止シーリングは、本体の施工後に部材と本体の間に行うシーリング材とつながるように施工してください。

• 本体の留め付け

本体は、必ず胴縁に留め付けてください。かん合部を切り欠いた場合は、脳天打ちをして本体を胴縁に留め付けてください。



3. 本体、部材の施工

③後付け部材の施工(1階部分)

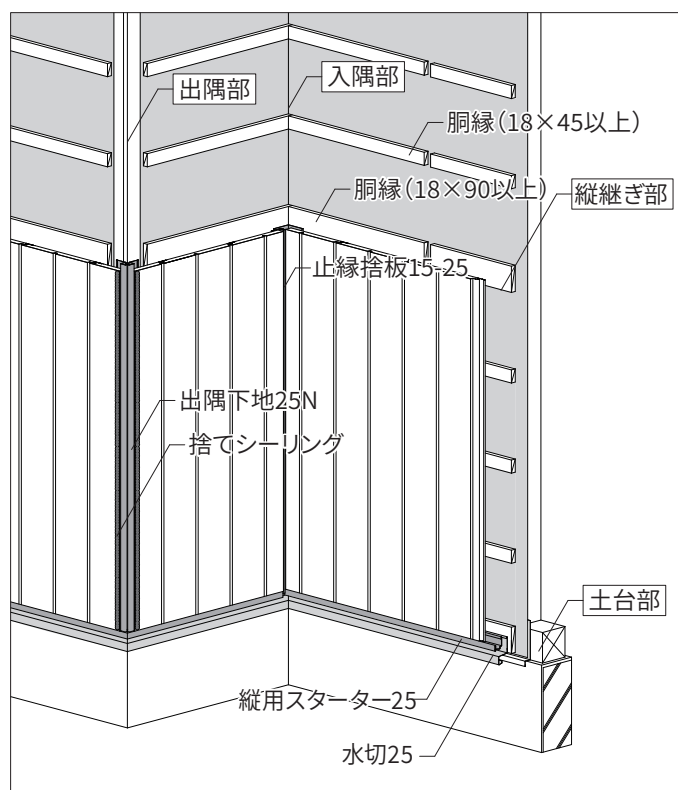
1) 捨てシーリングの施工

- 指定箇所に捨てシーリングを施工してから、後付け部材を施工してください。

施工 順序	部位	部材名
1	出隅部	3M/4M出隅キャップ15-25
2	入隅部	止縁キャップ25

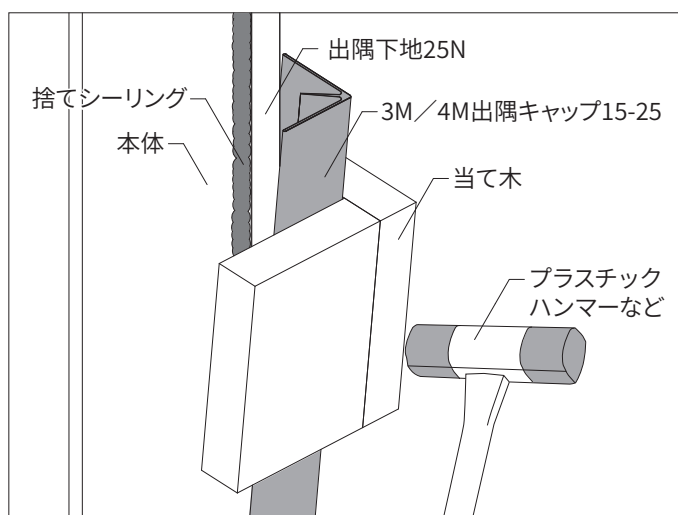
2) 部材の加工方法

- 各部位に合わせて部材を加工してください。部材の端部には、切り欠き加工がされています。7.部材の加工例とつなぎ方を参照してください。



3) キャップ部材の施工

- 出隅キャップが出隅下地25Nにはまりにくい場合は、当て木の上からプラスチックハンマーなどで出隅キャップを下から順にたたいて、はめてください。はめた後は、3M/4M出隅キャップ15-25を軽く引っ張り、がたついたり出隅下地25Nから抜けたりしないことを確認してください。止縁キャップ25も同様に確認してください。



5. 施工の手順とポイント

単位：mm

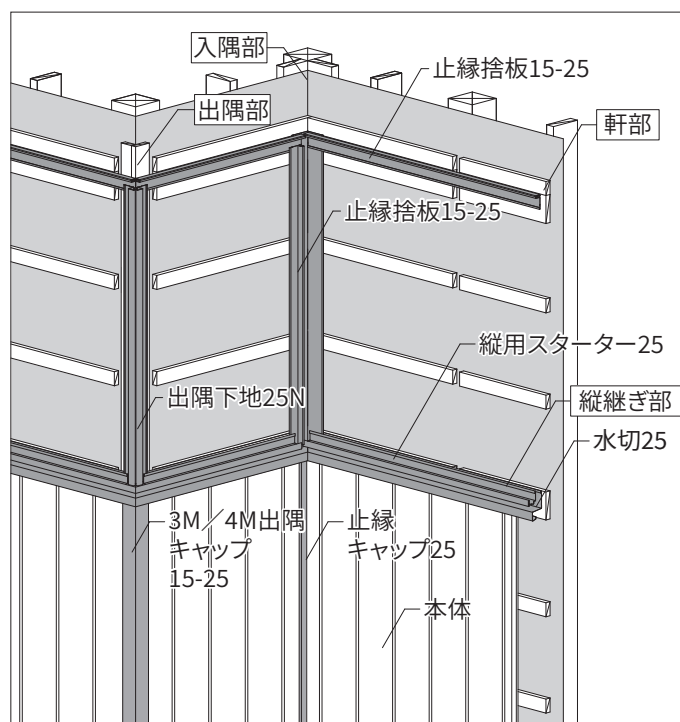
3. 本体、部材の施工

④ 先付け部材の施工 (2階部分)

1) 部材の施工順序

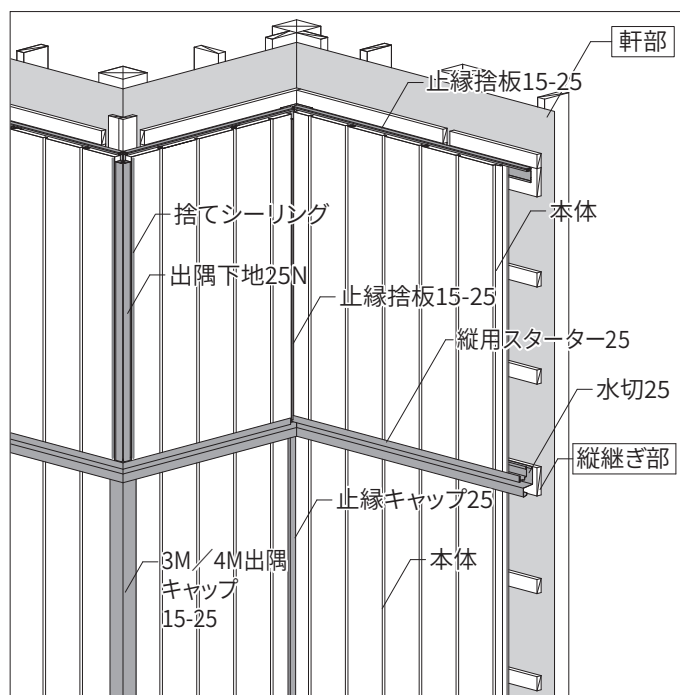
- 本体の高さに合わせて、下から順に張り上げてください。

施工順序	部位	部材名
1	縦継ぎ部	水切25
	軒部	止縁C25または止縁捨板15-25
2	出隅部	出隅下地25N
3	入隅部	止縁C25または止縁捨板15-25
4	縦継ぎ部	縦用スターター25



⑤ 本体の施工 (2階部分)

- 各部位に、先付け部材が施工されていることを確認してから、本体を施工してください。
- 施工方法は、②本体の施工 (1階部分) と同様です。
1階部分の本体と2階部分の本体のかん合目地がそろるように、墨出し線に合わせて施工してください。



5. 施工の手順とポイント

単位：mm

3. 本体、部材の施工

⑥後付け部材の施工（2階部分）

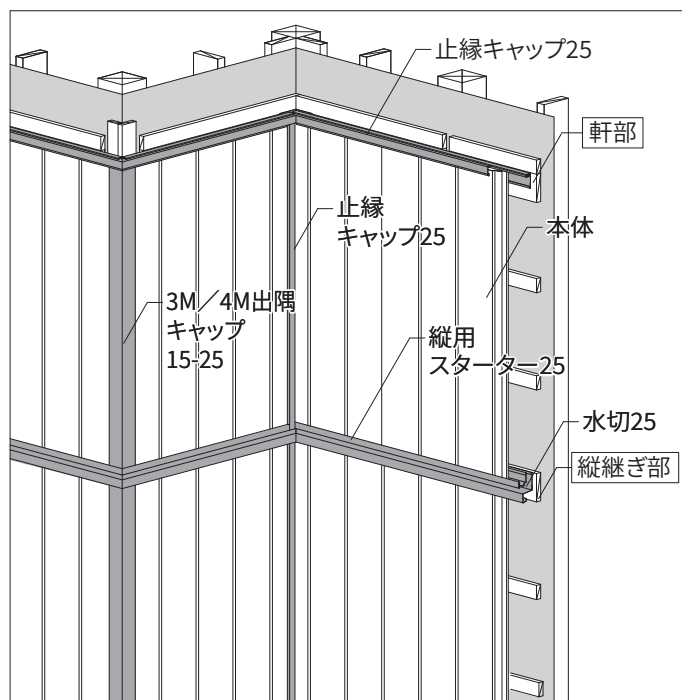
1) 部材の施工順序

- 本体の高さに合わせて、下から順に張り上げてください。

施工順序	部位	部材
1	軒部	止縁キャップ25
2	出隅部	3M／4M出隅キャップ15-25
3	入隅部	止縁キャップ25

2) 捨てシーリングの施工

- 指定箇所に捨てシーリングを施工してから、後付け部材を施工してください。



⑦シーリング材の施工

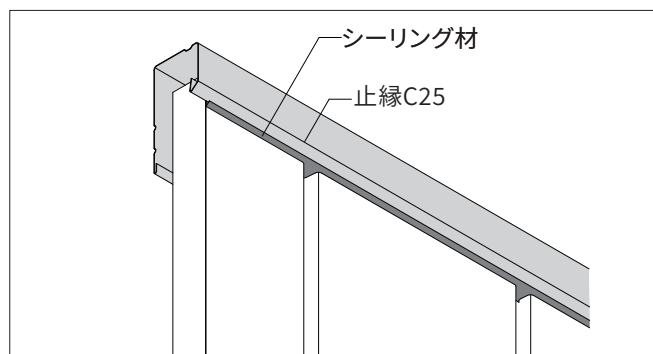
1) シーリング材を施工する位置

- 本体と部材の間
雨水の浸入を防ぐため、6.各部位の納まり図を参照しシーリング材を施工してください。

- 脳天打ちしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装をしてください。

• シーリング材を施工する際の注意

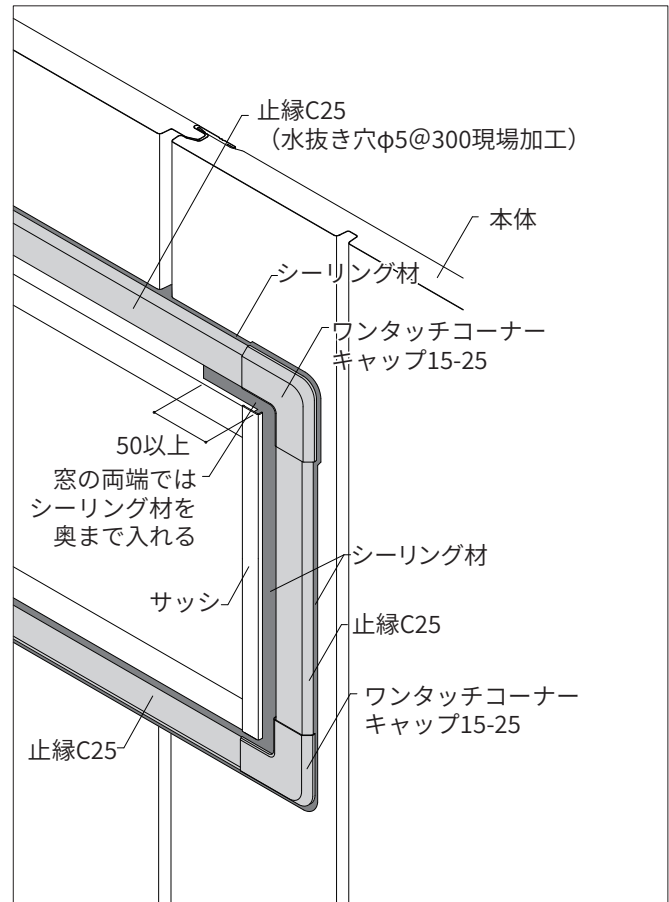
シーリング材は、接着面が乾燥している状態で施工してください。接着面が高温の場合には、施工を控えてください。また、水分、油分、ほこりなどにも注意してください。



3. 本体、部材の施工

2) 開口部

- 部材とサッシの間、本体と部材の間
すき間から雨水の浸入を防ぐため、6.各部位の納まり図を参照し、シーリング材を施工してください。
- 止縁C25とサッシの間（開口部上）左右両端50mm程度にシーリング材を奥まで入れてください。

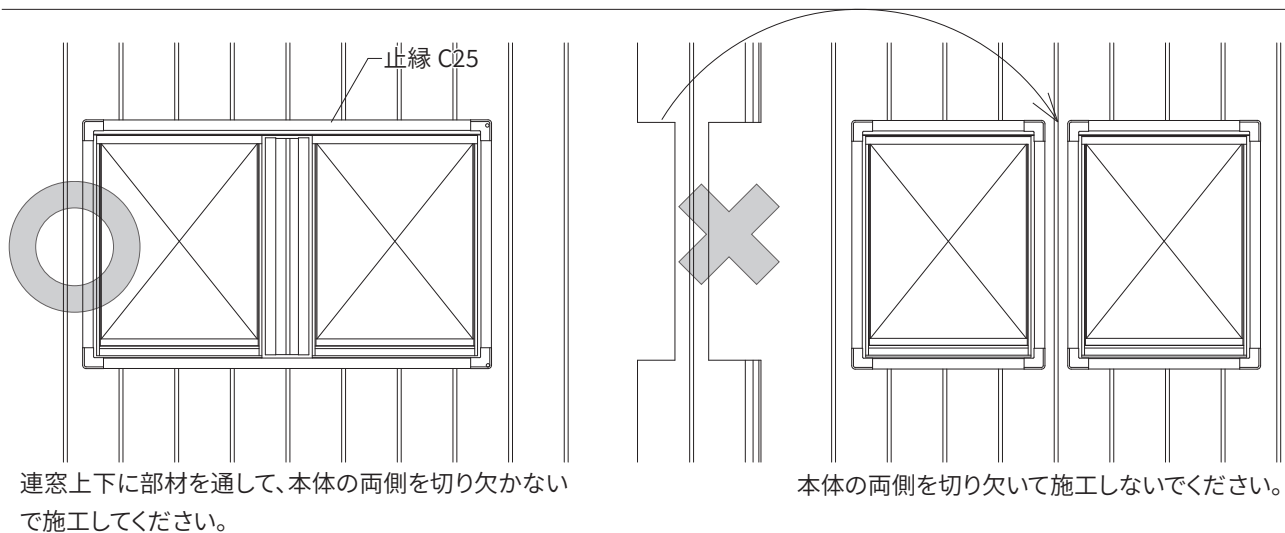


⑧補修・点検・片づけ

- キズがあった場合は、タッチアップペイントで補修してください。
- 後付け部材が先付け部材にはまっていることを確認してください。

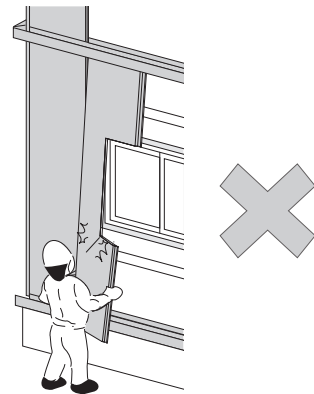
4. 連窓の施工について

① 本体の切り欠き方の制限



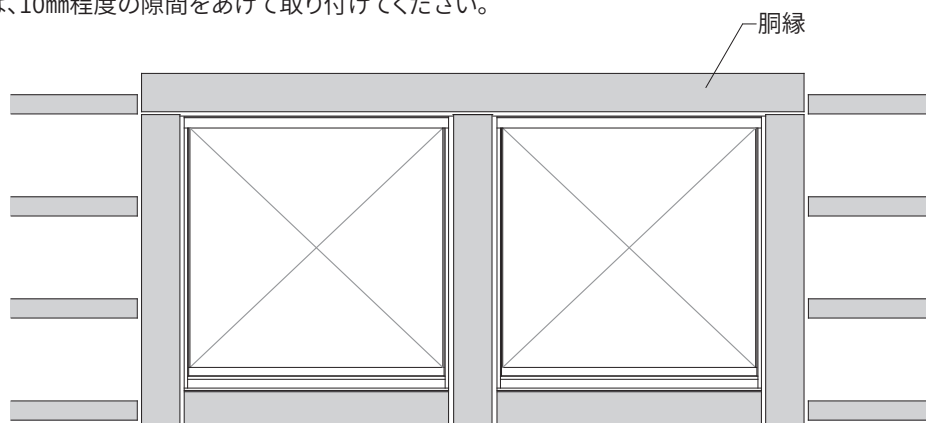
② 開口部での部材の施工

- 開口部に切り欠いた本体を施工する場合、部材は止縁キャップ25と止縁捨板15-25の使用をおすすめします。止縁C25を使用した場合、たて張りの窓脇では、止縁C25に差し込むために本体を変形させるか止縁C25を広げる必要があり、歪の原因になります。



③ 連窓の場合の胴縁の配置

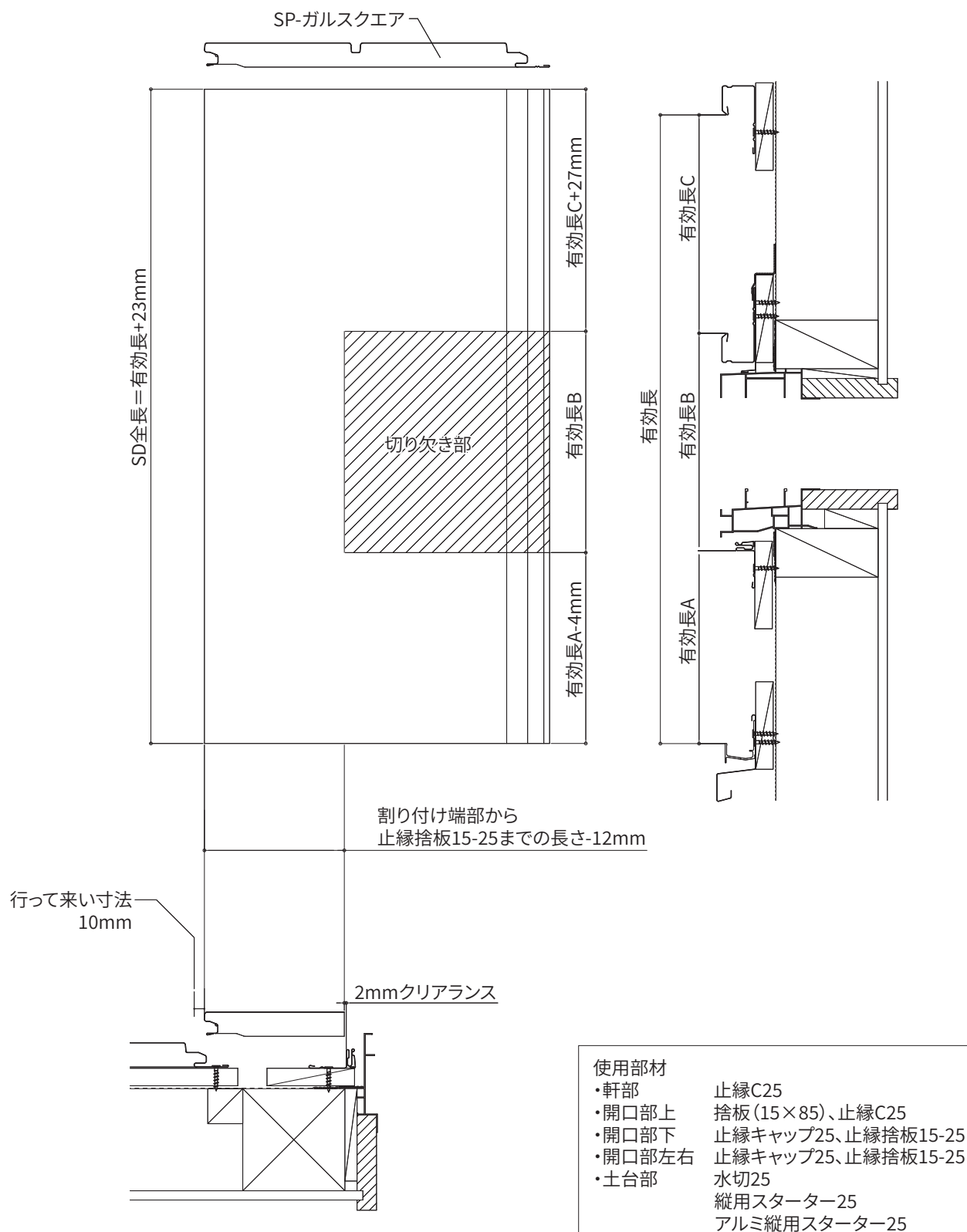
- 開口部の胴縁同士は、10mm程度の間隙をあけて取り付けてください。



4.連窓の施工について

④本体のくぎ打ち部を切欠いて施工する場合の寸法取りについて

- 本体のくぎ打ち部側を切り欠いて開口部左右に施工する場合、次の寸法で加工してください。
寸法を確認し本体をひねったりねじったりせずに部材へ納めてください。



4. 連窓の施工について

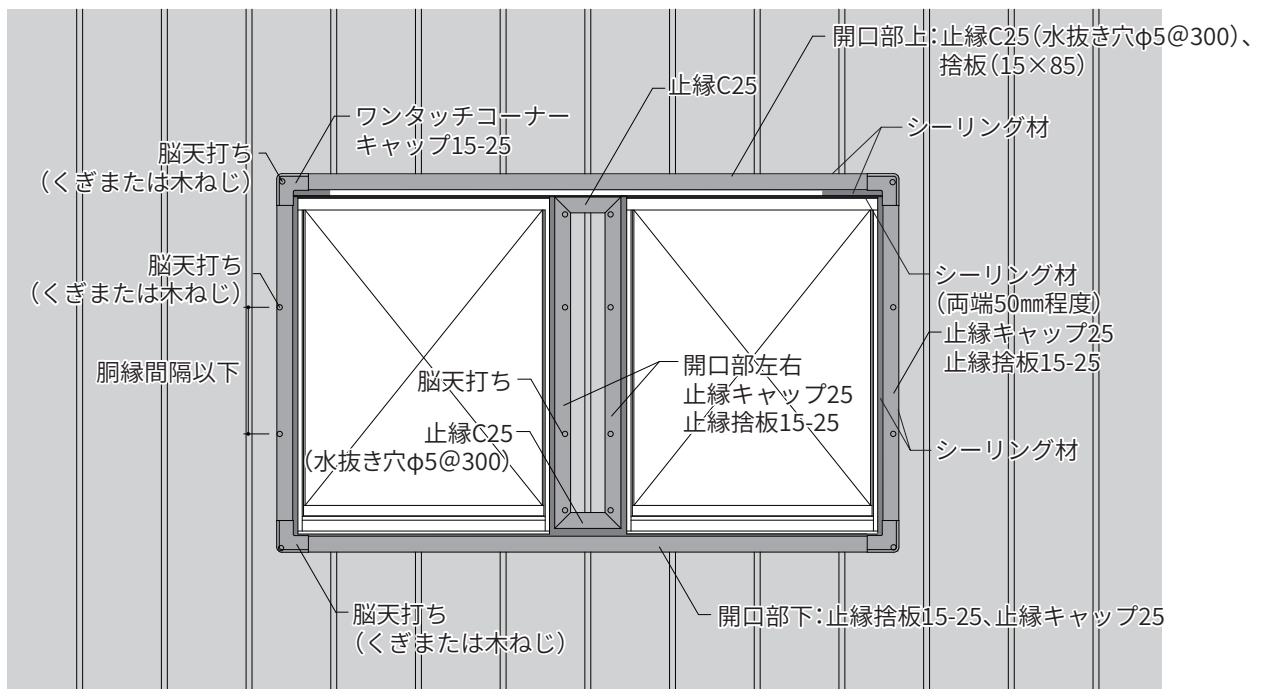
⑤連窓中間部の納め方

- ・サッシに標準部材として目板がある場合は目板を取り付けてください。または次のように本体と部材を加工してください。脳天打ちは、スクリーク（φ2.75×L50以上）または木ねじ（L50以上）を使用してください。

1) 部材で納める場合

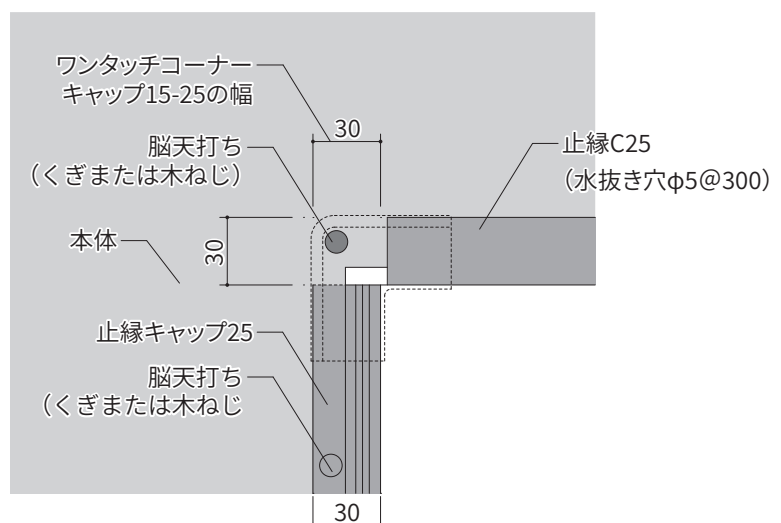
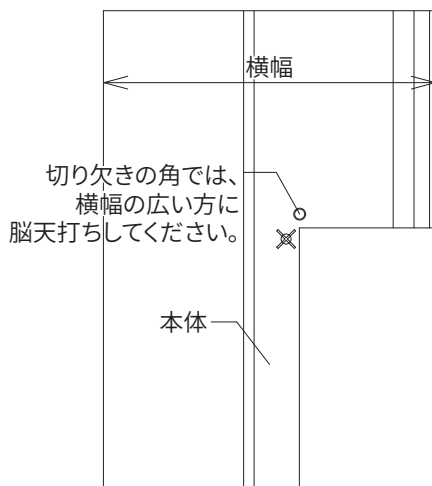
連窓中間部の上と連窓中間部の下：止縁C25（水抜き穴φ5@300）

連窓中間部の両脇：止縁捨板15-25と止縁キャップ25

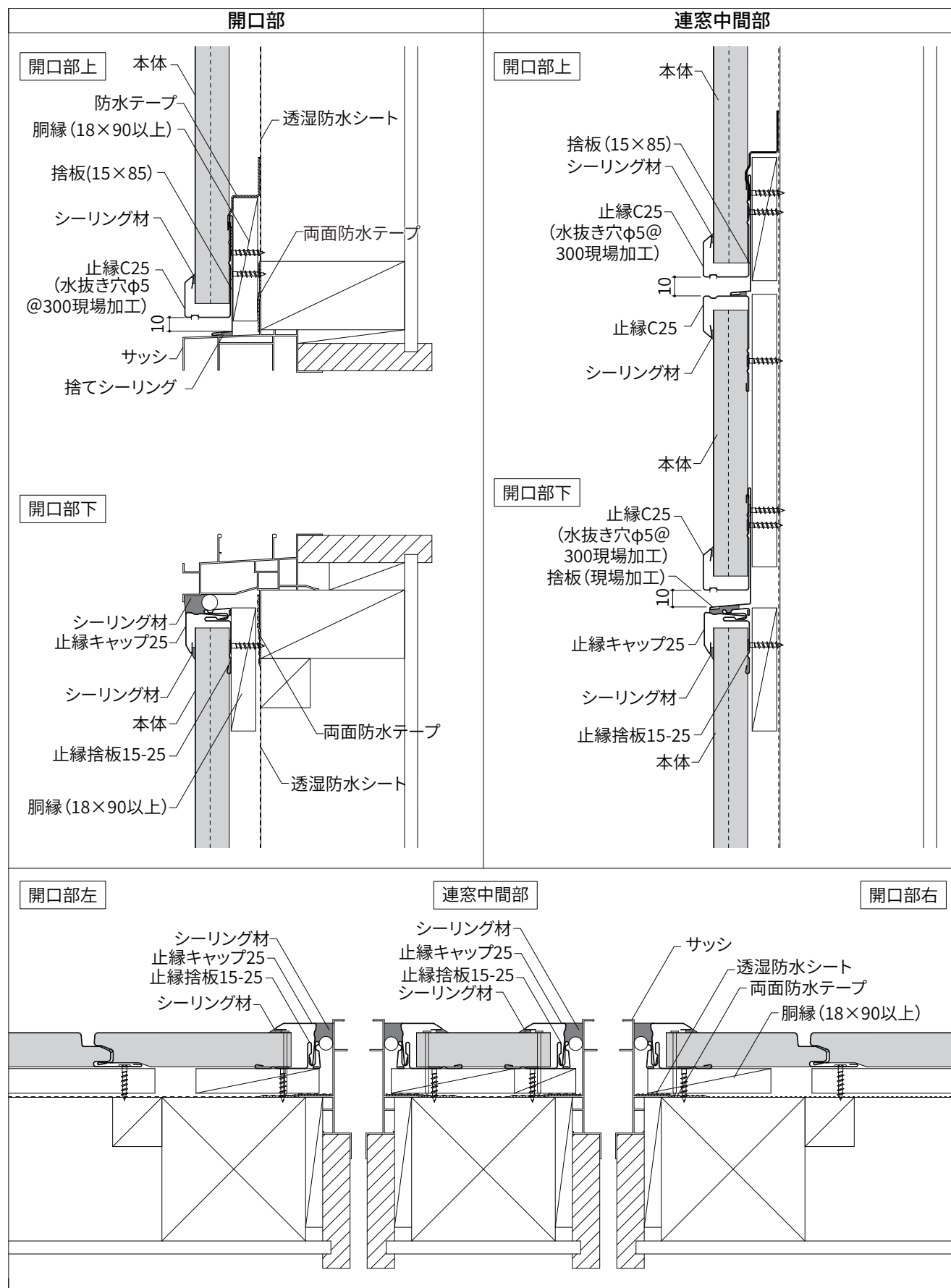


■切り欠いたSP-ガルスクエアに脳天打ちをする位置

- ・角部に脳天打ちを施工する場合は、ワンタッチコーナーキャップ15-25で隠れる位置に脳天打ちしてください。
- ・本体のくぎ打ち部を切り欠いた所に脳天打ちする場合は、止縁キャップC25が隠れるよう頭の小さなくぎを使用し留め付けてください。



4.連窓の施工について

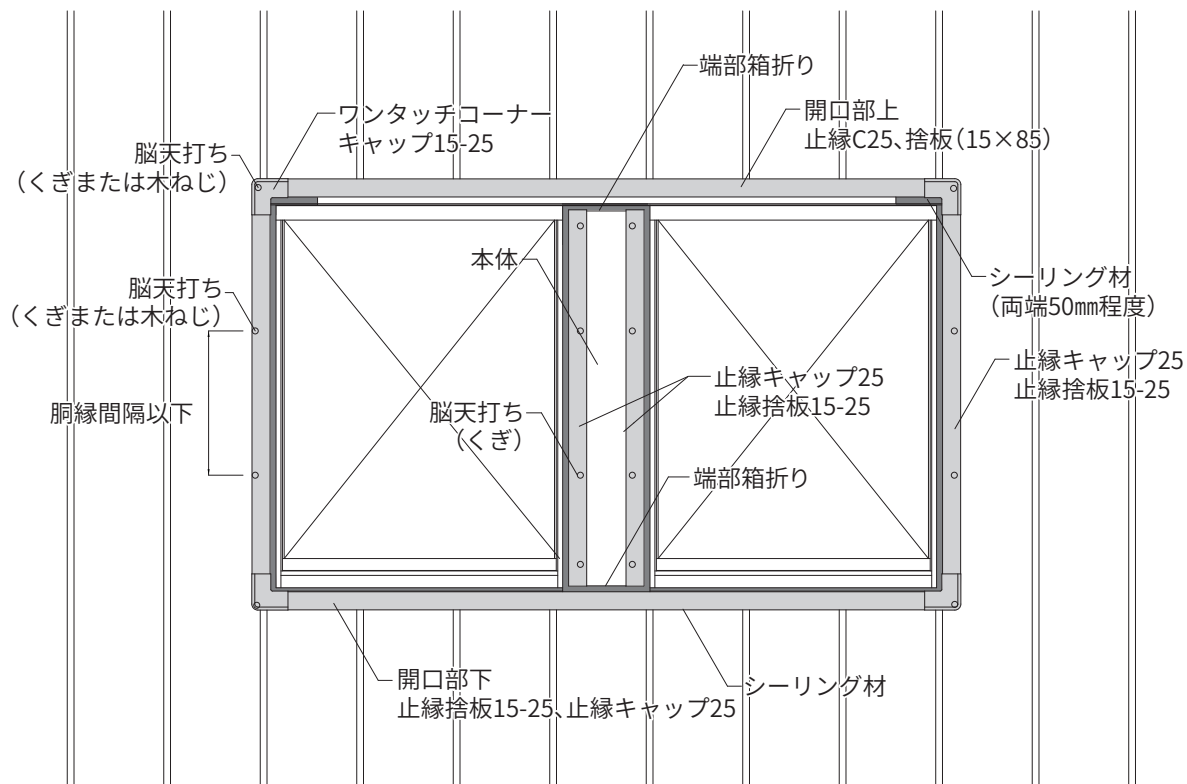


4. 連窓の施工について

2) 本体を箱折し、部材で納める場合

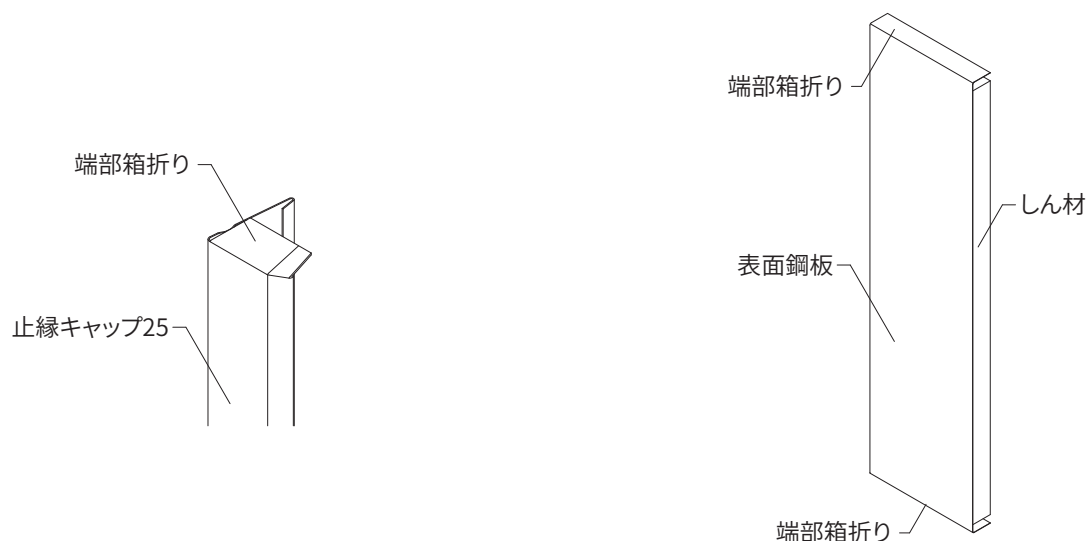
連窓中間部の両脇：止縁捨板15-25と止縁キャップ25

連窓中間部の上下：本体箱折（止縁キャップ25の端部は箱折加工）

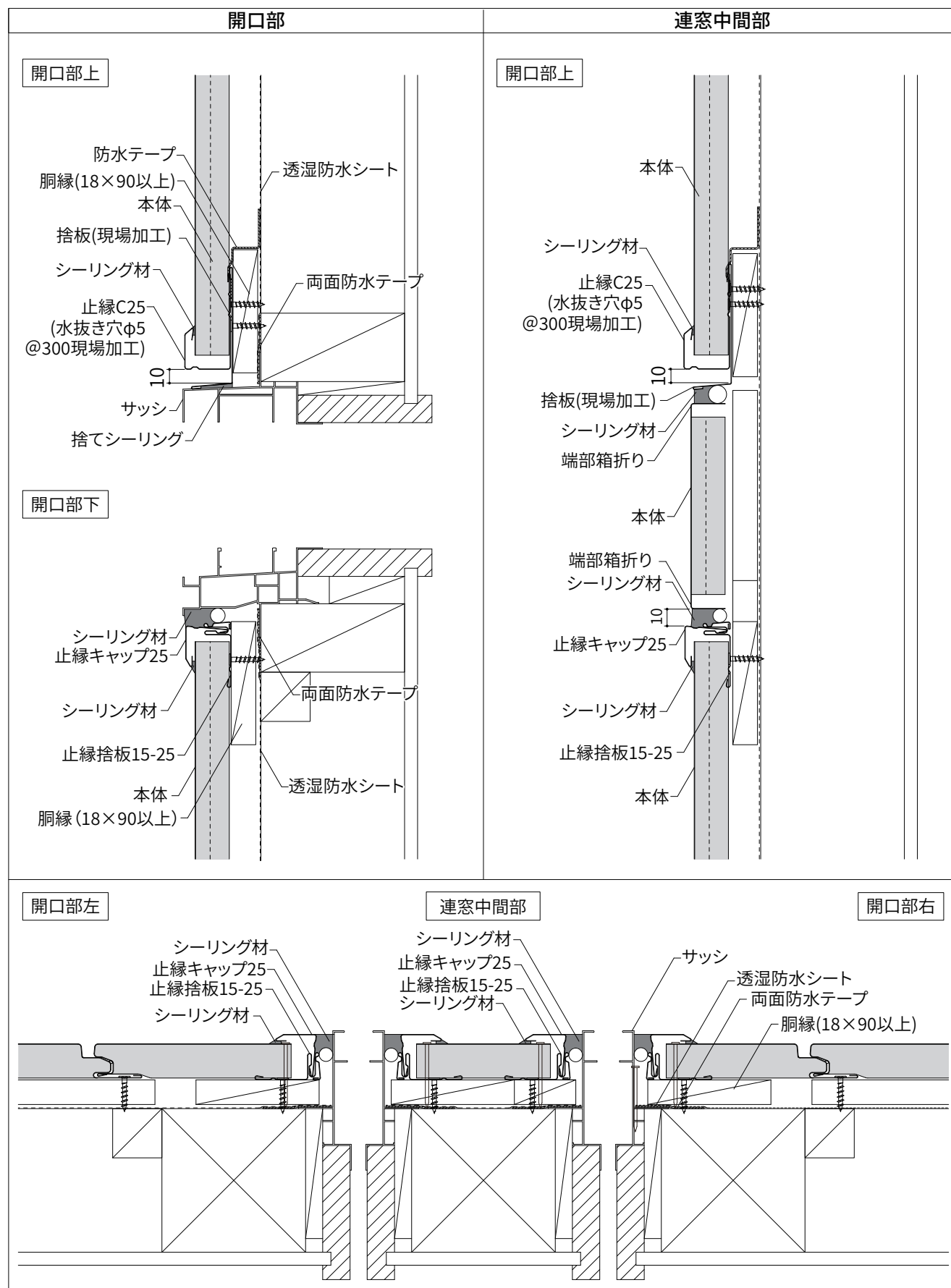


■端部箱折について

連窓中間部の本体を施工する際は、表面鋼板を折り曲げ箱折加工を施してください。しん材には、シーリング材が接着しませんので注意してください。止縁キャップ25も同じく端部箱折し、シーリング幅を確保してください。サッシと部材、本体と部材の間には、シーリング材を施工してください。



4.連窓の施工について

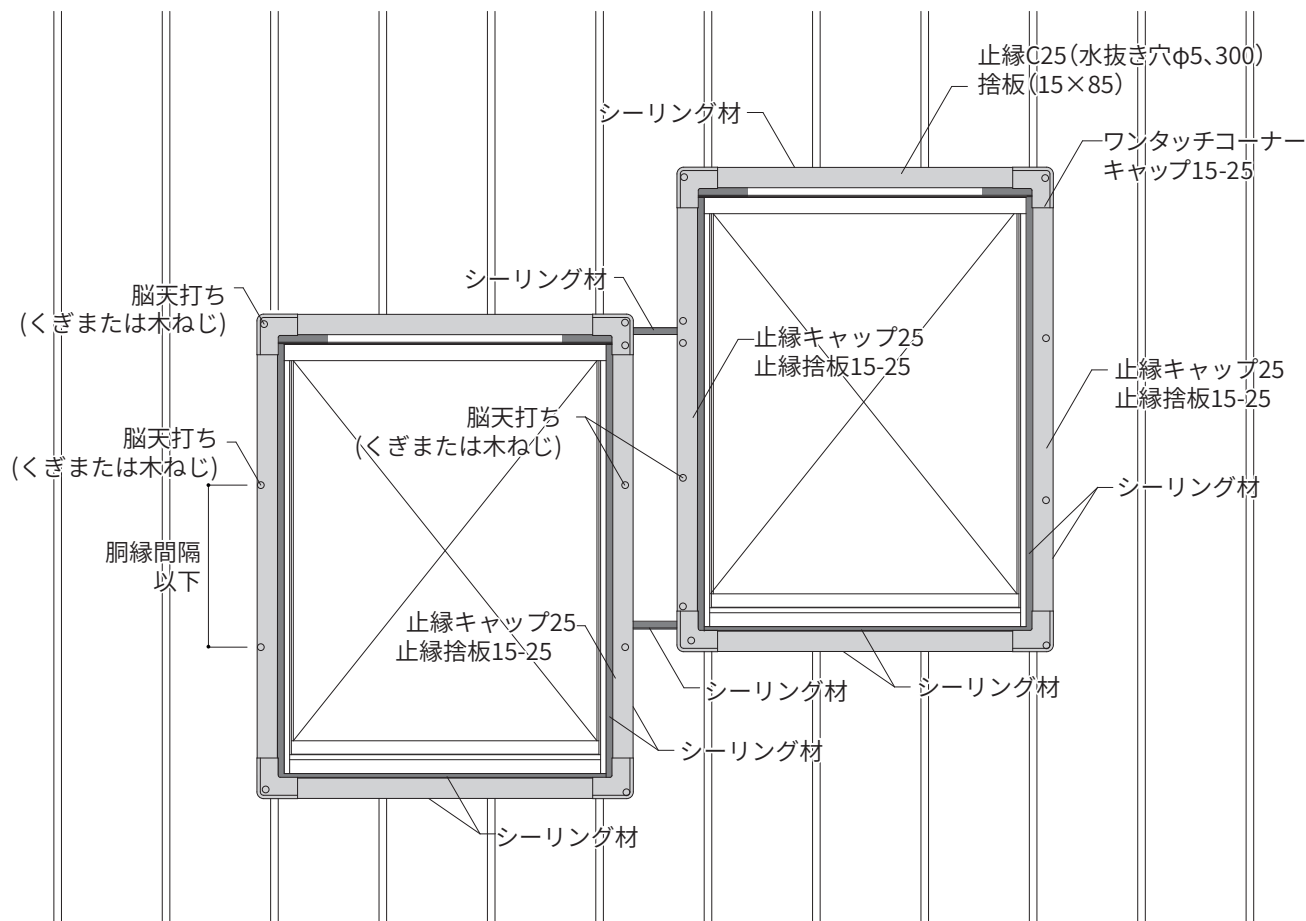


4.連窓の施工について

3) 連窓が段違いの場合

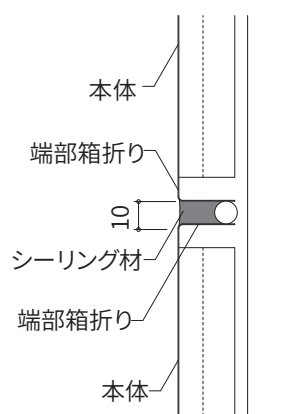
連窓が段違いの場合は、中間部の本体の端部を箱折りし、シーリング材を施工してください。

サッシと部材、本体と部材の間には、シーリング材を施工してください。



しん材には、シーリング材が接着しませんので、本体の箱折加工を施してください。

サッシと部材、本体と部材の間には、シーリング材を施工してください。



3. 本体、部材の施工

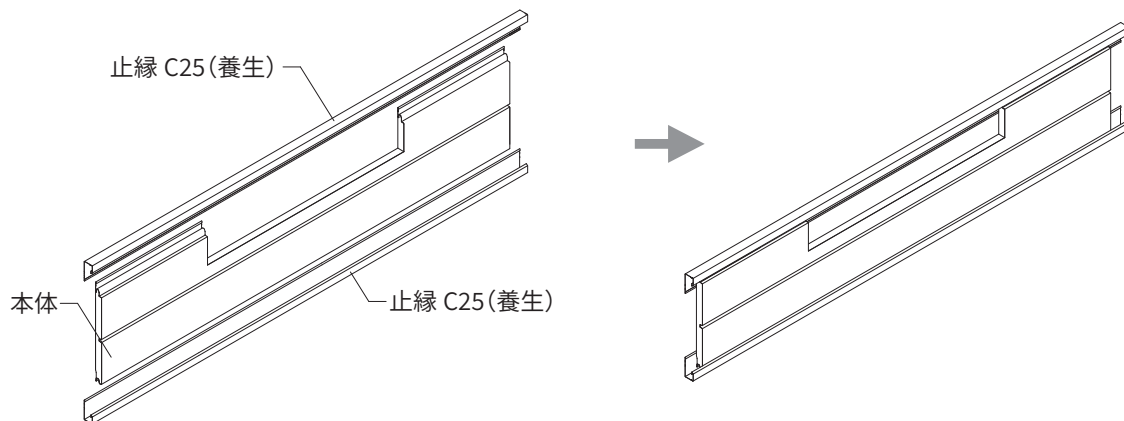
■切り欠いた本体を運搬するときの取り扱い方法

- 切り欠いた本体を運ぶときや立てるときは、切り欠いた部分が折れたり変形する可能性がありますので、補強材をあてて運搬してください。
- 補強材が本体の表面に当たる部分には、表面鋼板にキズが付かないよう養生し、砂粒、ほこり、切粉などを清掃してからセットしてください。

(推奨 長さ4m以上の長尺品を立てるときの作業人数は3～4人としてください。)

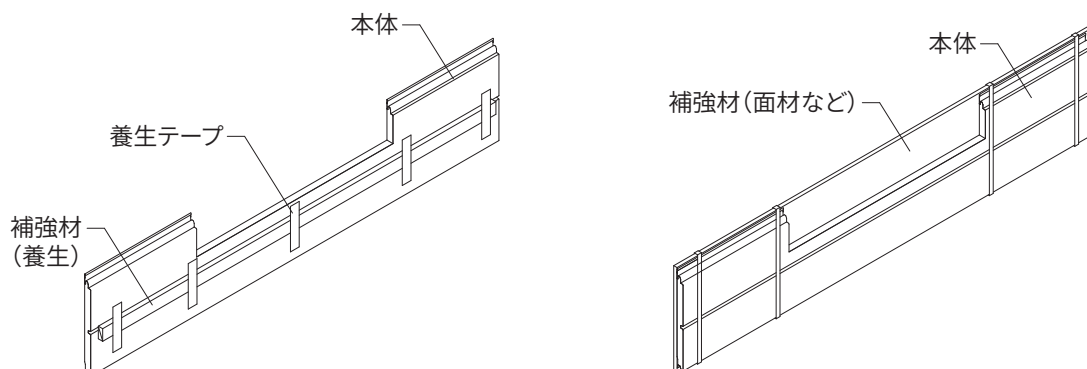
1) 本体の両側を止縁C25で挟み込んで 運搬する方法

- 本体にキズが付ないように止縁C25は養生してから本体にはめてください。本体から脱落しないよう、止縁C25は固定してください。

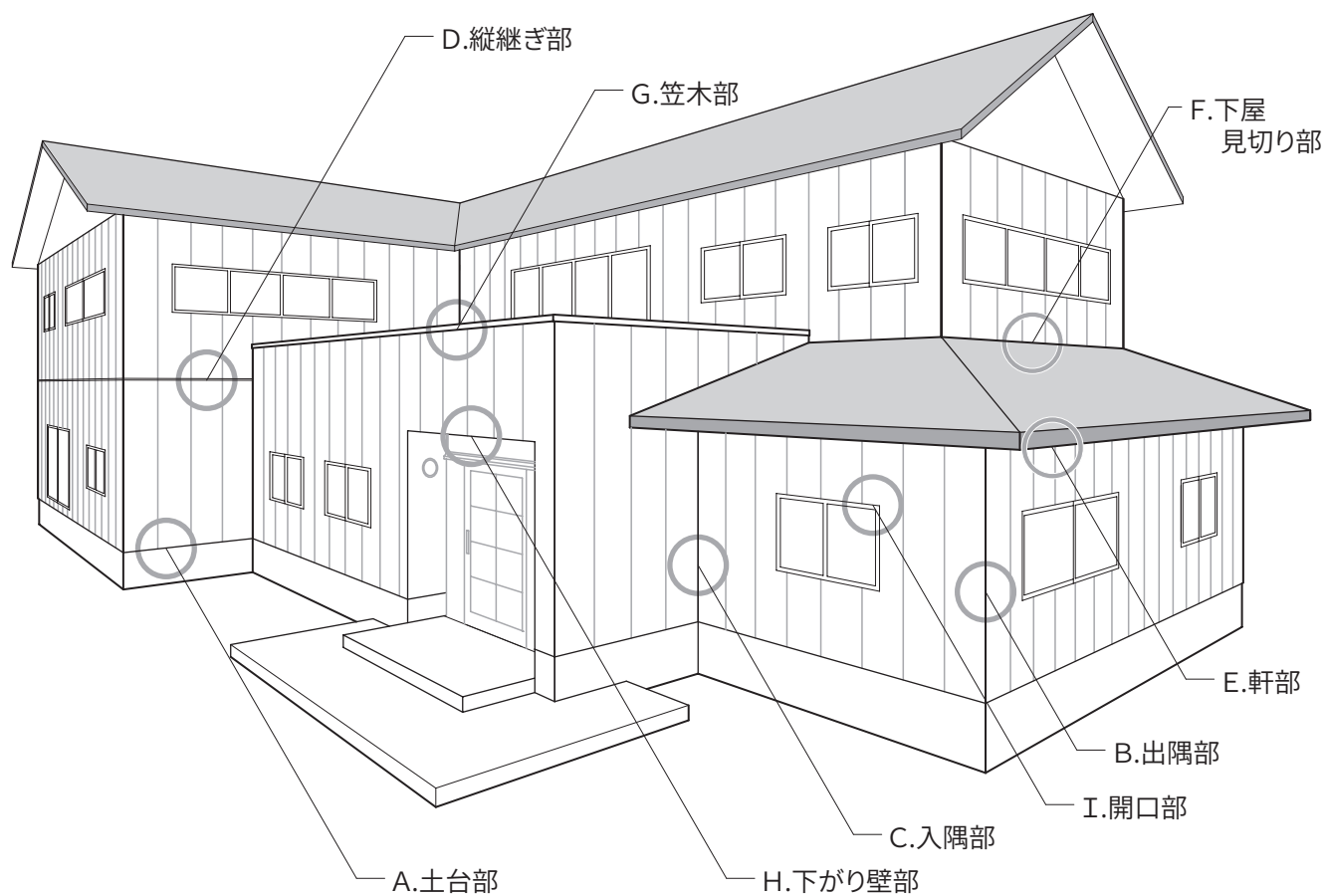


2) 補強材を使用する方法

- 補強材は胴縁などの細長く、剛性が高く曲がりにくいものを使用してください。
- 本体にキズが付ないように養生をした補強材を本体の表面鋼板にクロス素材の養生テープ(幅60mm以上)で貼り付けて運搬してください。運搬後、養生テープは慎重に剥がしてください。
- 補強材は、面材などでも使用可能です。



6 各部位の納まり図



納まり図

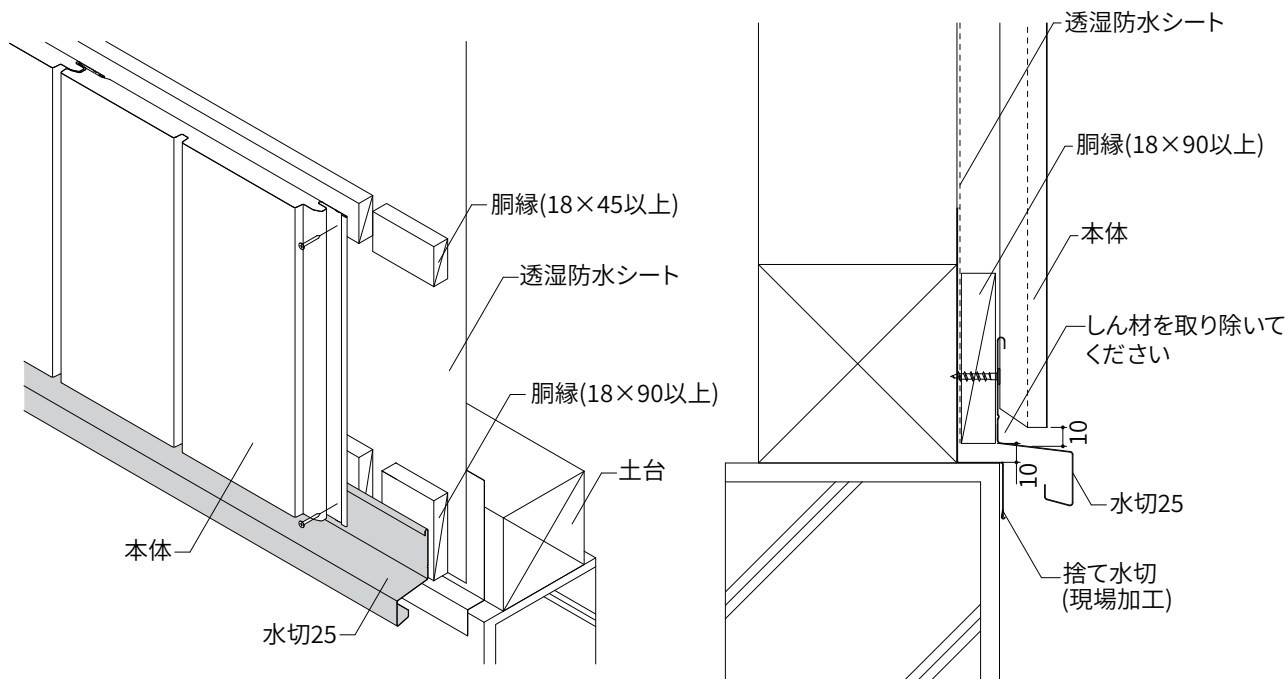
A. 土台部	P34
B. 出隅部	P35
C. 入隅部	P36
D. 縦継ぎ部	P37
E. 軒部	P38
F. 下屋見切り部	P40
G. 笠木部	P41
H. 下がり壁部	P42
I. 開口部	P43

8. シーリング軽減工法の8-3.各部位の納まり図はP78～を参照してください。

A. 土台部(1)

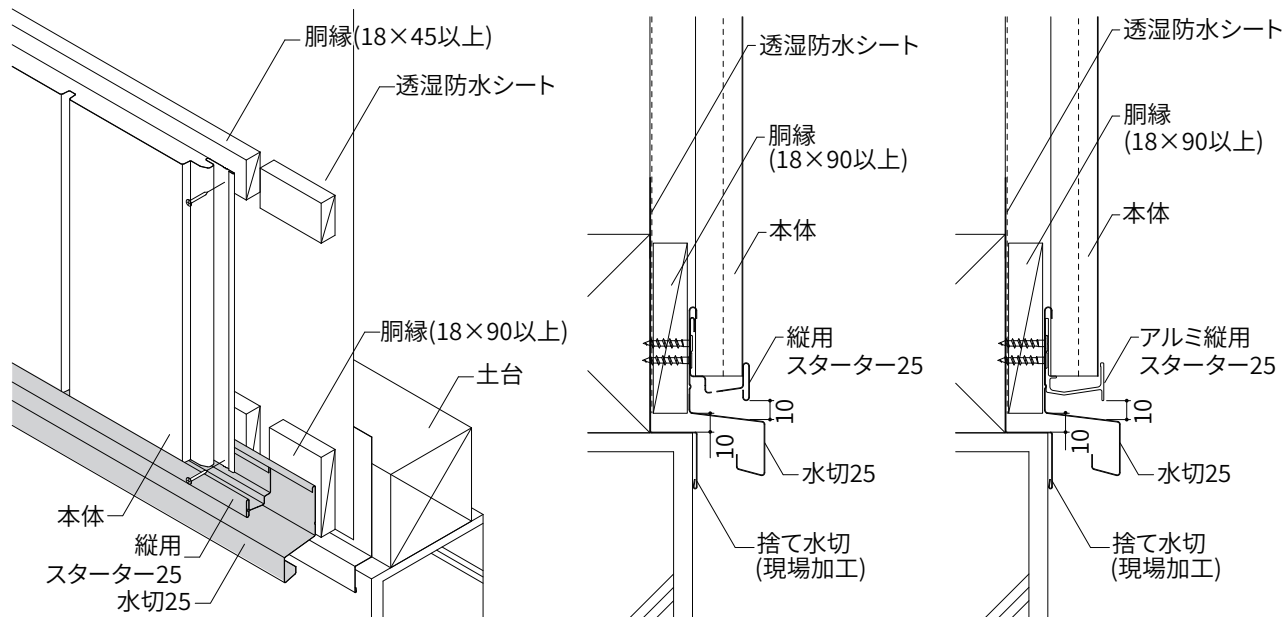
- 本体の下端と水切25の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- 本体の下端は、水切25の上に留め付けてください。
- 積雪の影響(雪の負荷)のある地域では、本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください。水切25の下に当て木などを入れるなどの対処をしてください。

使用部材:水切25

**A. 土台部(2)**

- 縦用スターター25またはアルミ縦用スターター25の下端と水切25の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- 本体の下端は、縦用スターター25またはアルミ縦用スターター25の上に留め付けてください。
- 積雪の影響(雪の負荷)のある地域では、本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください。水切25の下に当て木などを入れるなどの対処をしてください。縦用スターター25は雪の重みで変形するおそれがありますので、アルミ縦用スターター25の使用をお勧めします。
- 施工時に発生する切粉は、縦用スターター25内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。

使用部材:水切25・縦用スターター25またはアルミ縦用スターター25



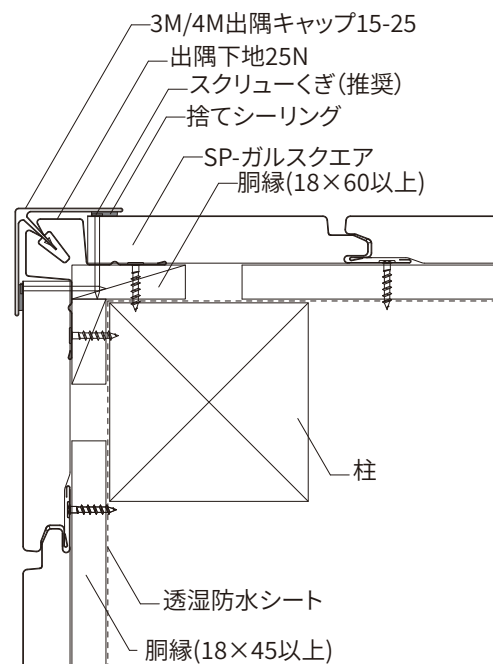
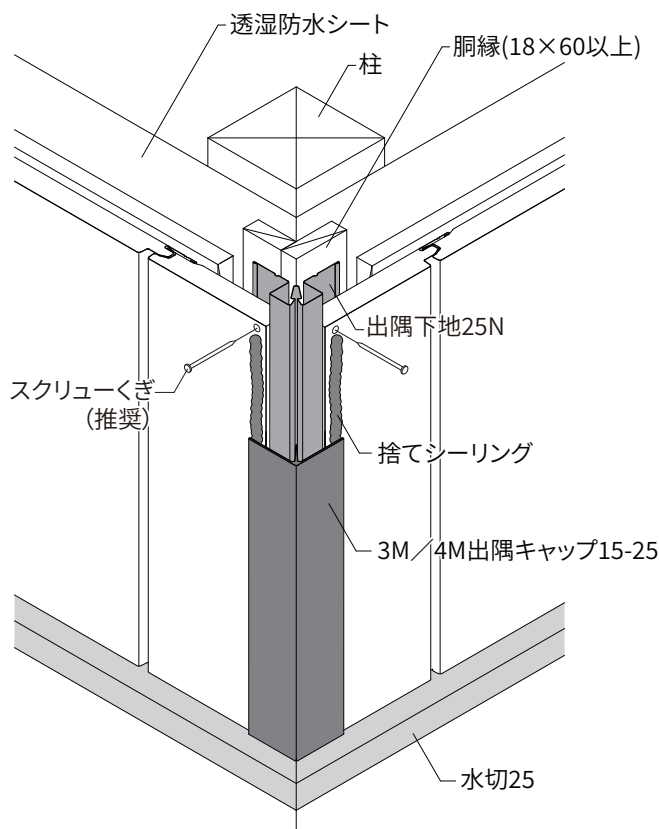
6.各部位の納まり図

單位：mm

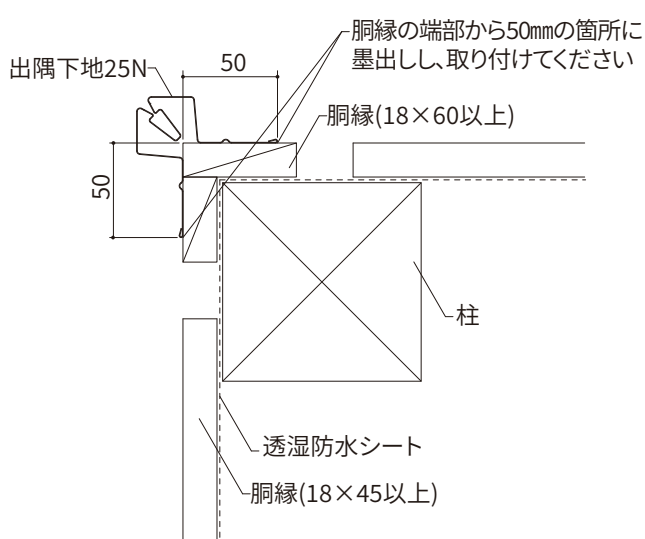
B. 出隅部

- ・本体の張り終わりと張り始めを留め付ける場合は、下穴をあけてから、脳天打ちをしてください。
- ・脳天打ちの留め具は、スクリューを推奨します。
- ・3M/4M出隅キャップ15-25は、出隅下地25Nに確実にはめてください。完全にはまらないと脱落するおそれがあります。

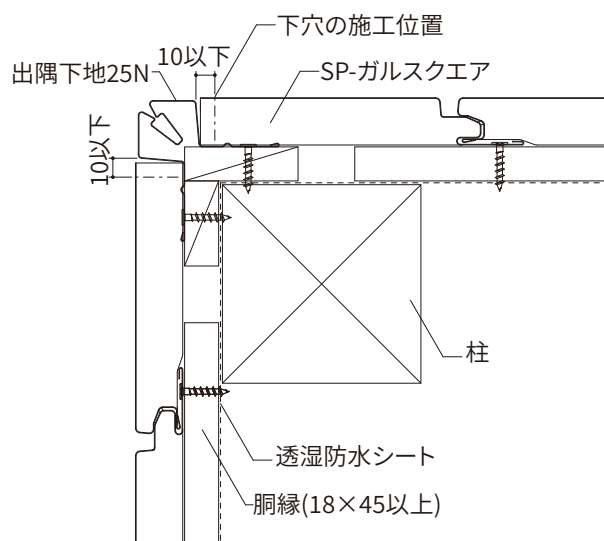
使用部材:3M／4M出隅キャップ15-25・出隅下地25N



施工の確認



出隅下地25Nを留め付ける際に、ねじれたり沈み込んだりすると3M／4M出隅キャップ15-25がはまりにくくなったり、ゆがんだりするおそれがあります。
銅縁の端部から50mmの位置に墨出しを行い、それに合わせて出隅下地25Nを施工してください。

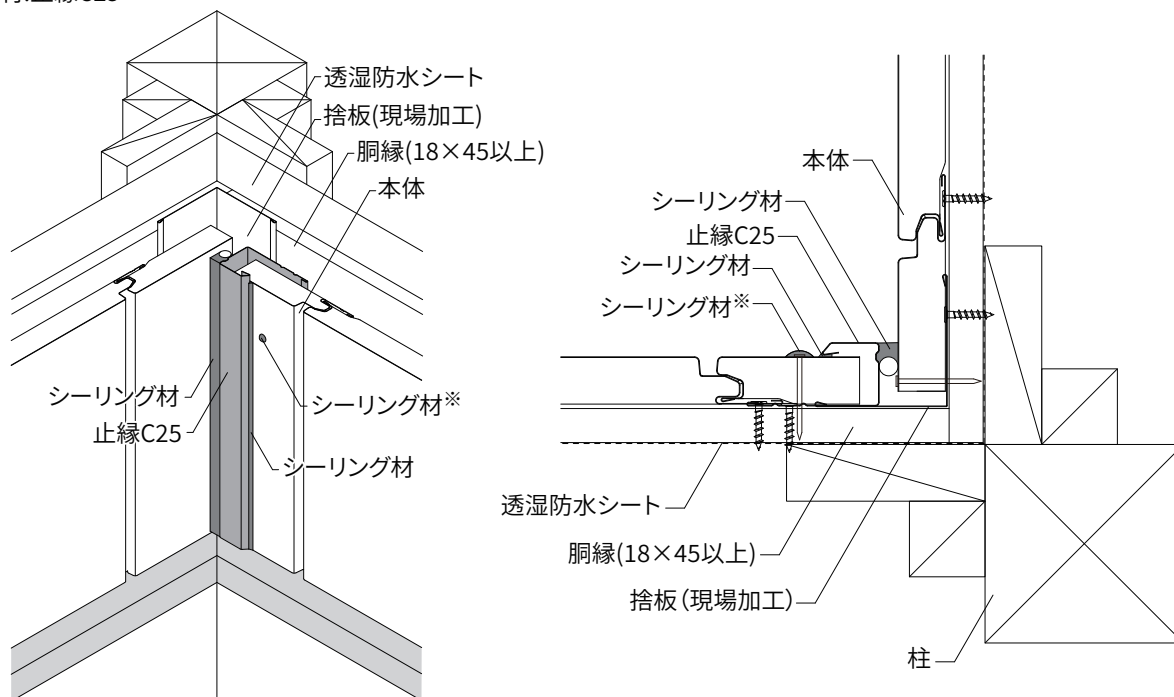


留め付け時の本体のゆがみを防ぐため、スクリューくぎの胴径より0.5～1.0mm大きいサイズの下穴をあけてください。くぎ頭が3M/4M出隅キャップ15-25からはみ出すことを防ぐため、出隅下地25Nの端部から10mm以下の位置に下穴をあけて留め付けてください。

C. 入隅部(1)

- 本体の端部は必ずスクリークぎまたは木ねじで、直接下地に留め付けてください。
- ※ 脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

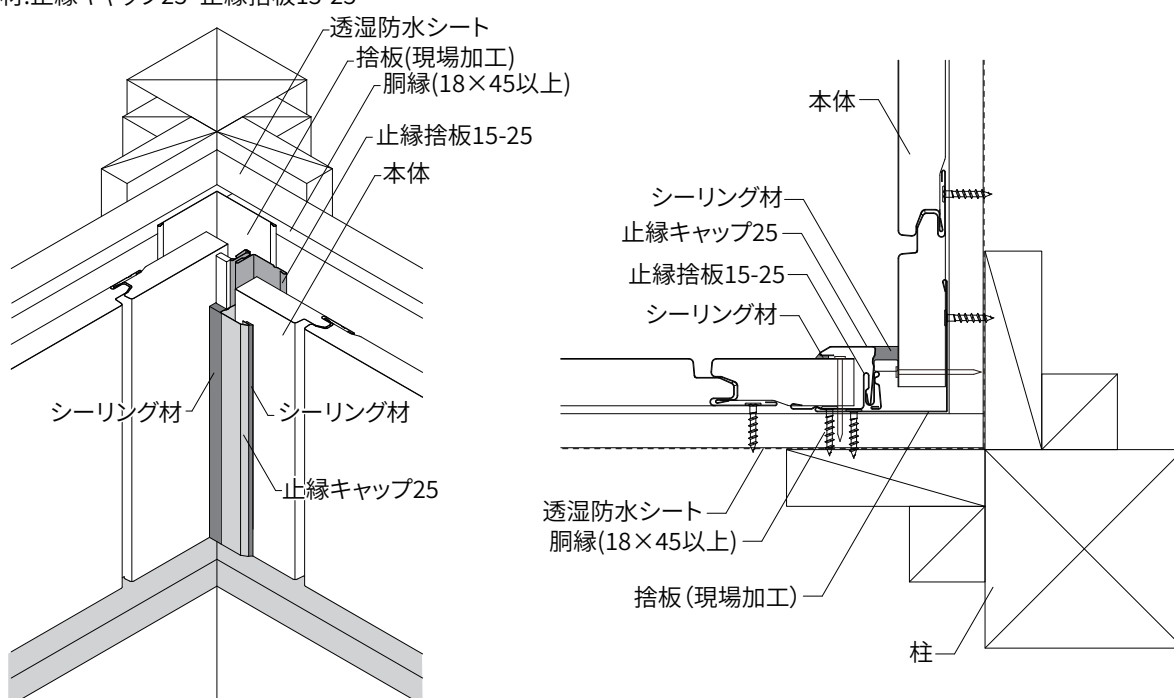
使用部材:止縁C25



C. 入隅部(2)

- 本体の端部は必ずスクリークぎまたは木ねじで、直接下地に留め付けてください。

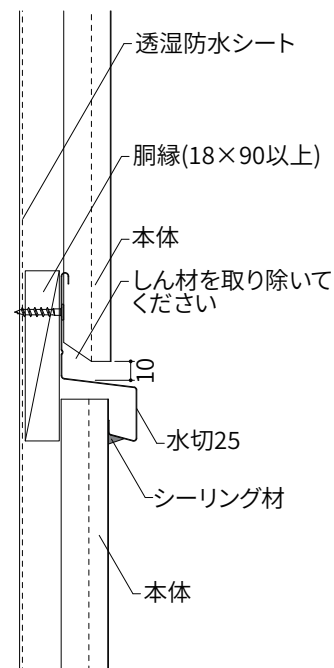
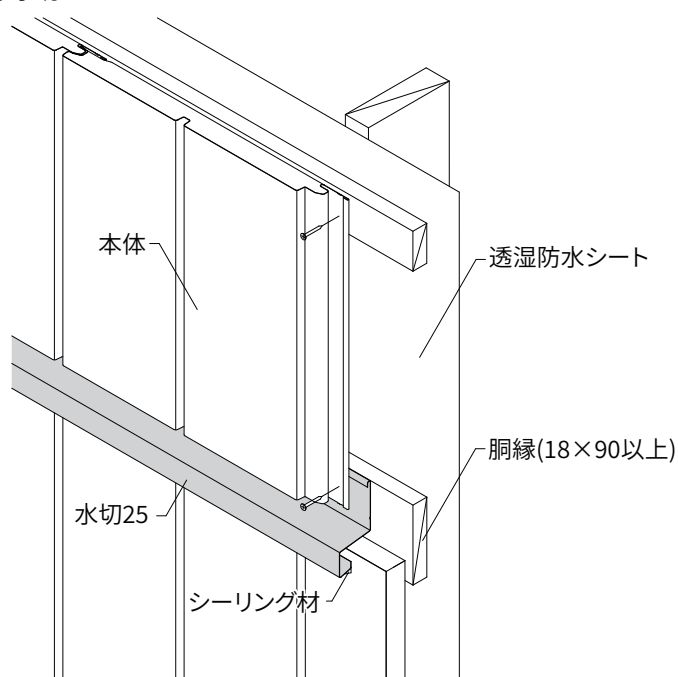
使用部材:止縁キャップ25・止縁捨板15-25



D. 縦継ぎ部(1)

- 本体の下端と水切25の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。

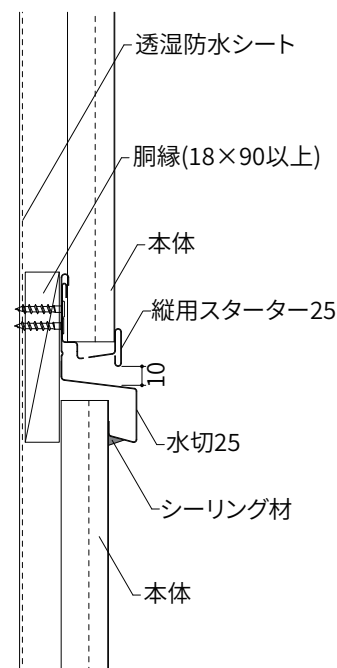
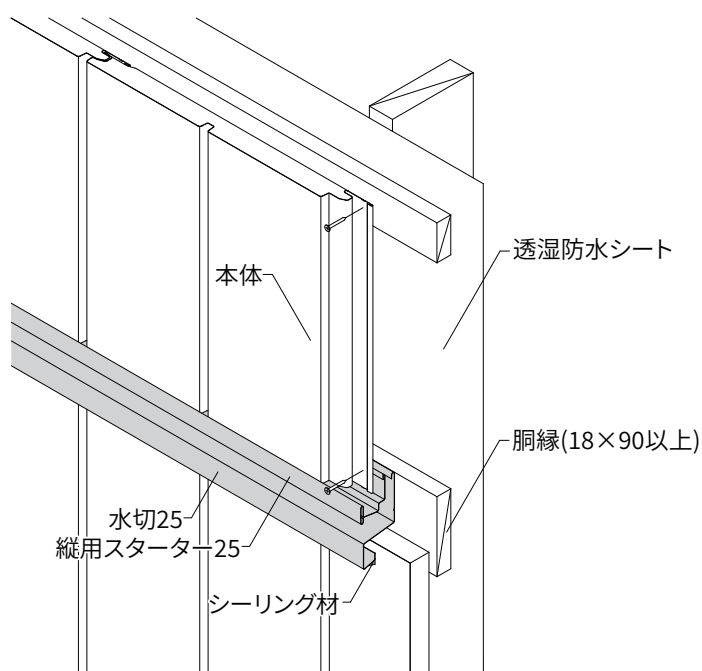
使用部材:水切25



D. 縦継ぎ部(2)

- 縦用スターター25の下端と水切25の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- 本体の下端は、縦用スターター25の上に留め付けてください。
- 施工時に発生する切粉は、縦用スターター25内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。切粉はさびや汚れの原因となります。

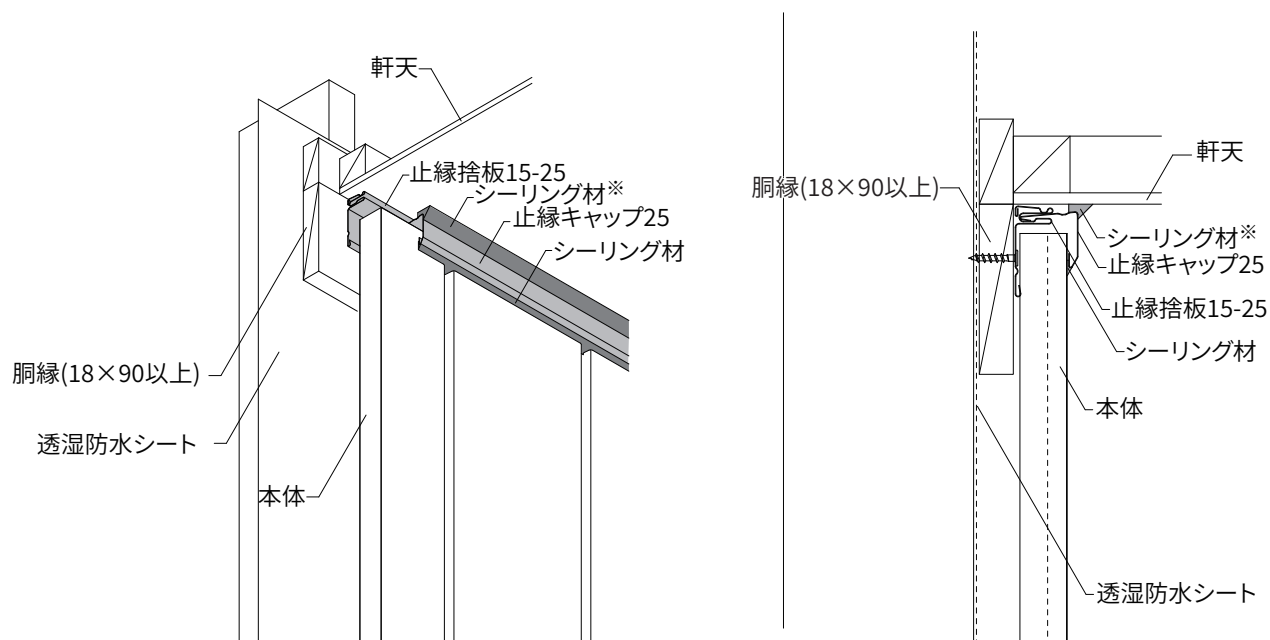
使用部材:水切25・縦用スターター25



E. 軒部(1) 推奨

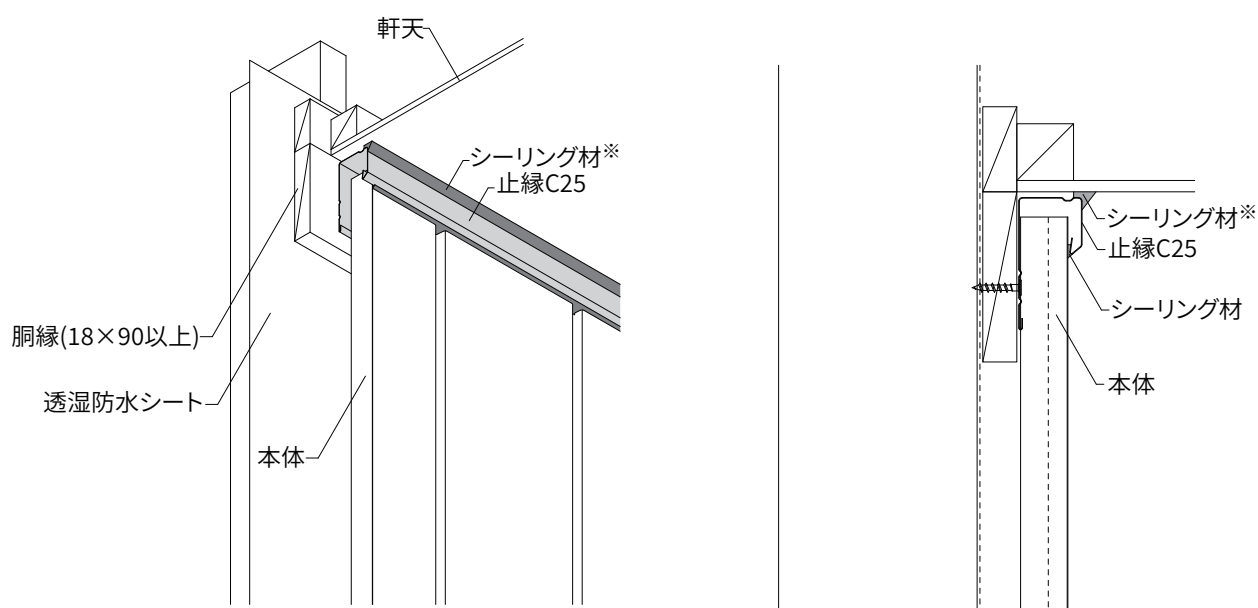
- 軒裏や小屋裏への通気経路を確保してください。軒裏や小屋裏への通気を行わない場合は、通気軒見切15-25を使用することで通気構法が可能となります。
- 取り合いでの施工性を考慮し、止縁キャップ25と止縁捨板15-25の施工を推奨します。
- ※ 軒の出が外壁表面から300mm以上の場合は、軒天と部材の間のシーリング材は無しも可。

使用部材:止縁キャップ25・止縁捨板15-25

**E. 軒部(2)**

- 軒裏や小屋裏への通気経路を確保してください。軒裏や小屋裏への通気を行わない場合は、通気軒見切15-25を使用することで通気構法が可能となります。
- ※ 軒の出が外壁表面から300mm以上の場合は、軒天と部材の間のシーリング材は無しも可。

使用部材:止縁C25



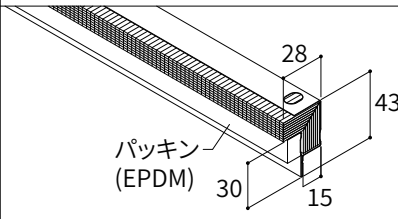
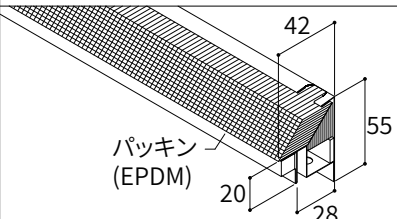
6.各部位の納まり図

単位：mm

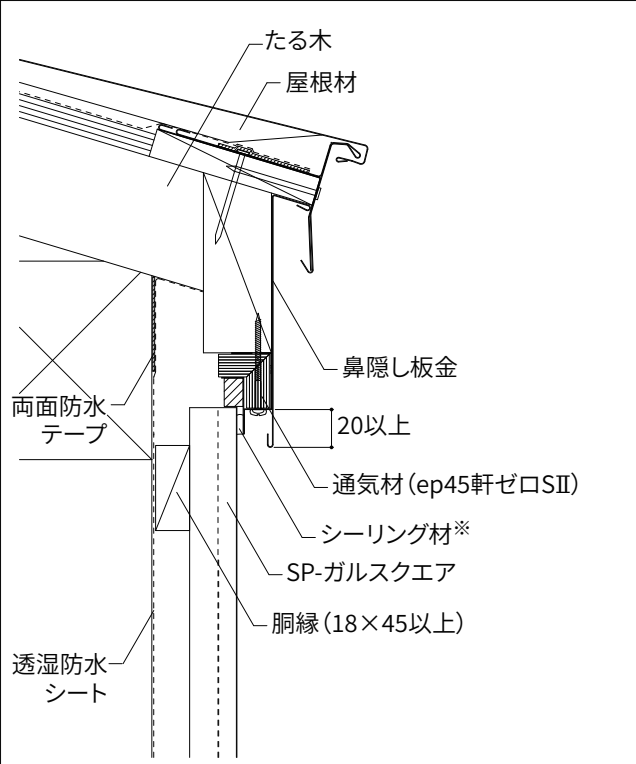
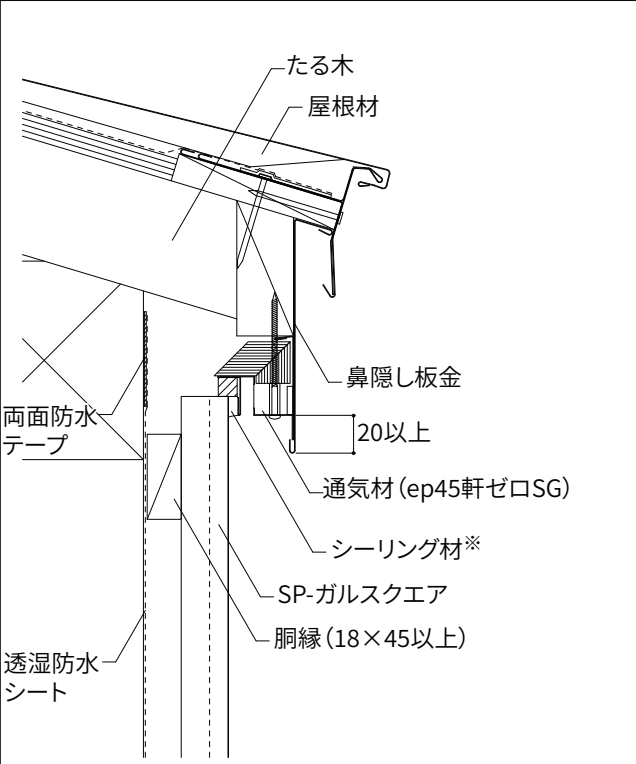
E. 軒部(3)

- ・軒ゼロ住宅に施工する場合の参考例です。
- ・軒裏45分準耐火構造の換気材として使う場合の構造仕様の詳細は、「日本住環境株式会社」のカタログをご確認ください。
- ※ 通気材とサイディング本体の取り付け部はシーリング材で防水してください。

通気材の参考例

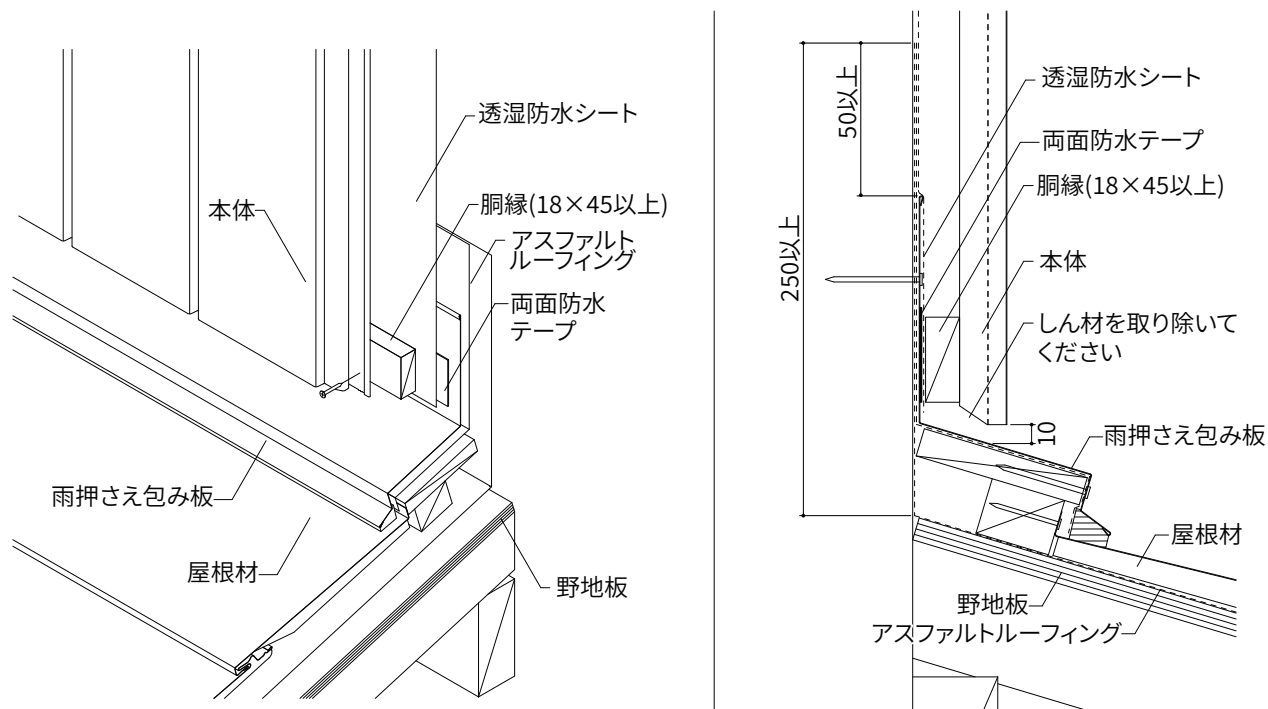
メーカー	日本住環境株式会社品	
商品名	ep45軒ゼロSII	ep45軒ゼロSG
商品図		
防耐火認定	軒裏45分準耐火構造適合品	軒裏45分準耐火構造適合品

納まり図参考例

ep45軒ゼロSII	ep45軒ゼロSG
	

F. 下屋見切り部(1)

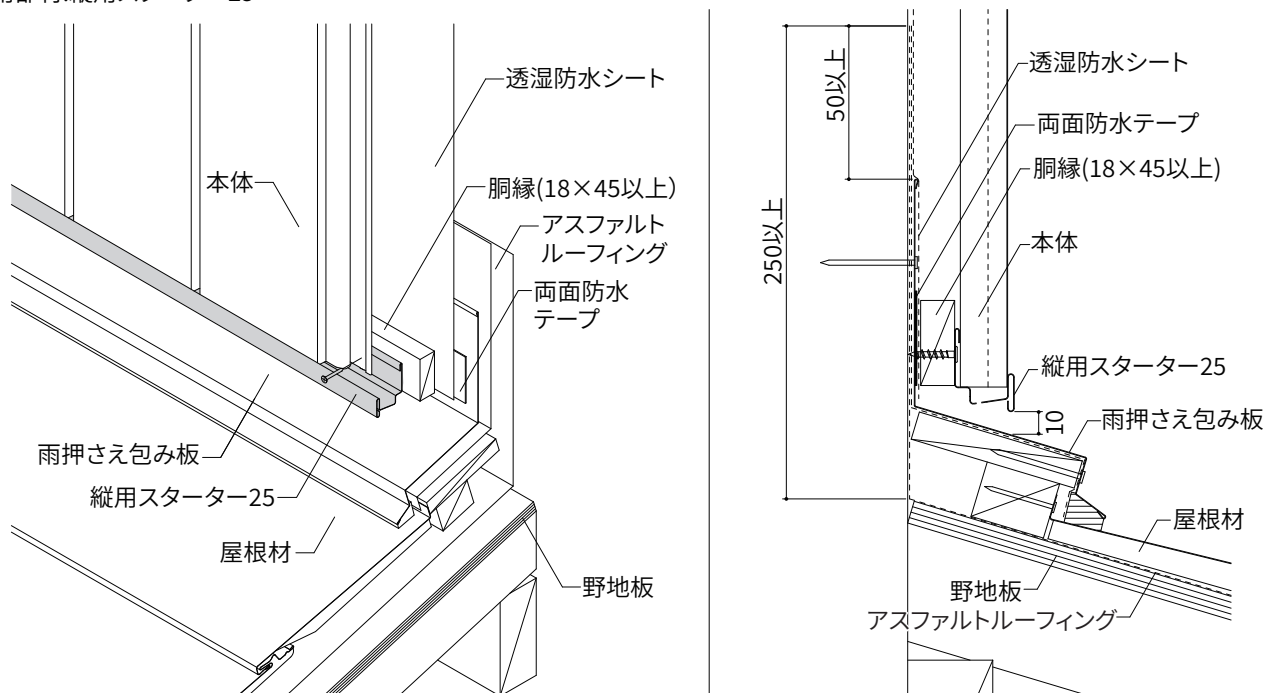
- ・積雪の影響(雪の負荷)のある地域では、本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください。
- ・本体の下端と雨押さえ包み板の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。



F. 下屋見切り部(2)

- ・積雪の影響(雪の負荷)のある地域では、縦用スターター25を使用しない納め方としてください。
- ・縦用スターター25の下端と雨押さえ包み板の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・本体の下端は、縦用スターター25の上に留め付けてください。
- ・施工時に発生する切粉は、縦用スターター25内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。

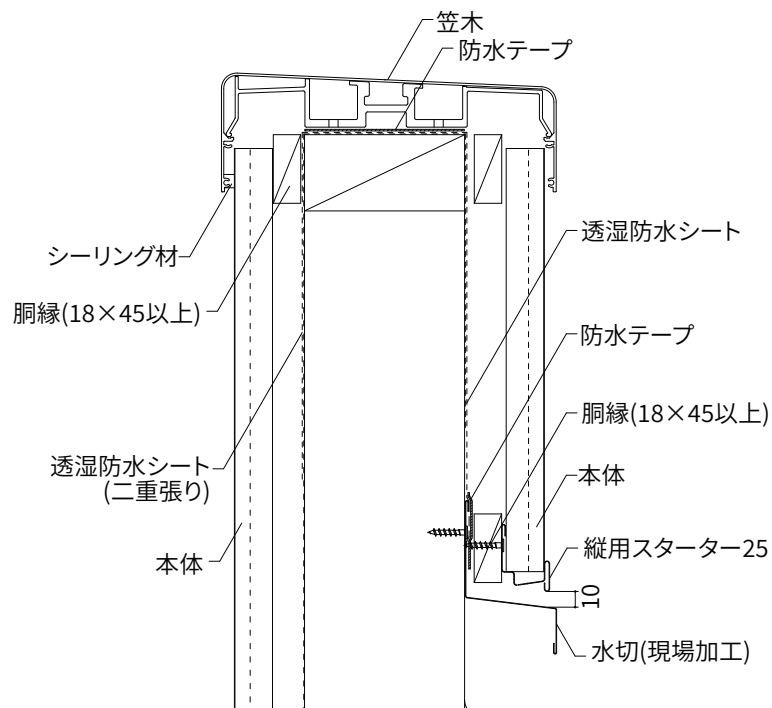
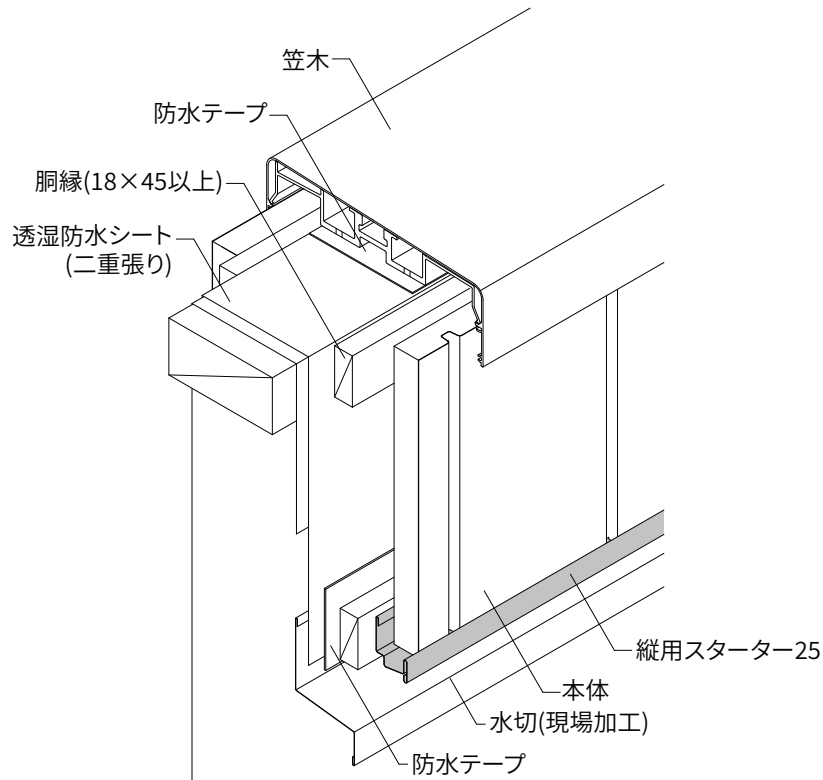
使用部材:縦用スターター25



G. 笠木部

- ・積雪の影響(雪の負荷)のある地域では、本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処し、縦用スターター25を使用しない納め方としてください。
- ・防水上万全を期すため、透湿防水シートを二重張りにしてください。
- ・通気経路を確保してください。・施工時に発生する切粉は、縦用スターター25内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。

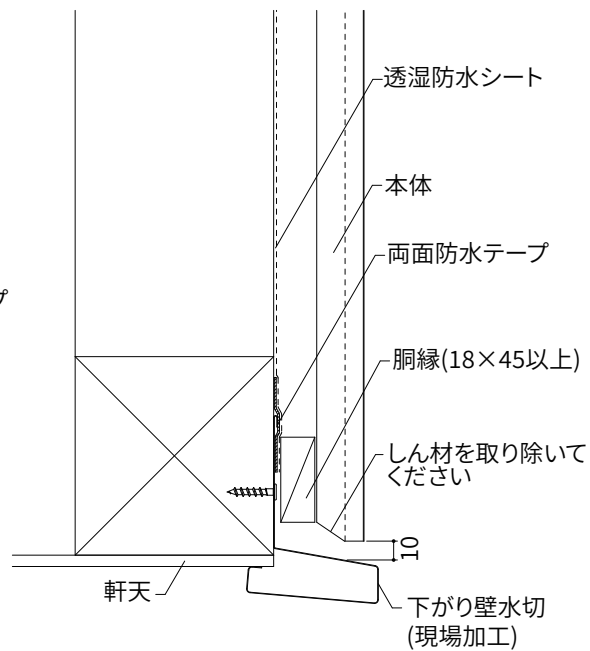
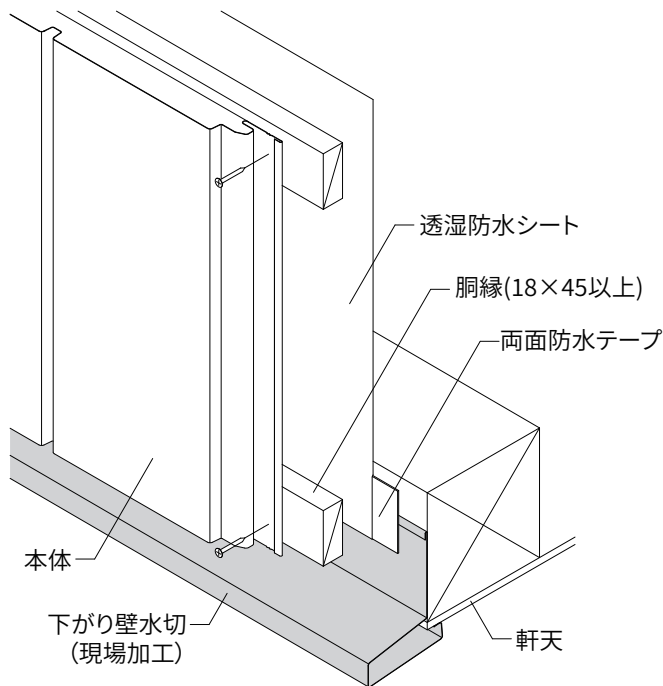
使用部材:縦用スターター25



H. 下がり壁部(1)

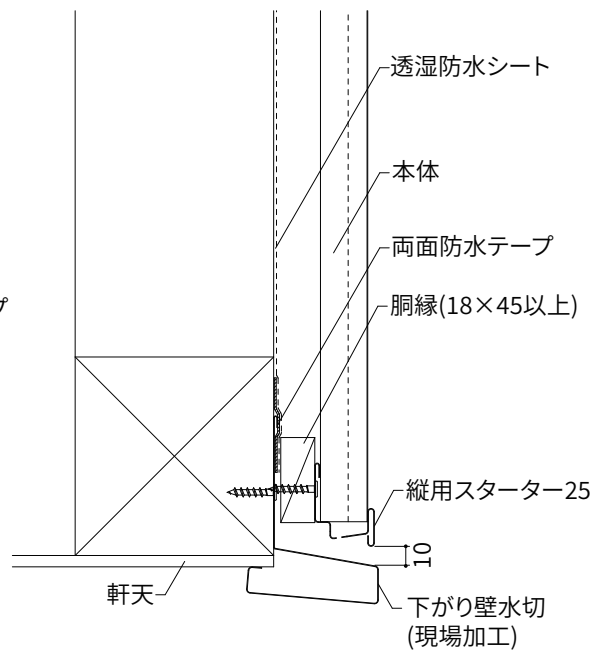
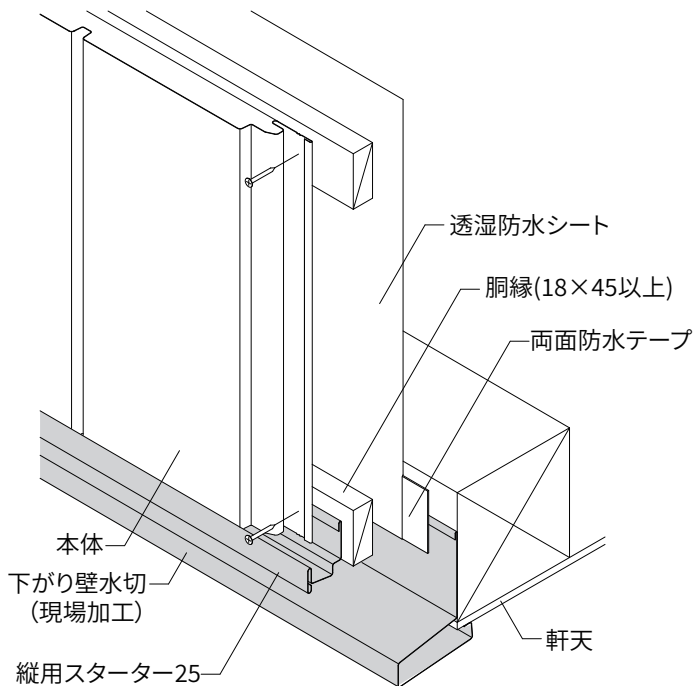
- 本体の下端と下がり壁水切(現場加工)の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。

使用部材:下がり壁水切(現場加工)

**H. 下がり壁部(2)**

- 縦用スターター25の下端と下がり壁水切(現場加工)の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- 本体の下端は、縦用スターター25の上に留め付けてください。
- 施工時に発生する切粉は、縦用スターター25内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。

使用部材:下がり壁水切(現場加工)・縦用スターター25



I. 開口部(共通)

サッシと部材の取り合いのシーリングの施工について

- ・サッシと部材の取り合いでシーリングを施工する場合は、図1、図2のいずれかのようにシーリング材を施工してください。
- ・図2の場合は、接着断面の長さは5mm以上とし、両面が薄くならないように均一に施工してください。
- ・シーリング材が薄い箇所は劣化が早く進みシーリング切れの原因となります。シーリング材のこまめな点検、補修が必要です。
- ・次ページより、図1を代表して記載しています。

※ くぎまたはねじ頭には、シーリング材の代わりにタッチアップペイントでの塗装も可。

図1

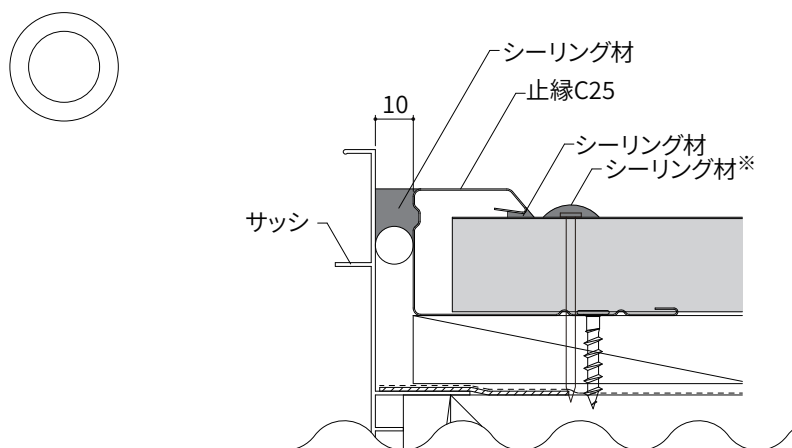
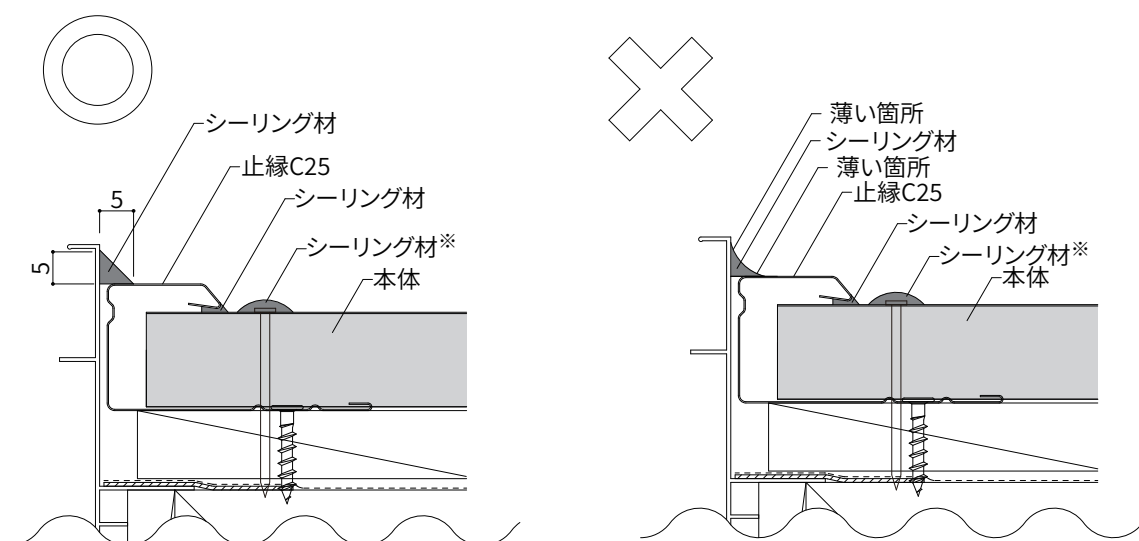


図2



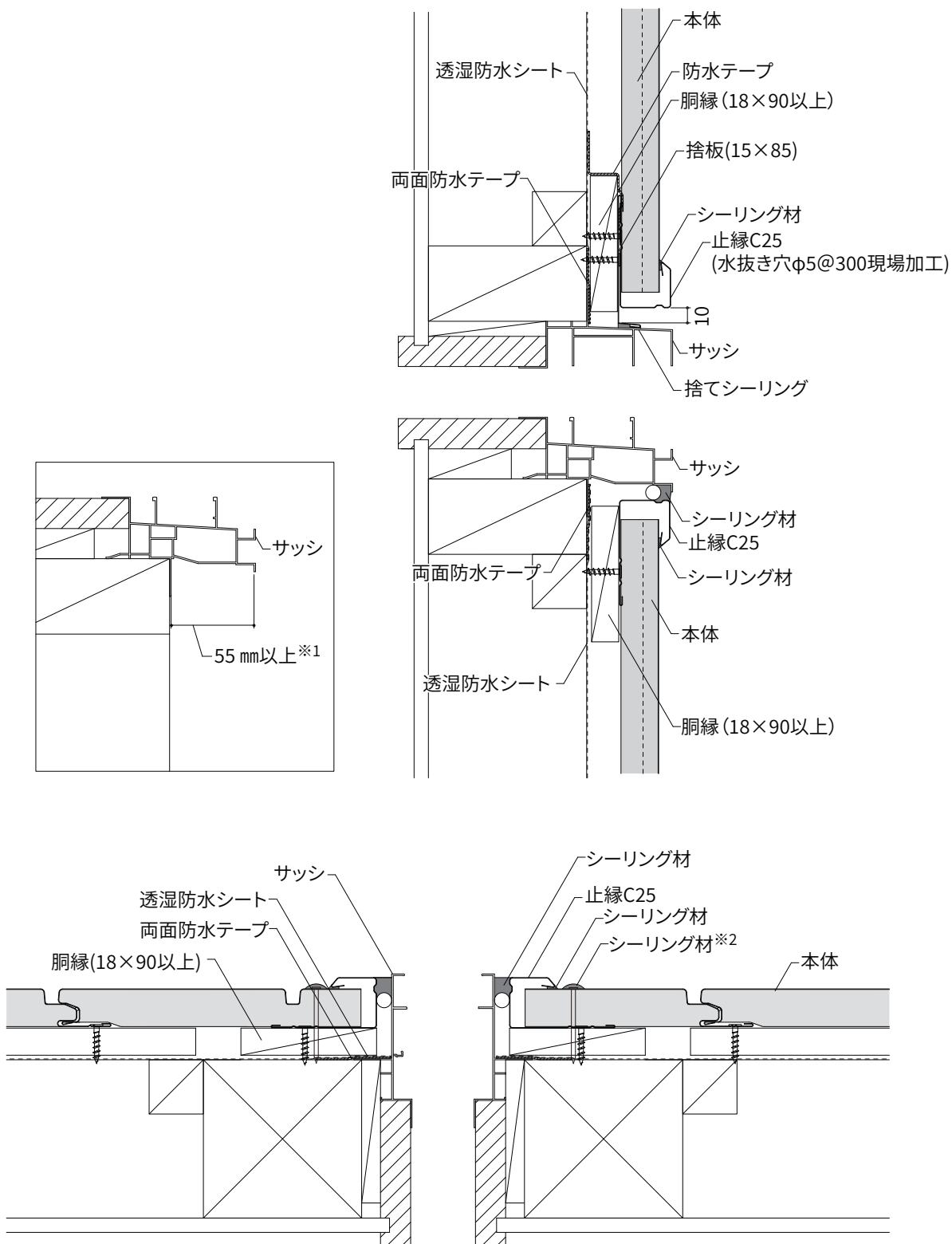
I. 開口部(1)－1 止縁C25仕様

・止縁C25をサッシ上部に取り付ける際は、あらかじめ水抜き穴をあけてから取り付けてください。

※1 下地表面からサッシの出幅が55mm以上の場合に、施工できます。

※2 くぎまたはねじ頭には、シーリング材の代わりにタッチアップペイントでの塗装も可。

使用部材：止縁C25・捨板(15×85)

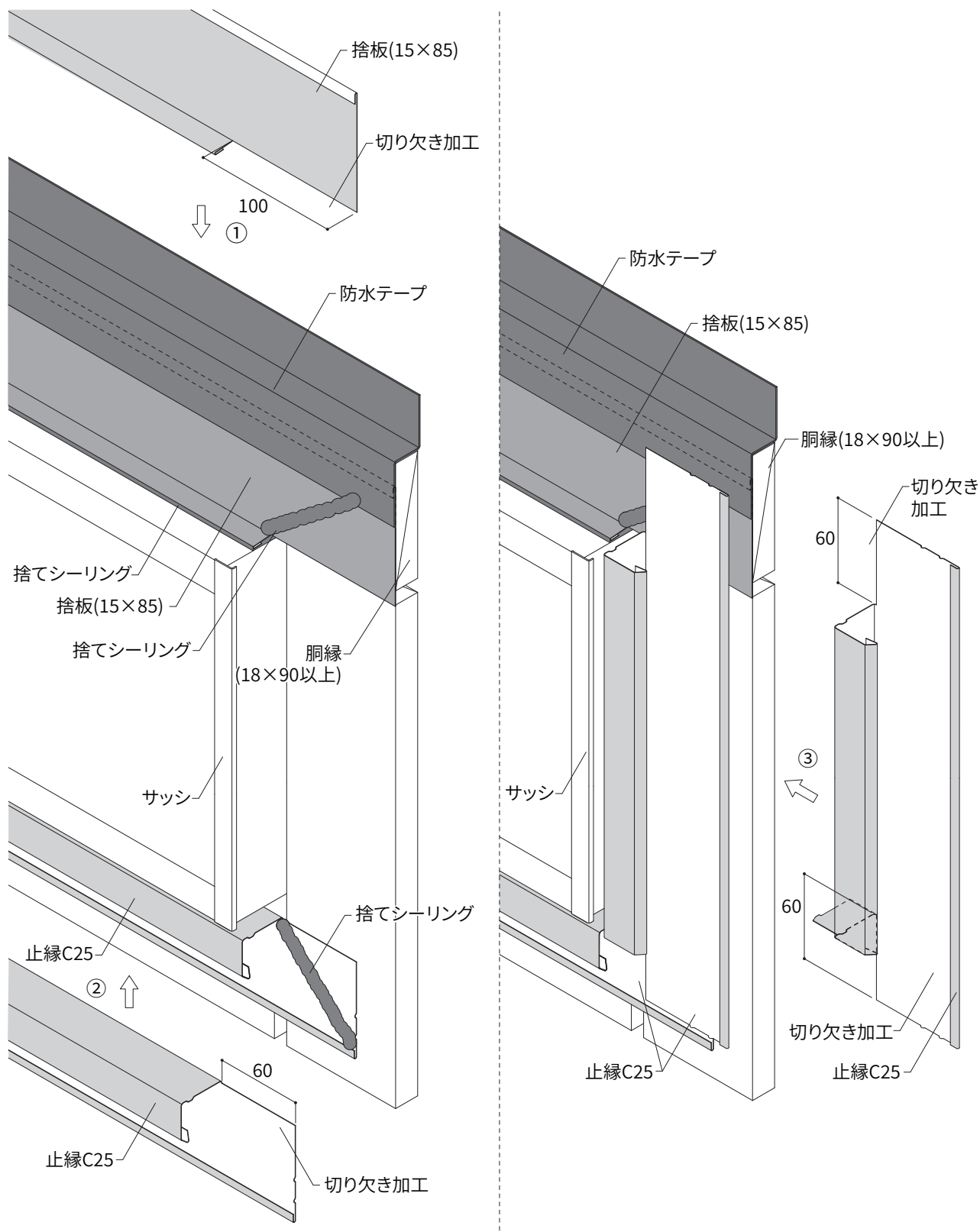


I. 開口部(1)－1 止縁C25仕様

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ① 捨板(15×85)とサッシの間には、捨てシーリングを施工してから取り付けてください。捨板(15×85)の上から防水テープを図の位置に施工してください。
- ② 開口部下、③ 開口部左右の順に止縁C25を取り付けてください。なお、各部材同士の重なり位置には捨てシーリングを施工してください。

使用部材：止縁C25・捨板(15×85)

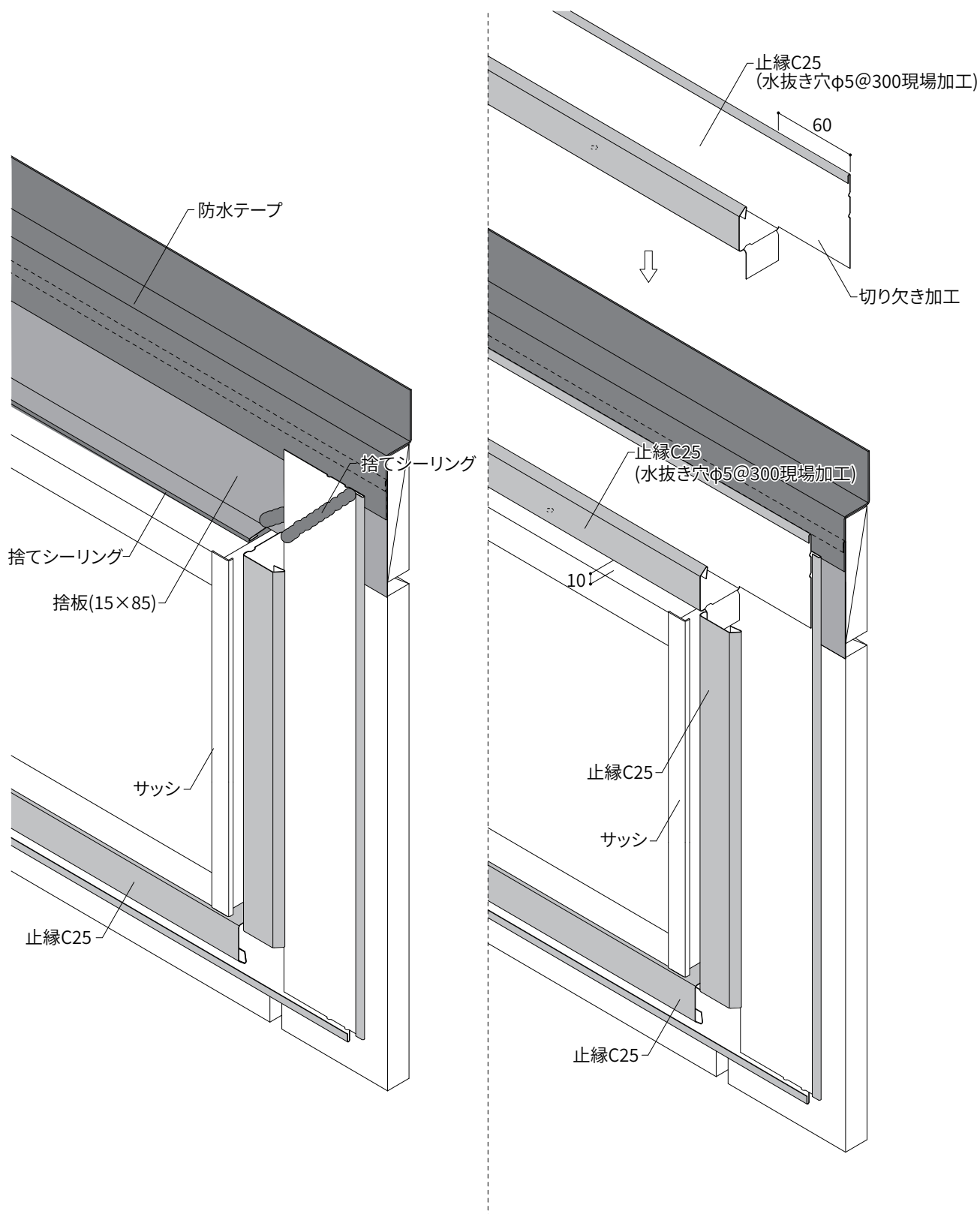


I. 開口部(1)－1 止縁C25仕様

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・開口部上には、止縁C25(水抜き穴φ5@300現場加工)の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて取り付けてください。

使用部材：止縁C25・捨て板(15×85)

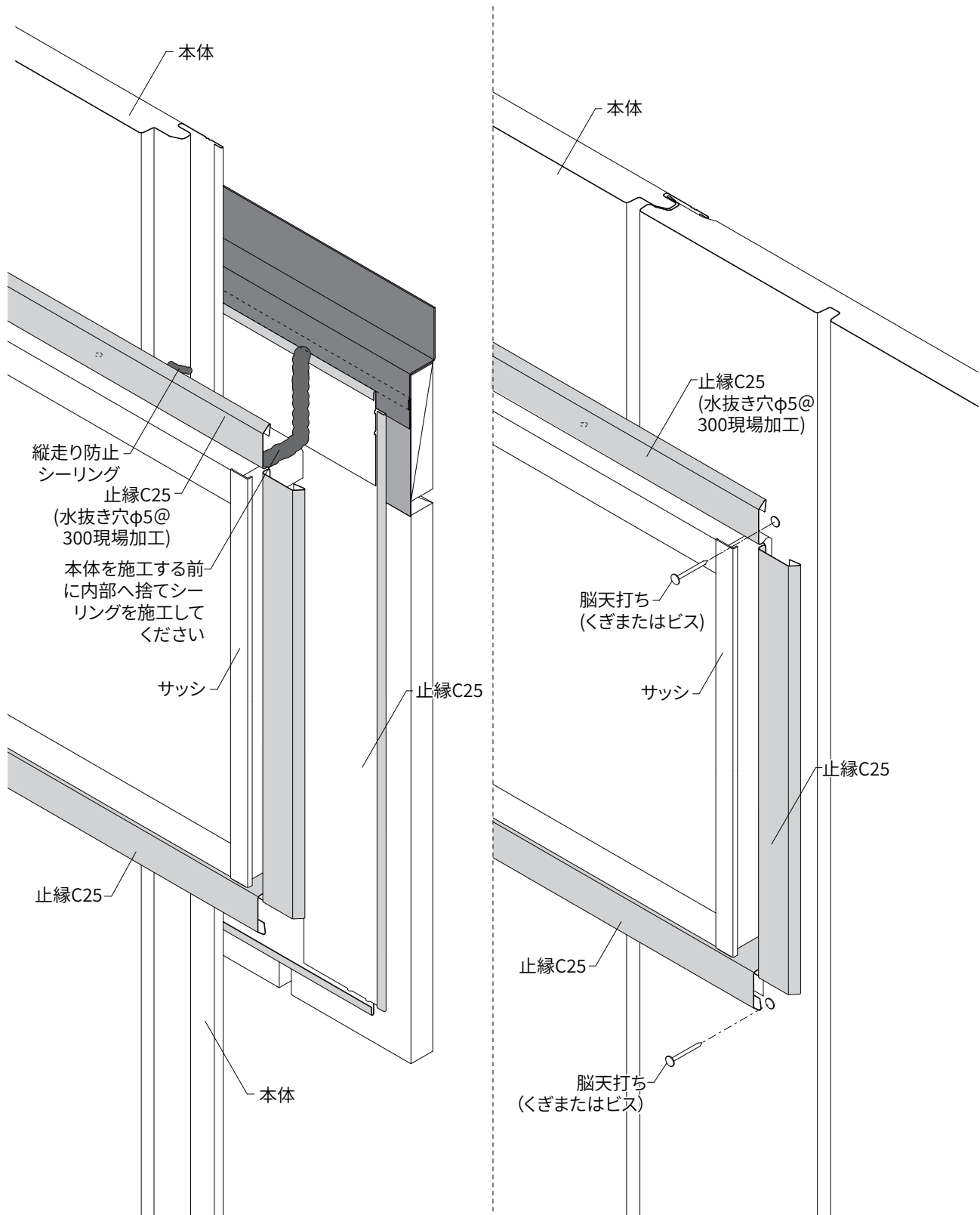


I. 開口部(1)－1 止縁C25仕様

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- 本体を施工する前に止縁C25の左右両端の内部には、捨てシーリングを施工してください。
- 開口部上に施工する本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。

使用部材：止縁C25・捨板(15×85)

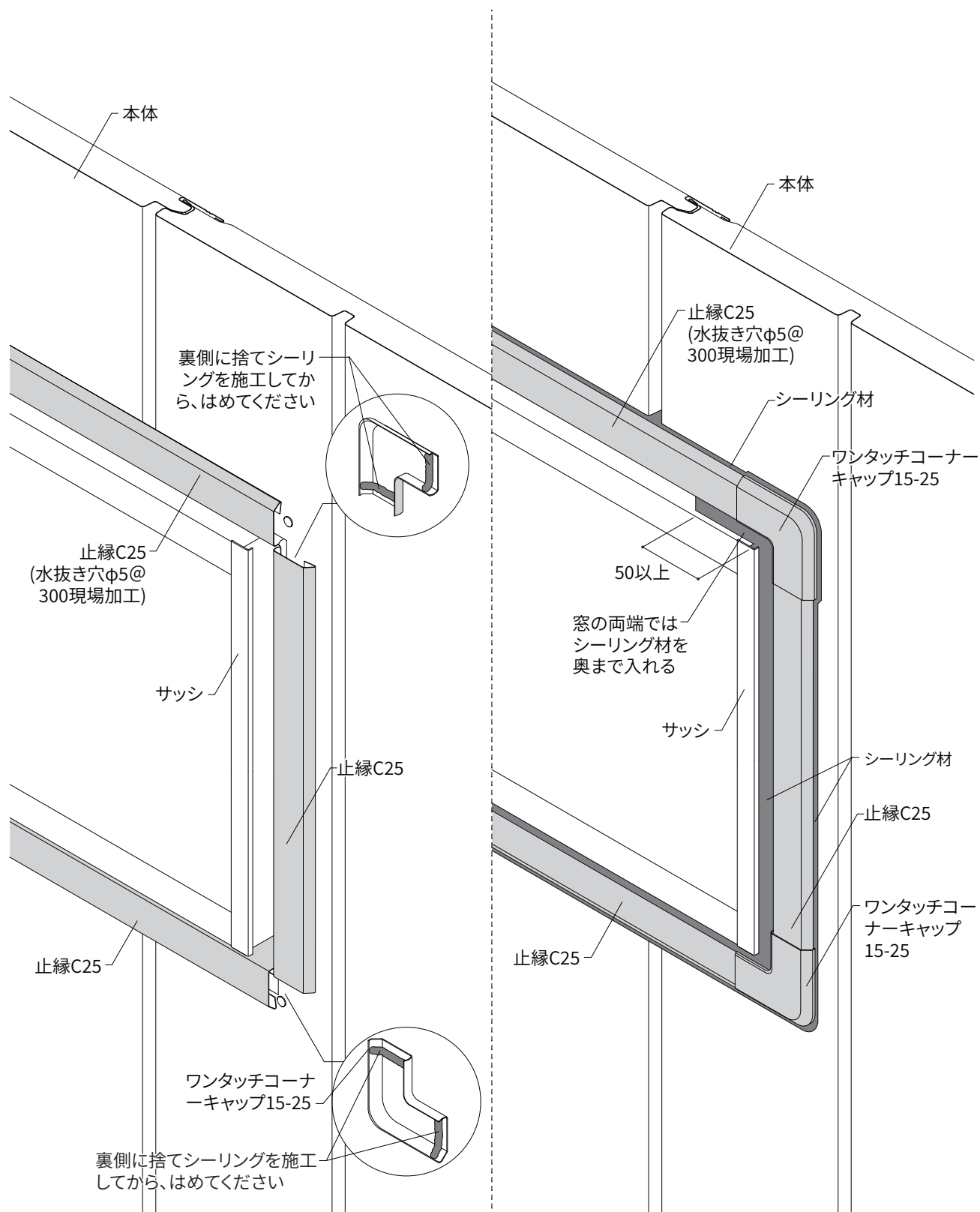


I. 開口部(1)－1 止縁C25仕様

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・開口部上では、止縁C25の下端とサッシの間に左右両端50mm程度のシーリング材を奥まで入れてください。
- ・脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：止縁C25・捨板(15×85)

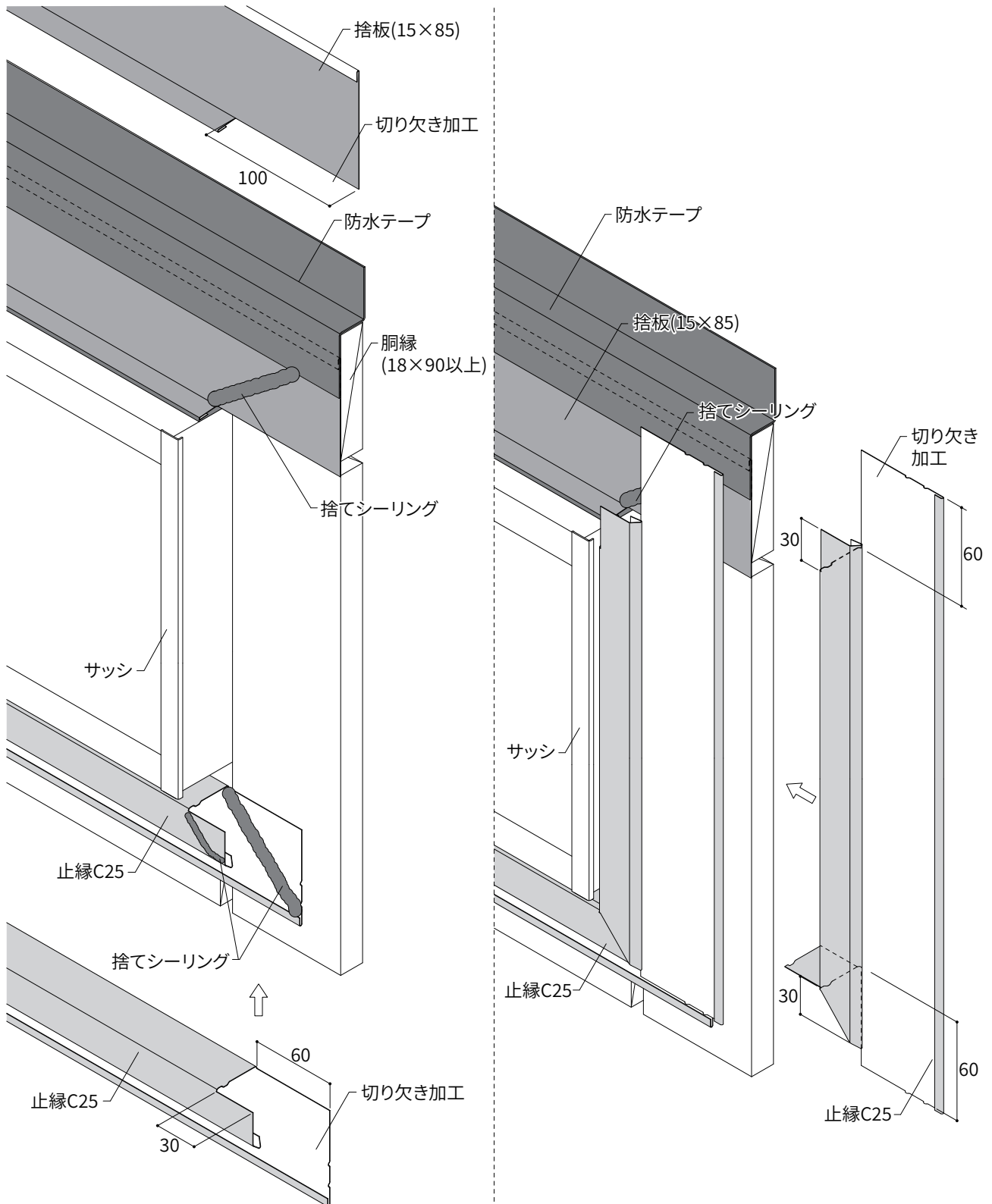


I. 開口部(1)－2 止縁C25仕様

隅角部を加工する場合

- ・捨板(15×85)とサッシの間には、捨てシーリングを施工してから取り付けてください。捨板(15×85)の上から防水テープを図の位置に施工してください。
- ・開口部下、開口部左右の順に止縁C25を取り付けてください。なお、各部材同士の重なり位置には捨てシーリングを施工してください。

使用部材：止縁C25・捨板(15×85)

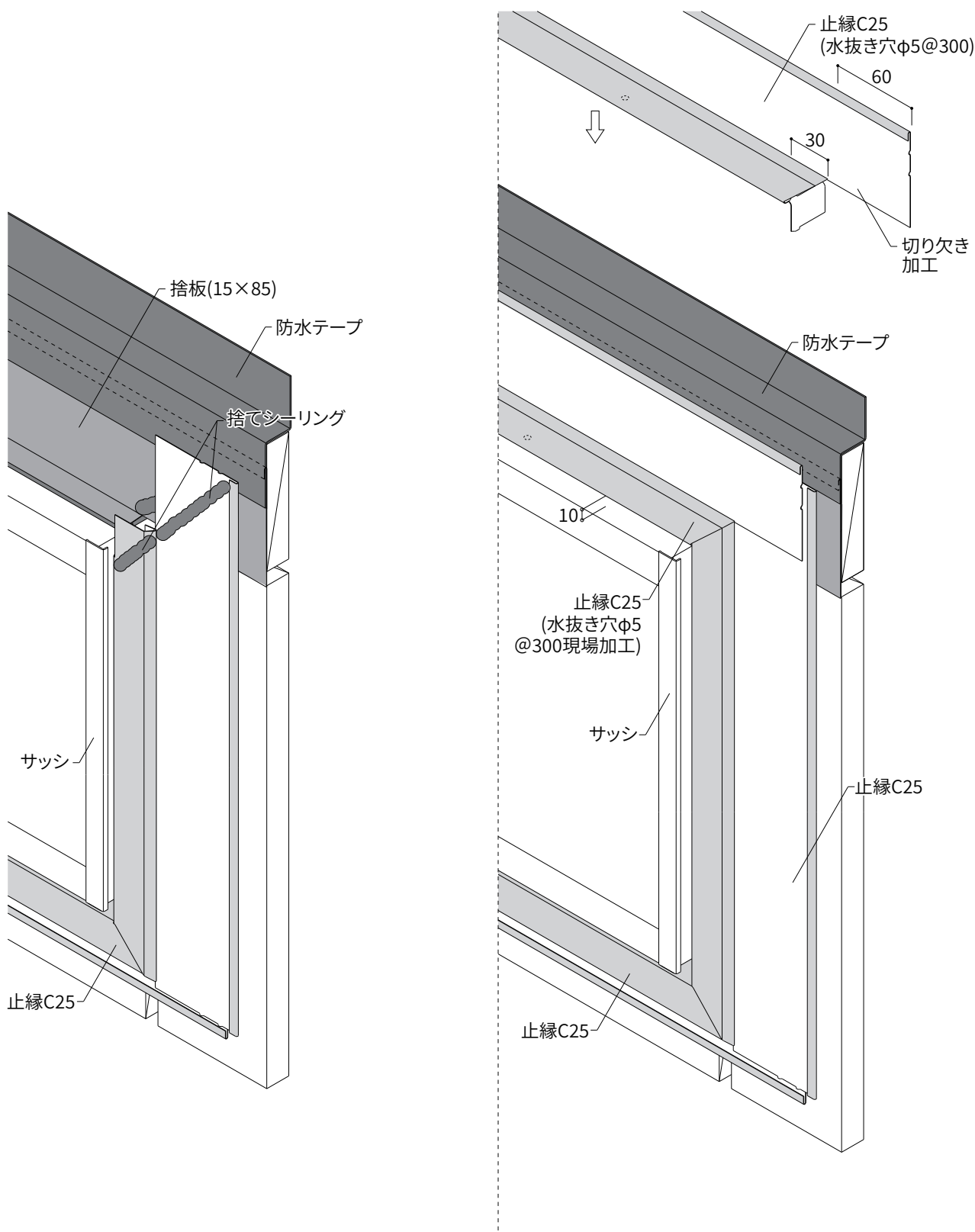


I. 開口部(1)－2 止縁C25仕様

隅角部を加工する場合

- ・開口部左右に施工した止縁C25同士が重なる箇所は、捨てシーリングを施工してからと開口部上の止縁C25を施工してください。
- ・開口部上には、止縁C25（水抜き穴φ5@300現場加工）の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて取り付けてください。

使用部材：止縁C25・捨板(15×85)

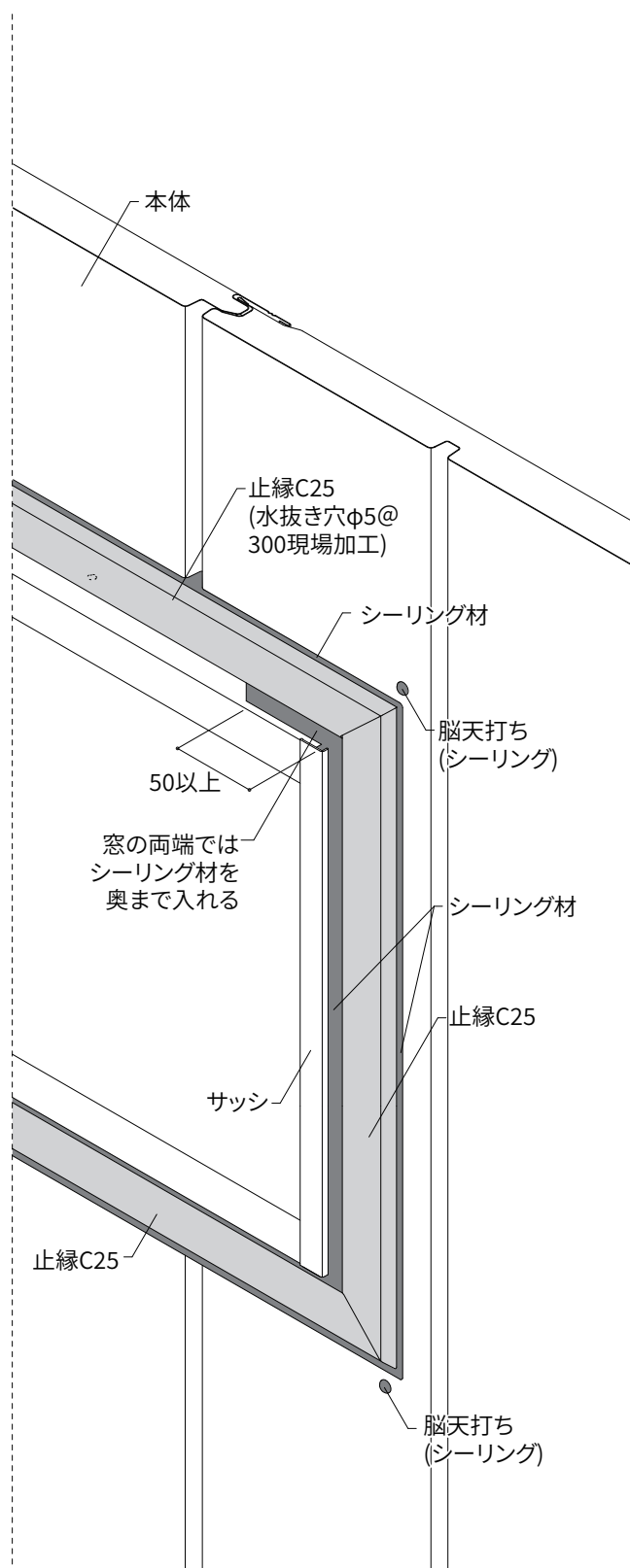
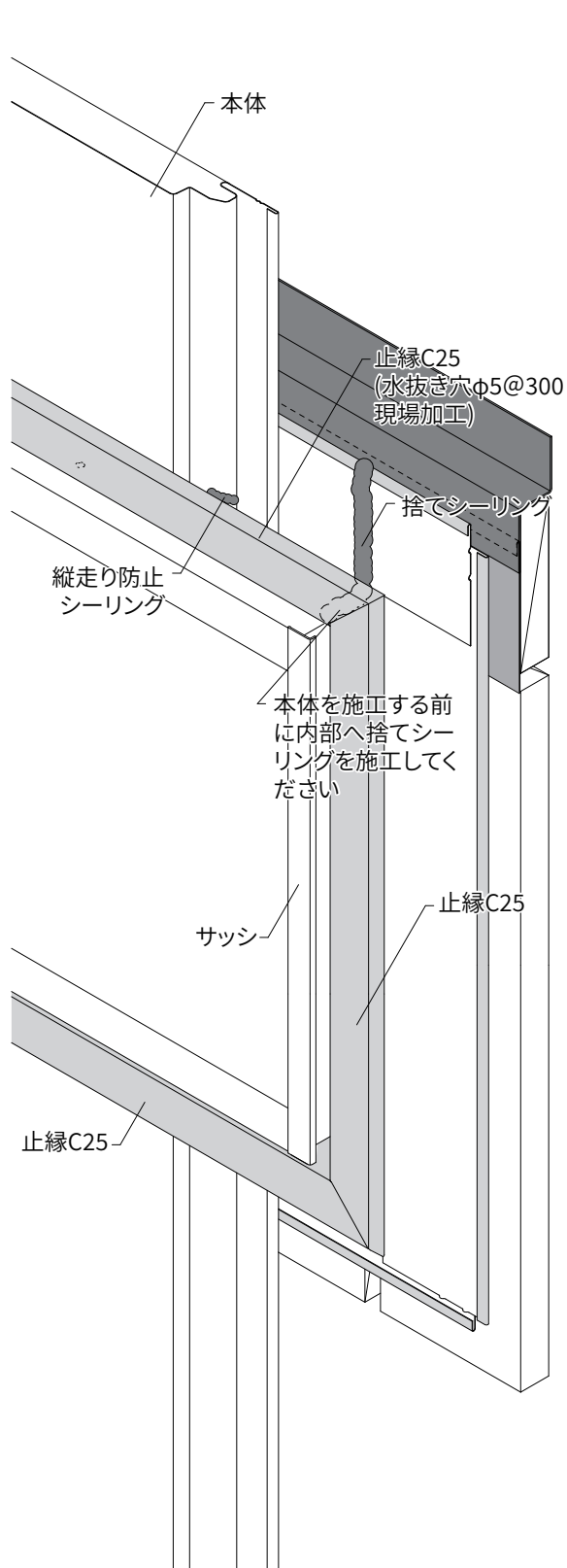


I. 開口部(1)－2 止縁C25仕様

隅角部を加工する場合

- 本体を施工する前に止縁C25の内部に捨てシーリングを施工してください。
- 開口部上に施工する本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。

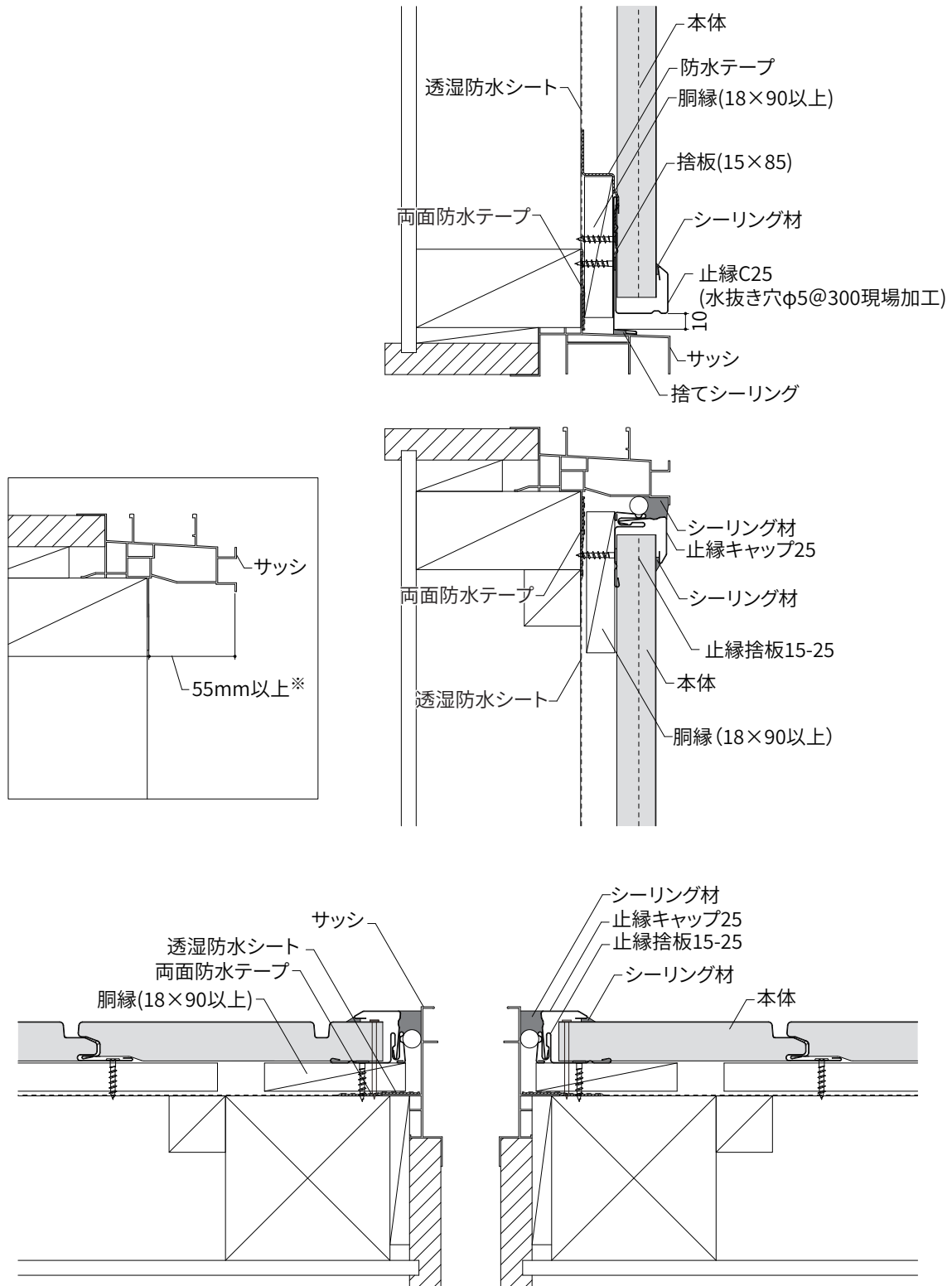
使用部材：止縁C25・捨て板(15×85)



I. 開口部(2) 止縁C25+止縁(2部材)仕様

- ・止縁C25をサッシ上部に取り付ける際は、あらかじめ水抜き穴をあけてから取り付けてください。
- ・本体の端部は必ず留め具(スクリューくぎまたは木ねじ)で、直接下地に留め付けてください。
- ※ 下地表面からサッシの出幅が55mm以上の場合に、施工できます。

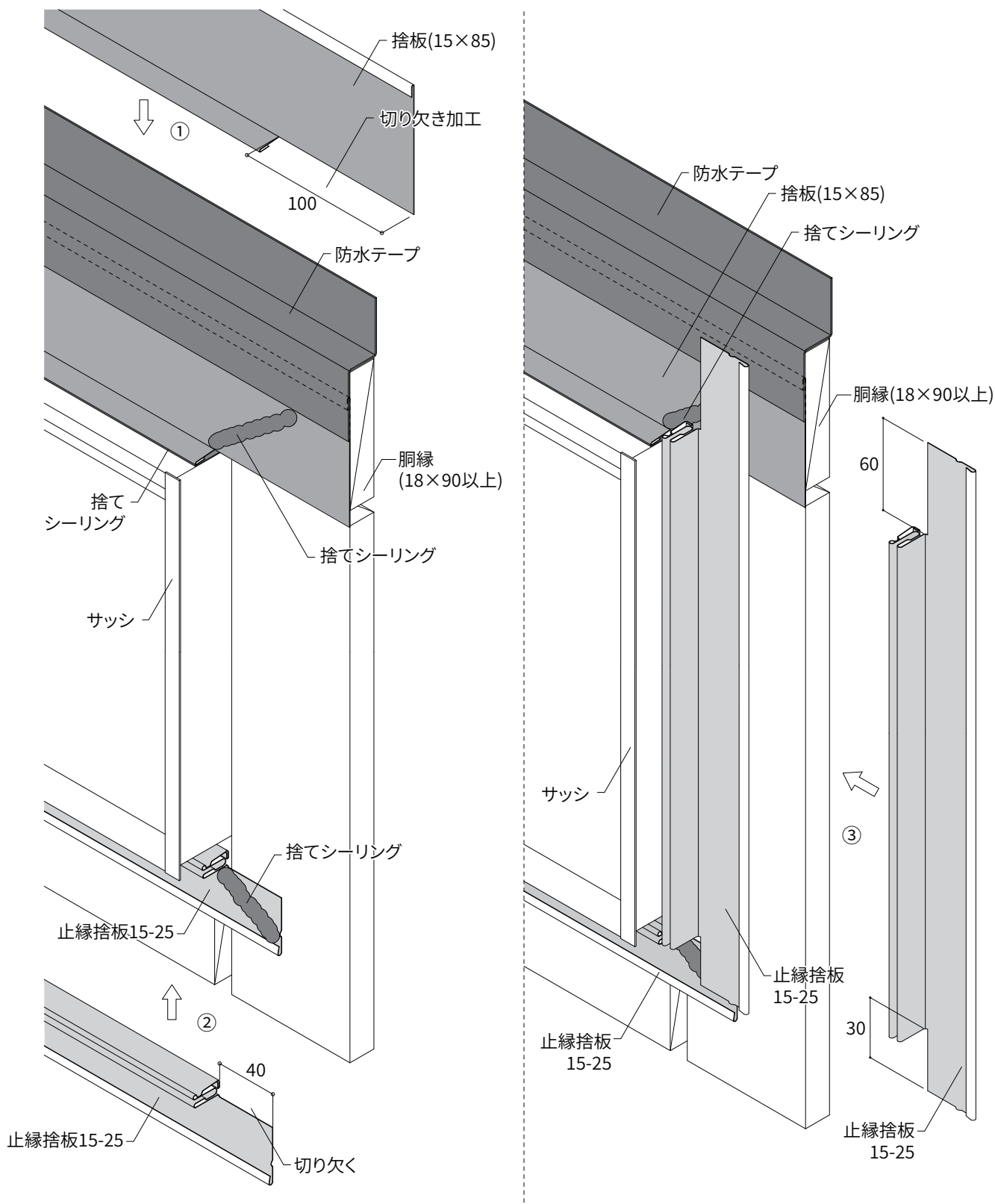
使用部材: 止縁C25・止縁キャップ25・止縁捨板15-25・捨板(15×85)



I. 開口部(2)－1 止縁C25+止縁(2部材)仕様 隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ① 捨板(15×85)とサッシの間には、捨てシーリングを施工してから取り付けてください。捨板(15×85)の上から防水テープを図の位置に施工してください。
- ② 開口部下、③ 開口部左右の順に止縁捨板15-25を取り付けてください。なお、各部材同士の重なり位置には捨てシーリングを施工してください。

使用部材：止縁C25・捨板(15×85)・止縁キャップ25・止縁捨板15-25

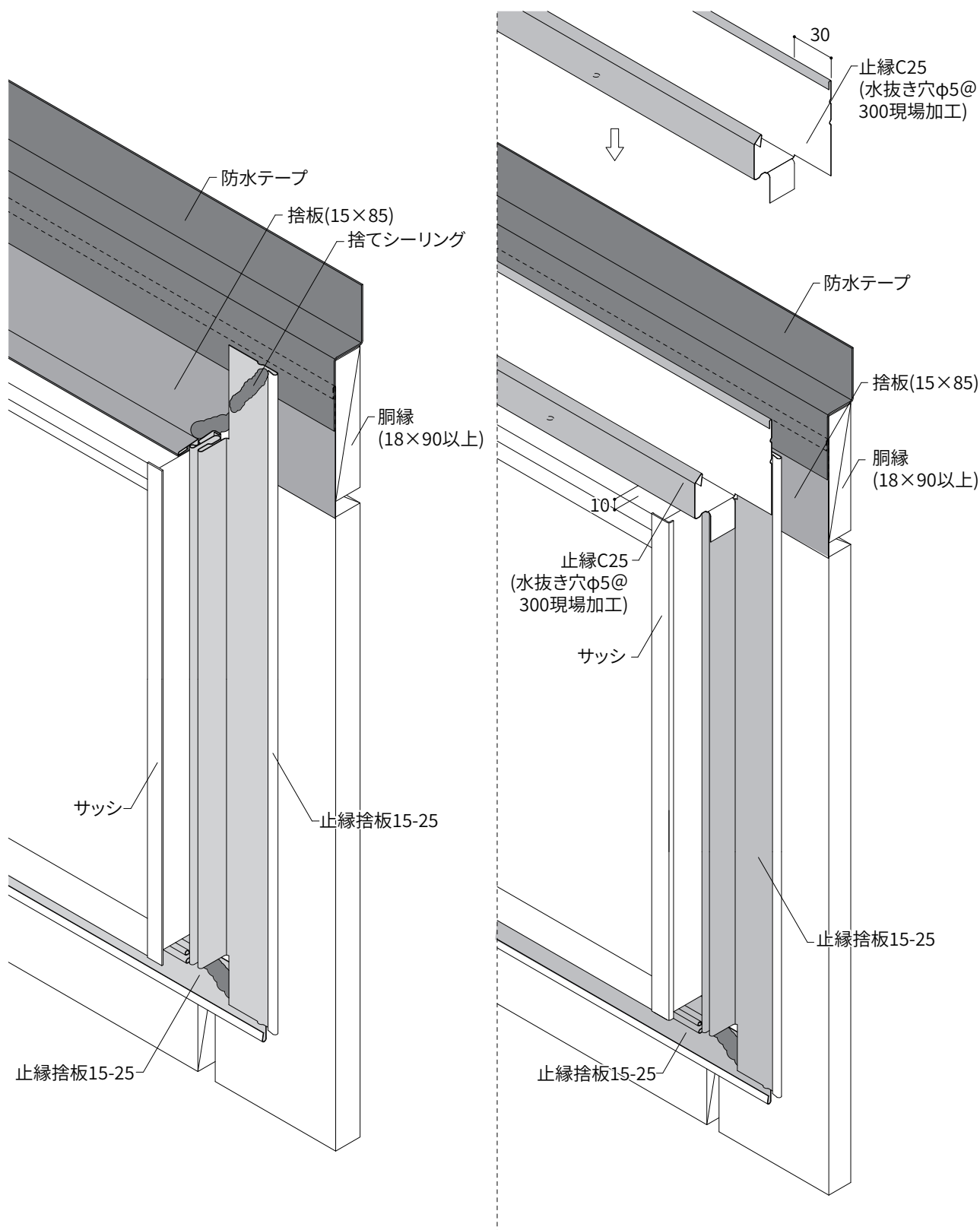


I. 開口部(2)－1 止縁C25+止縁(2部材)仕様

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・開口部左右に、止縁捨板15-25を取り付けてください。
- ・開口部上には、止縁C25(水抜き穴φ5@300現場加工)の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて取り付けてください。止縁C25の左右両端の内部には、捨てシーリングを施工してください。

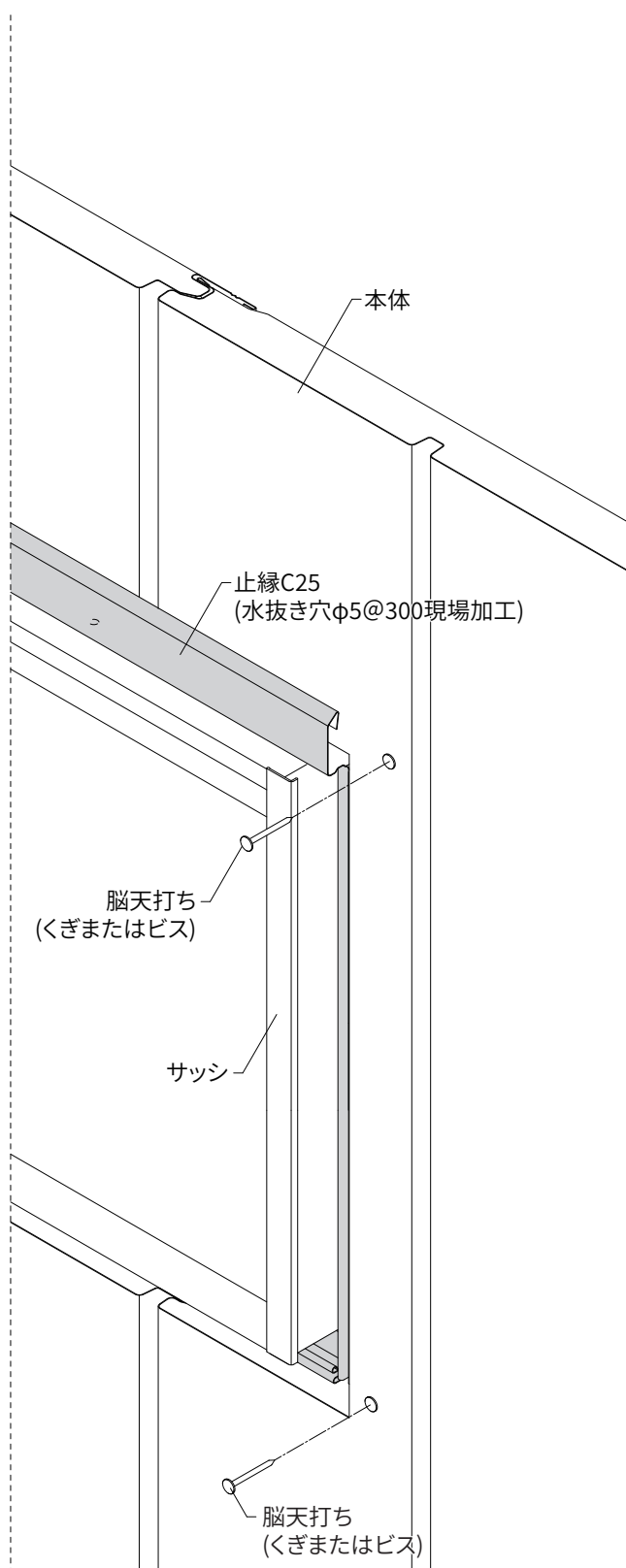
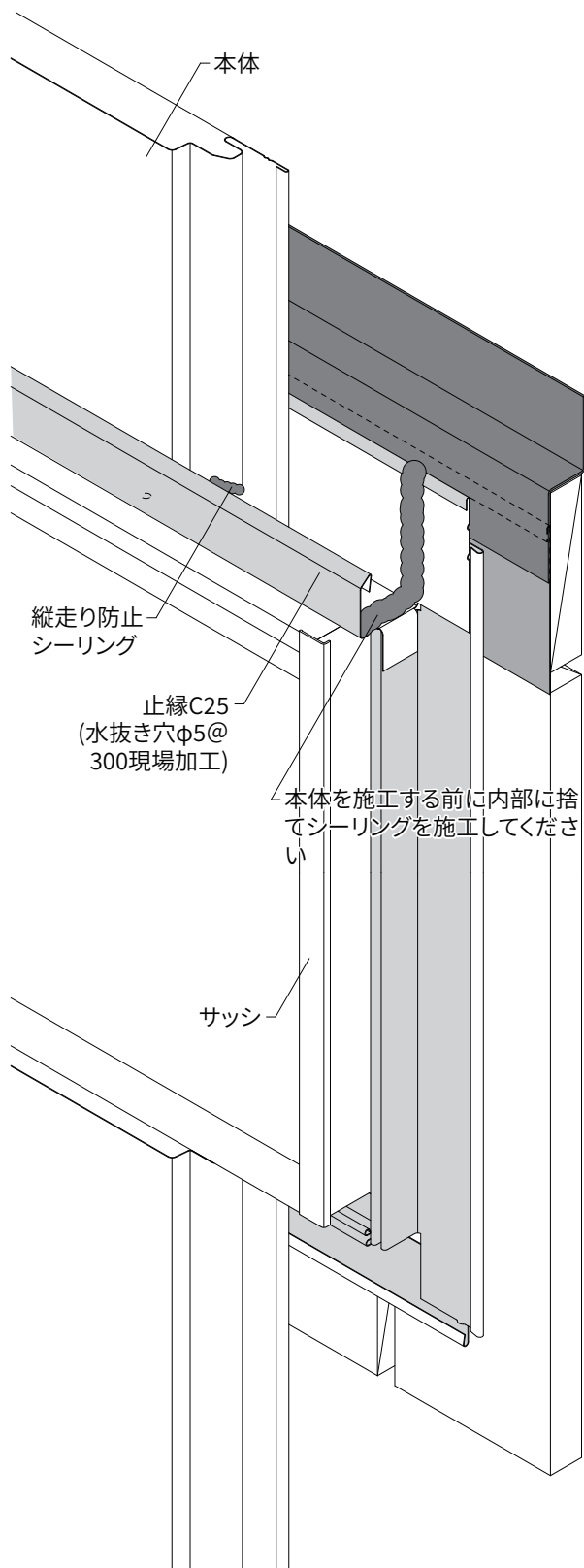
使用部材：止縁C25・捨板(15×85)・止縁キャップ25・止縁捨板15-25



I. 開口部(2)－1 止縁C25+止縁(2部材)仕様 隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ・ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。

使用部材：止縁C25・捨板(15×85)・止縁キャップ25・止縁捨板15-25

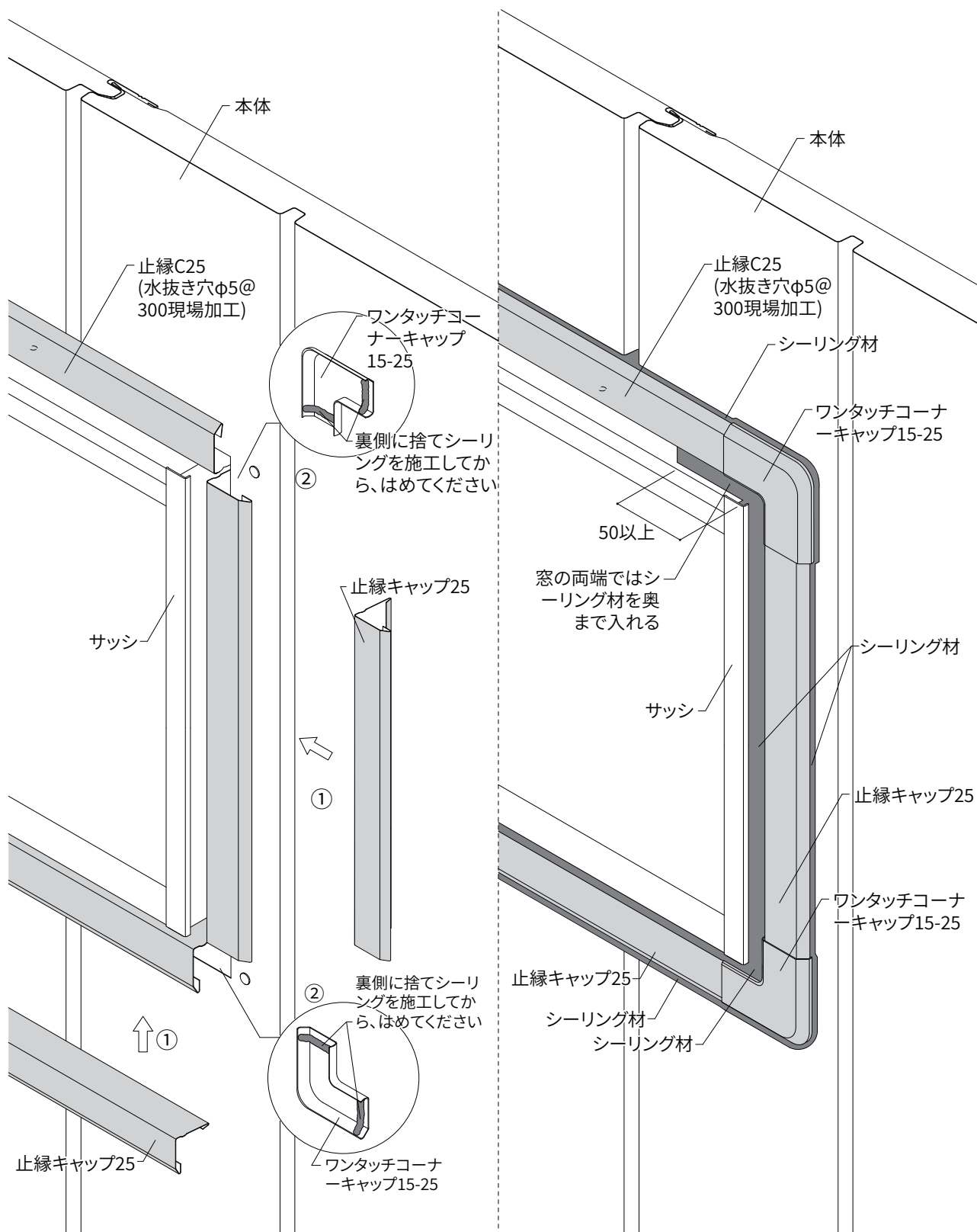


I. 開口部(2)－1 止縁C25+止縁(2部材)仕様

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ・ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。
- ①開口部左右および開口部下に、止縁キャップ25を施工してください。
- ②ワンタッチコーナーキャップ15-25の裏側に捨てシーリングを施工してから、はめてください

使用部材:止縁C25・捨板(15×85)・止縁キャップ25・止縁捨板15-25

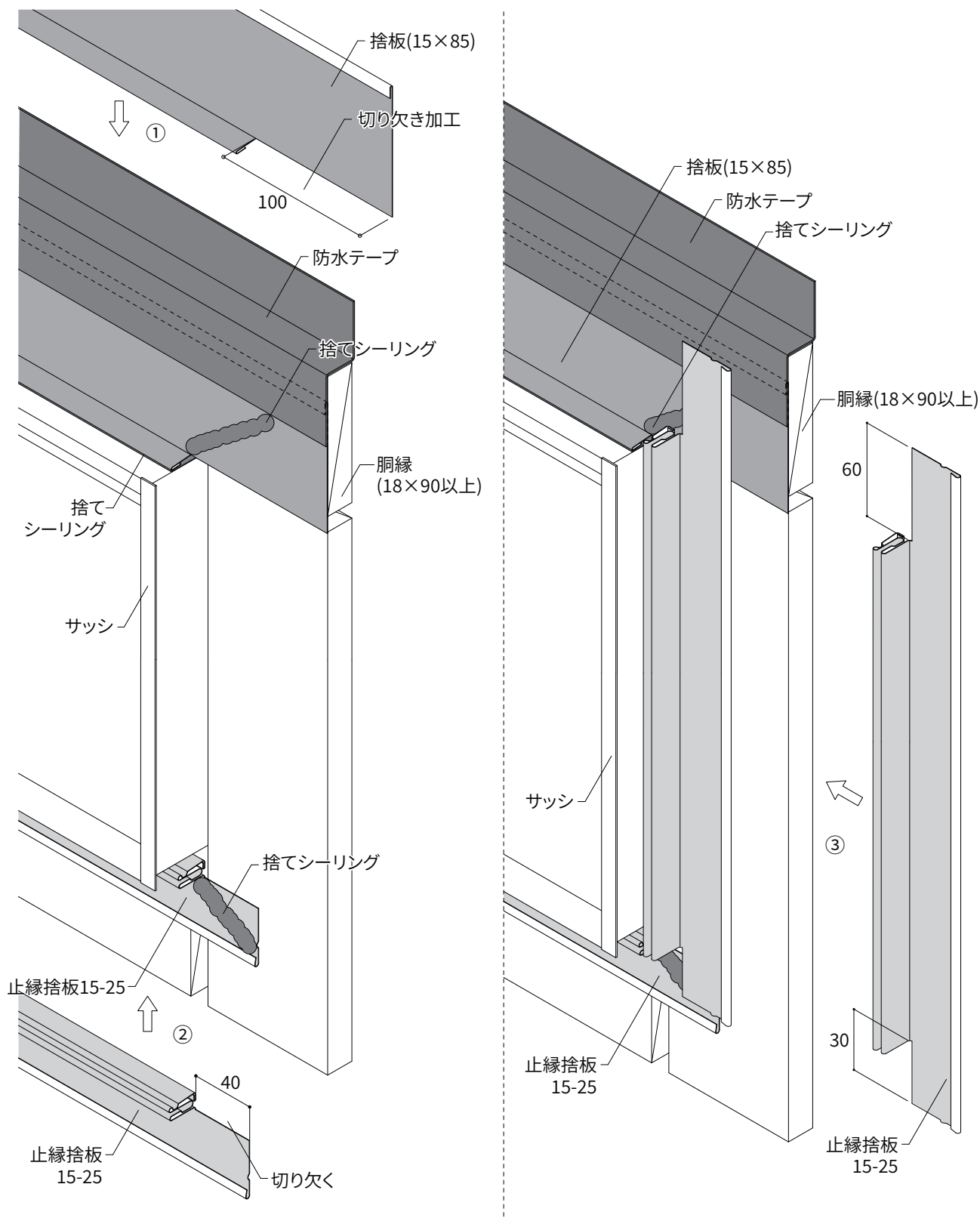


I. 開口部(2)－2 止縁C25+止縁(2部材)仕様

隅角部を加工する場合

- ① 捨板(15×85)とサッシの間には、捨てシーリングを施工してから取り付けてください。捨板(15×85)の上から防水テープを箇所の位置に施工してください。
- ② 開口部下、開口部左右の順に止縁捨板15-25を取り付けてください。なお、各部材同士の重なり位置には捨てシーリングを施工してください。

使用部材：止縁C25・捨板(15×85)・止縁キャップ25・止縁捨板15-25

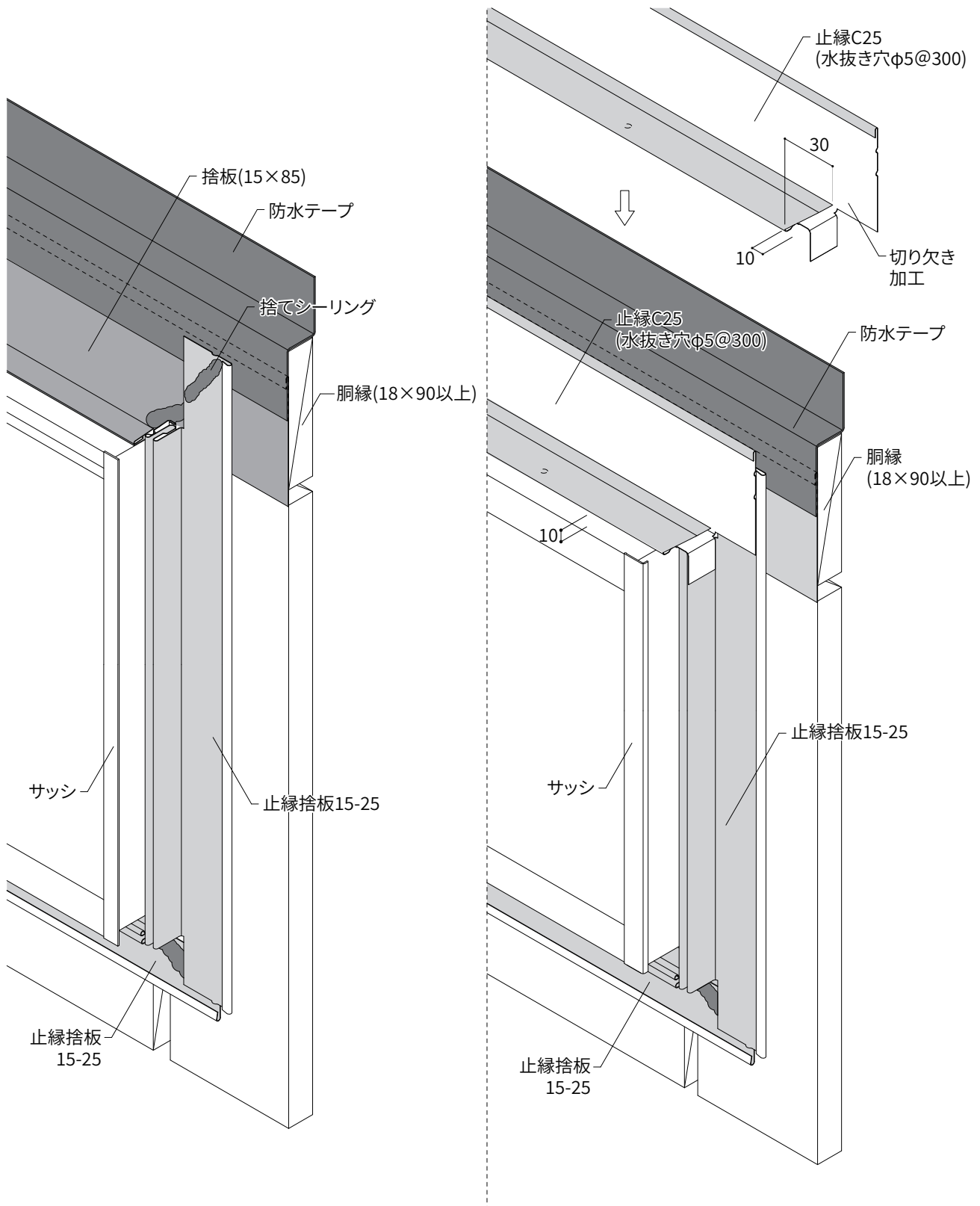


Ⅰ. 開口部(2)－2 止縁C25+止縁(2部材)仕様

隅角部を加工する場合

- ・開口部上には、止縁C25(水抜き穴φ5@300現場加工)の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて取り付けてください。

使用部材：止縁C25・捨板(15×85)・止縁キャップ25・止縁捨板15-25

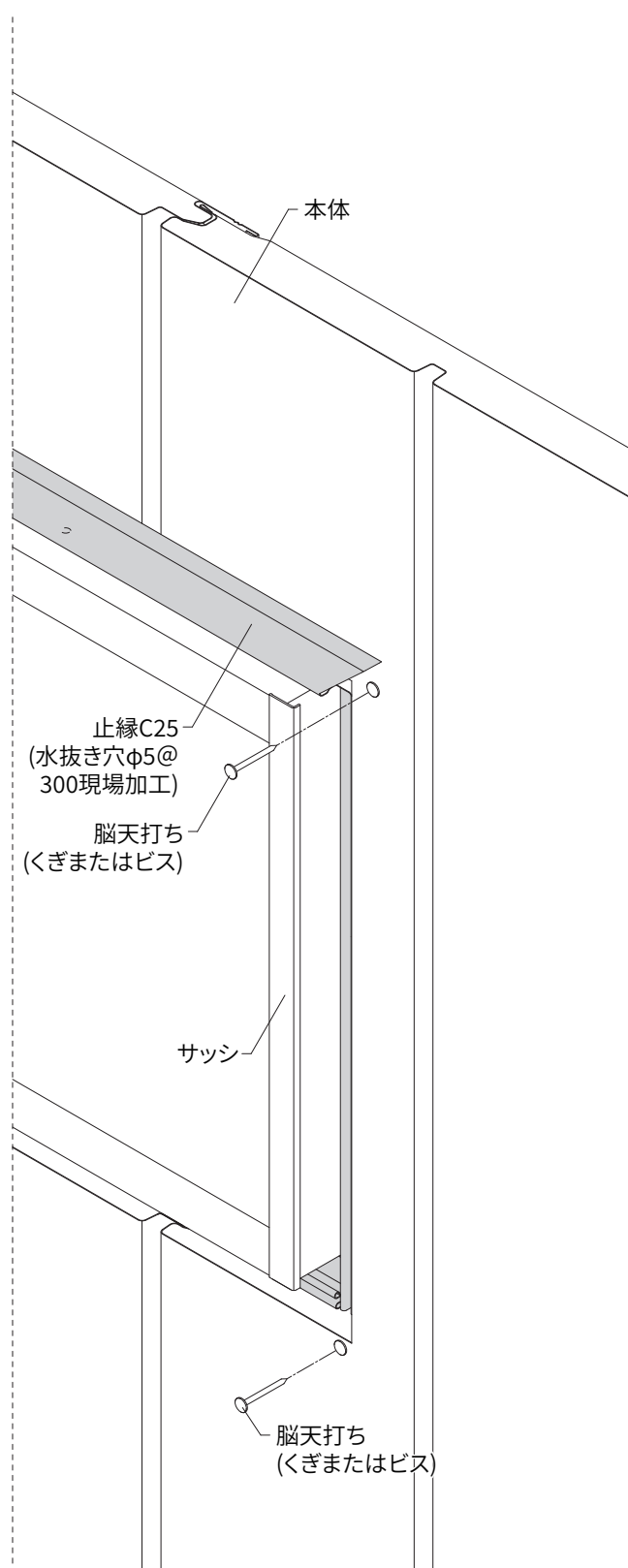
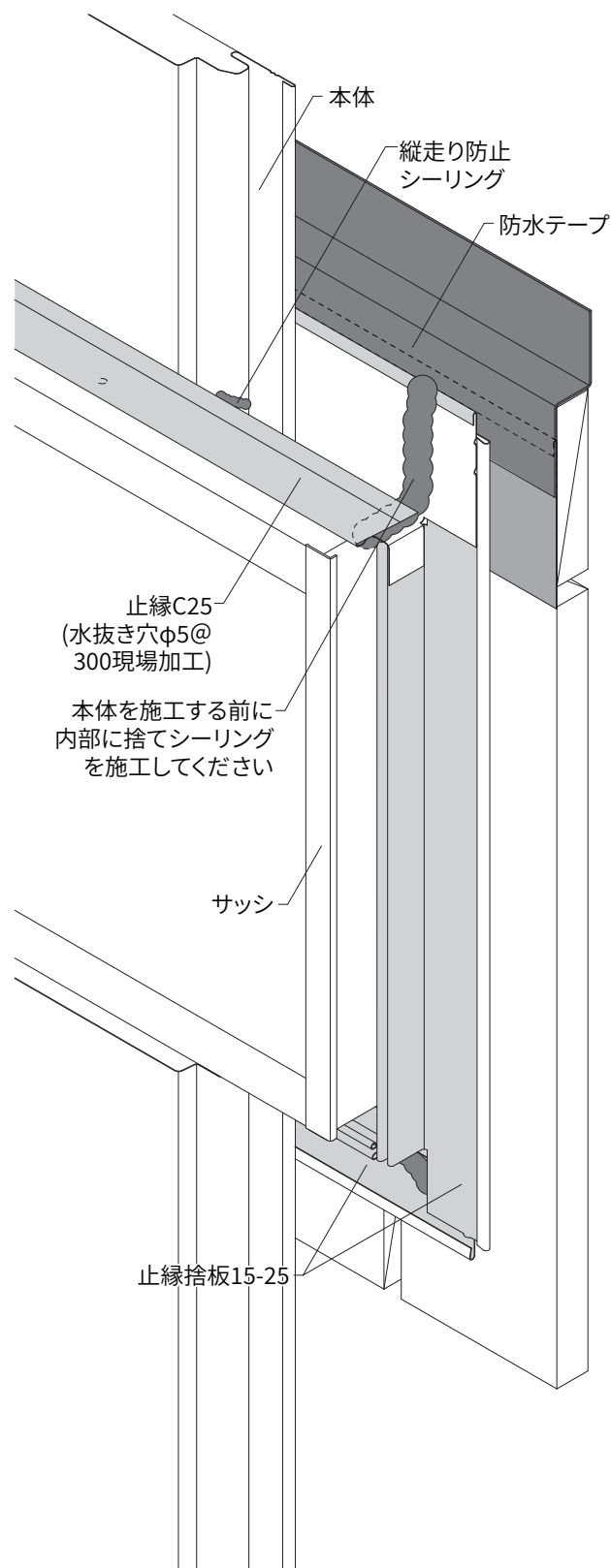


I. 開口部(2)－2 止縁C25+止縁(2部材)仕様

隅角部を加工する場合

- ・開口部上に施工する本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ・本体を施工する前に止縁C25の内部に捨てシーリングを施工してください。
- ・脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。

使用部材：止縁C25・捨て板(15×85)・止縁キャップ25・止縁捨て板15-25

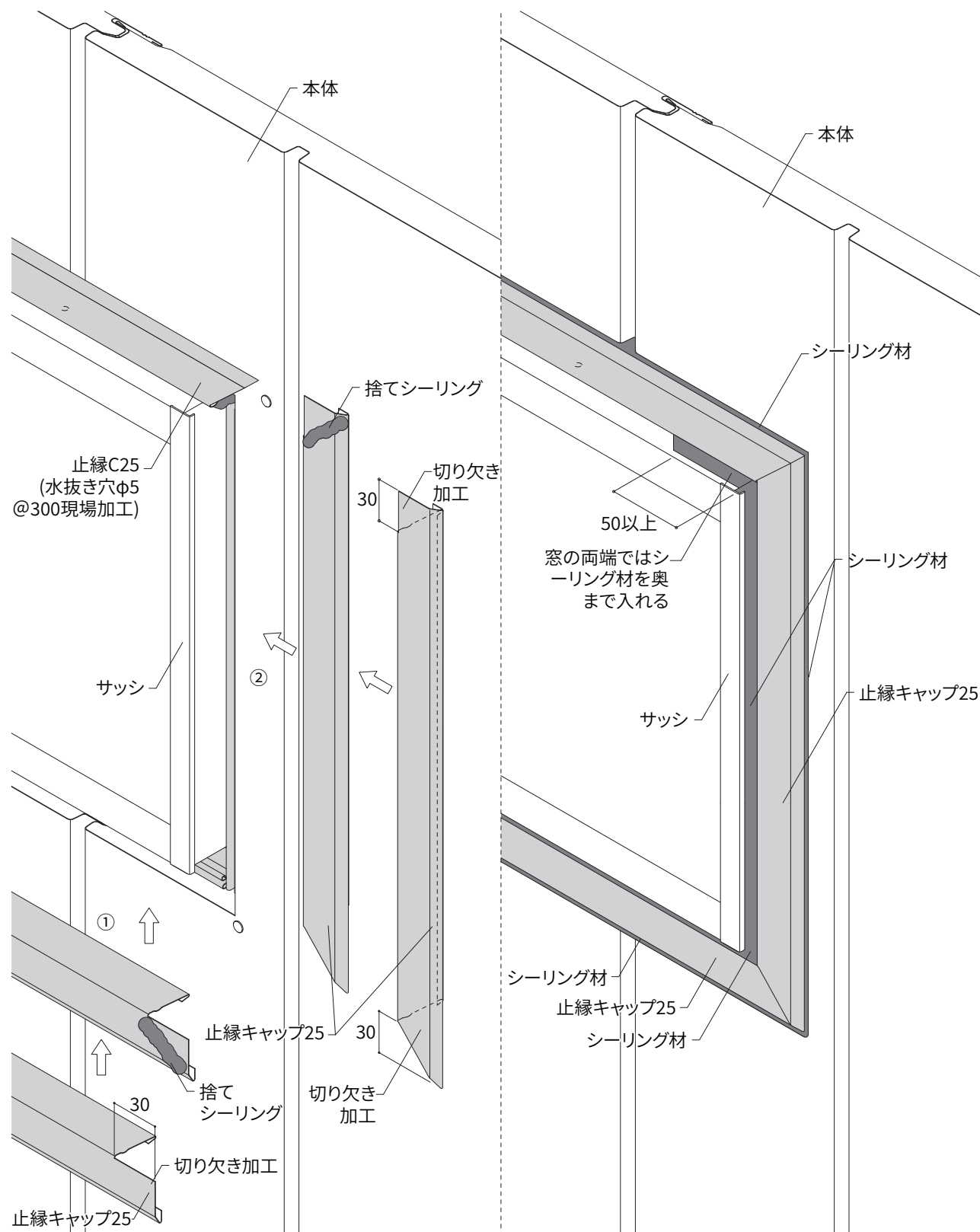


Ⅰ. 開口部(2)－2 止縁C25+止縁(2部材)仕様

隅角部を加工する場合

- ・開口部上では、止縁C25の下端とサッシの間に左右両端50mm程度のシーリング材を奥まで入れてください。
- ・脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：止縁C25・捨板(15×85)・止縁キャップ25・止縁捨板15-25



7 部材の加工例とつなぎ方

7－1．部材の加工例	．．．．P62
7－2．部材のつなぎ方	．．．．P68

7.部材の加工例とつなぎ方

7-1. 部材の加工例

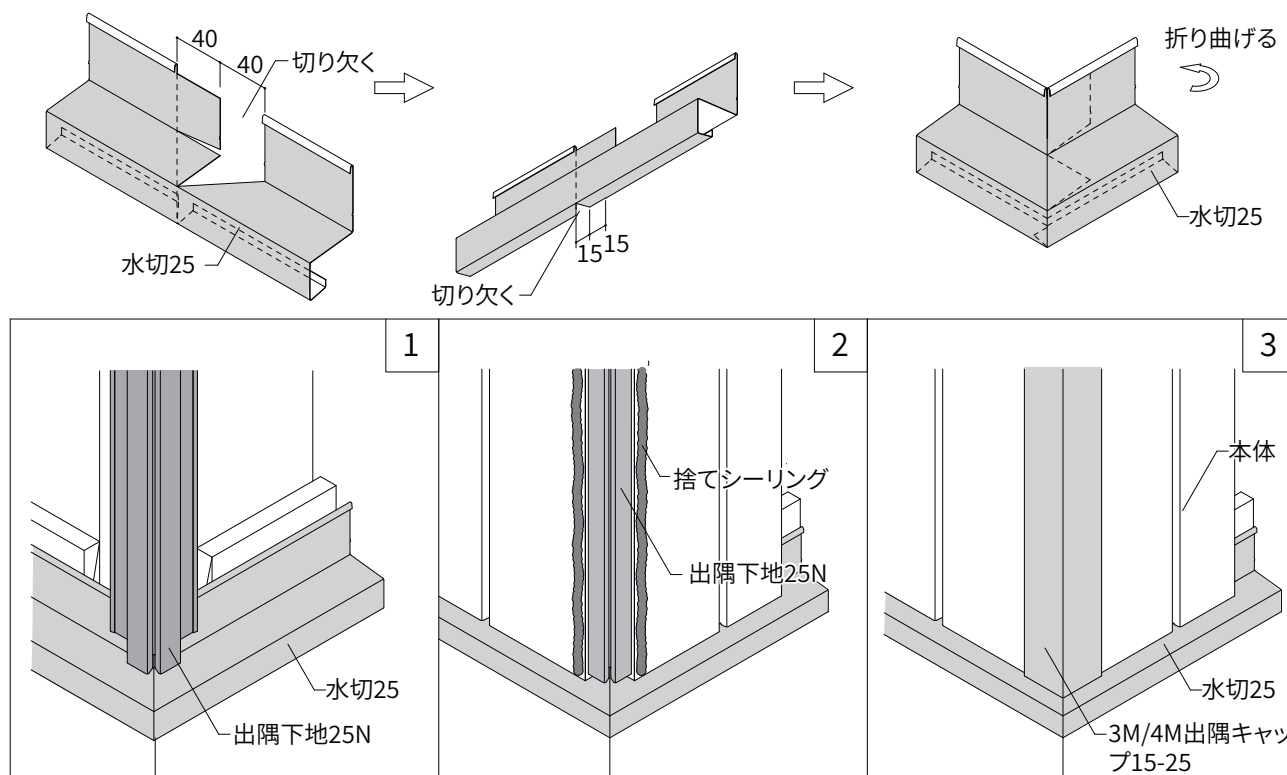
単位：mm

土台部・縦継ぎ部[出隅部] (1)

使用部材：水切25・3M/4M出隅キャップ15-25・出隅下地25N

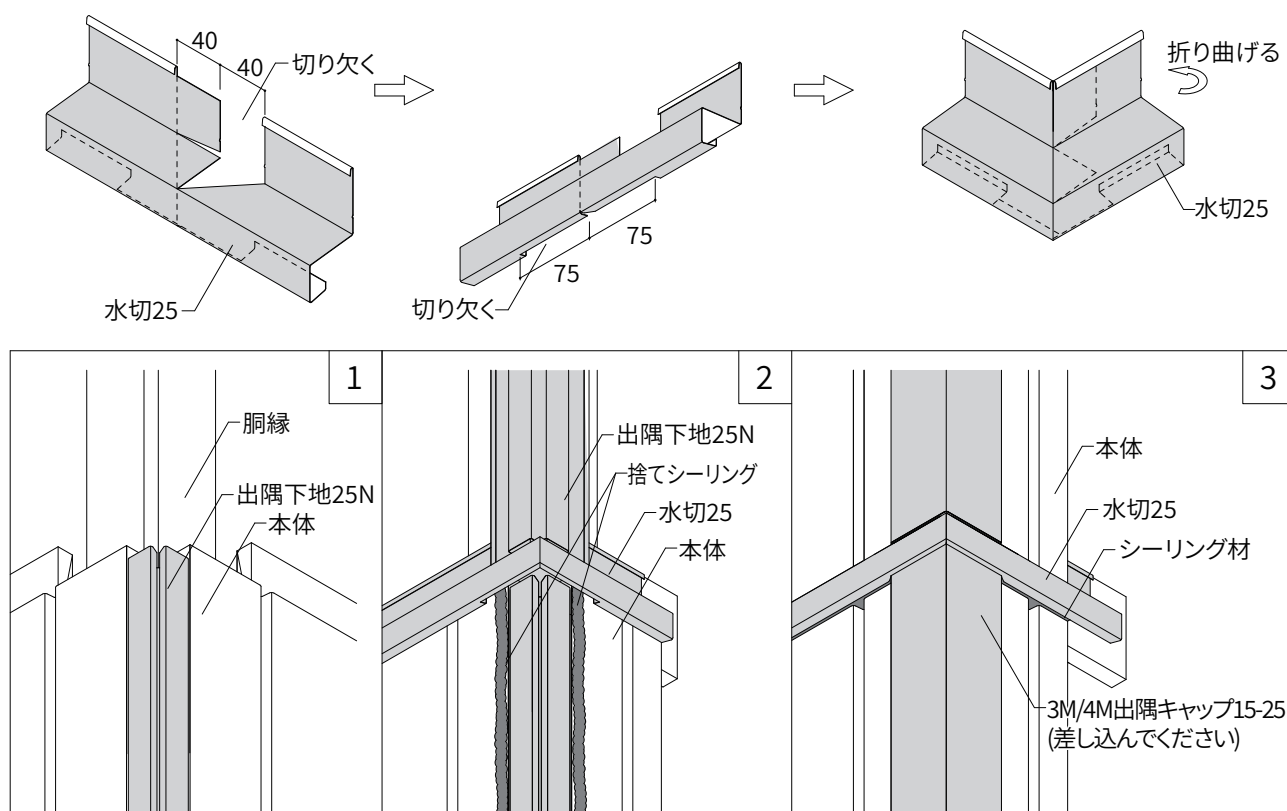
土台部[出隅]

下図の方法で部材を切り欠き加工し ① ～ ③ の順序で施工してください。



縦継ぎ部[出隅]

下図の方法で部材を切り欠き加工し ① ～ ③ の順序で施工してください。

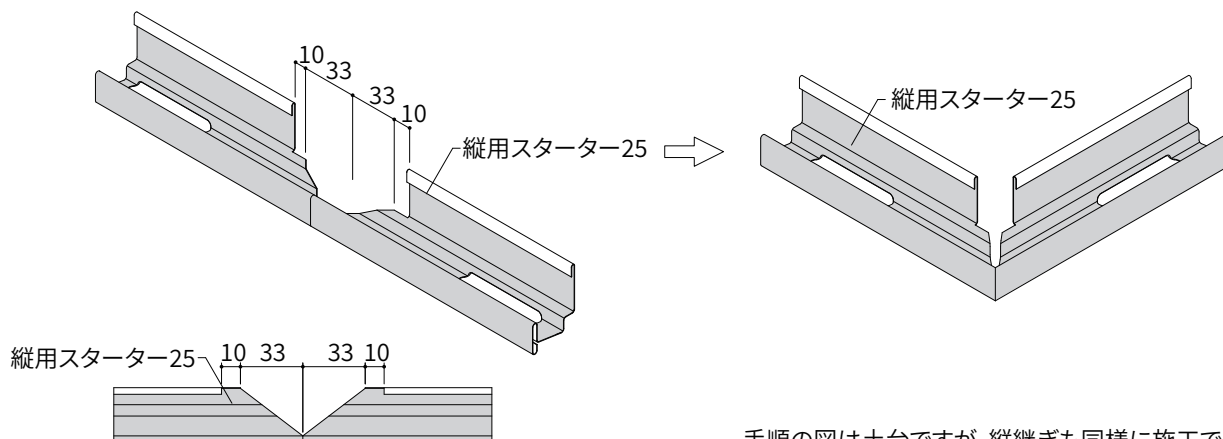


7-1. 部材の加工例

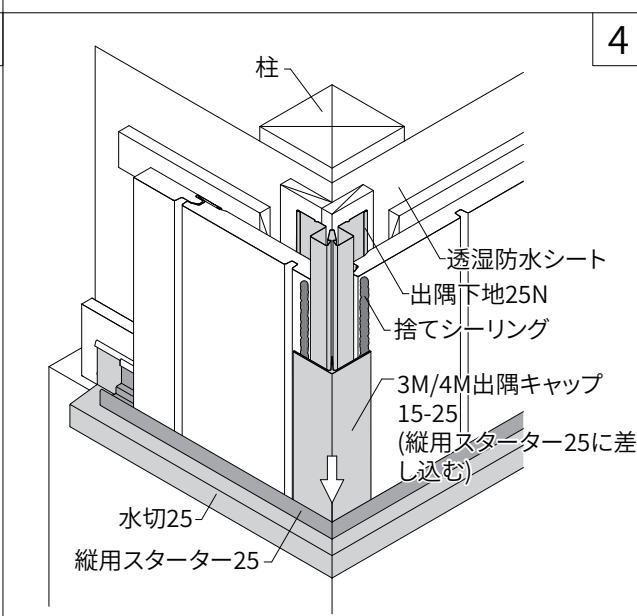
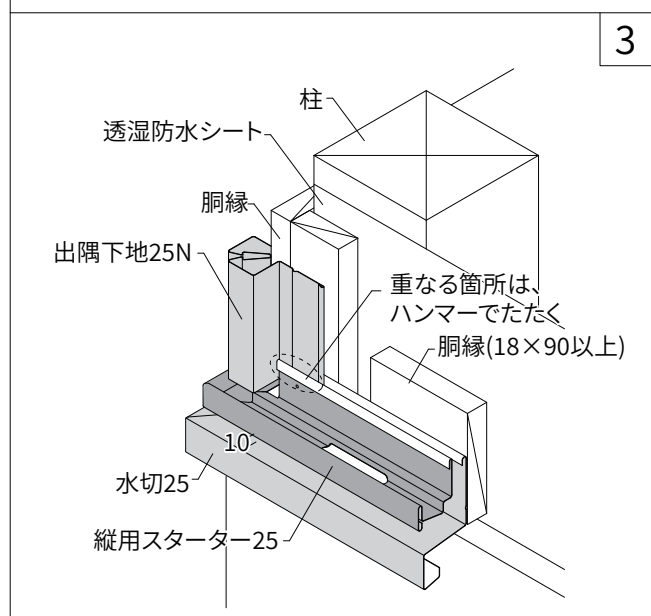
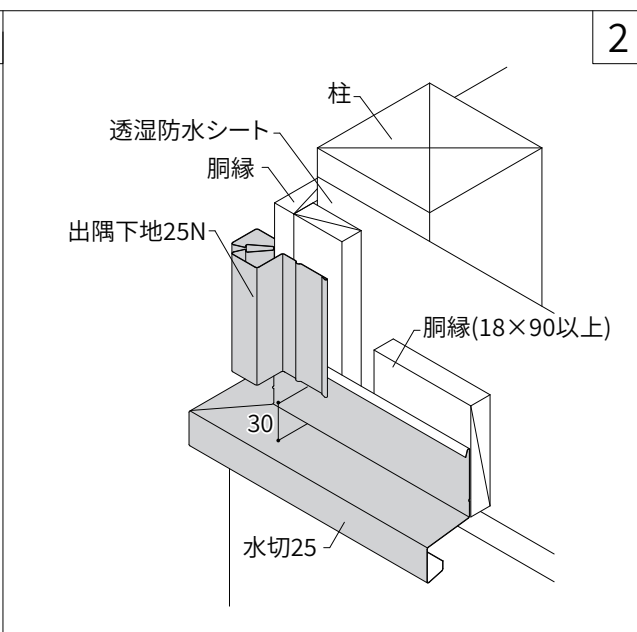
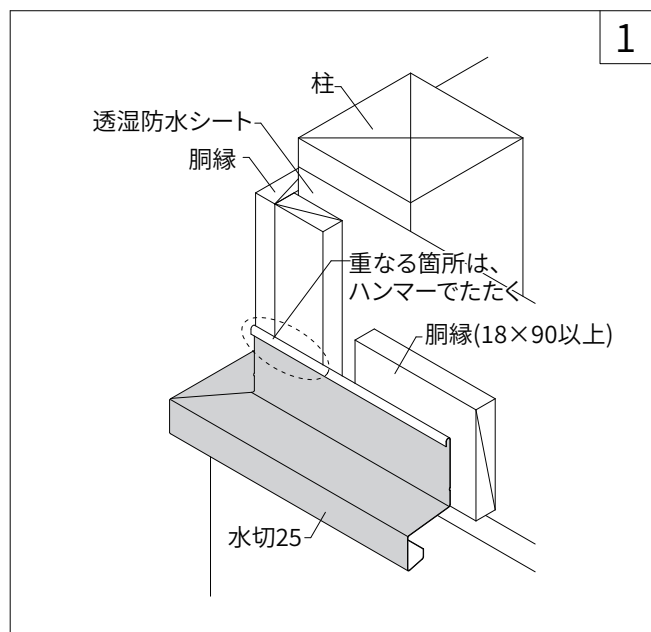
土台部・縦継ぎ部[出隅部](2)

使用部材:水切25・縦用スターター25・3M/4M出隅キャップ15-25・出隅下地25N

下図の方法で部材を切り欠き加工し **1** ～ **4** の順序で施工してください。



手順の図は土台ですが、縦継ぎも同様に施工できます。



7.部材の加工例とつなぎ方

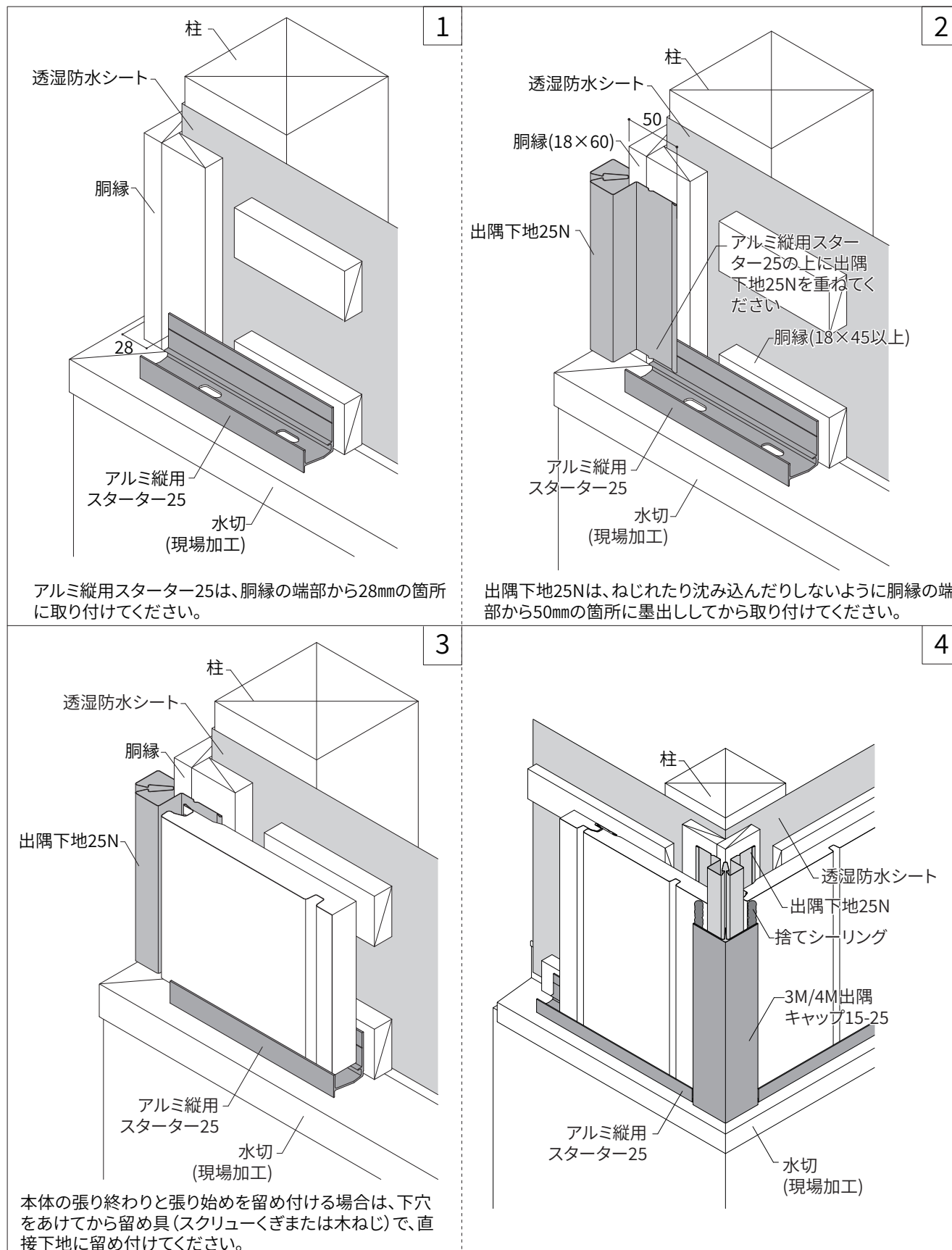
7-1. 部材の加工例

単位：mm

土台部[出隅部] (1)

使用部材：水切25・アルミ縦用スターター25・3M/4M出隅キャップ15-25・出隅下地25N

下図の順序で施工してください。



7.部材の加工例とつなぎ方

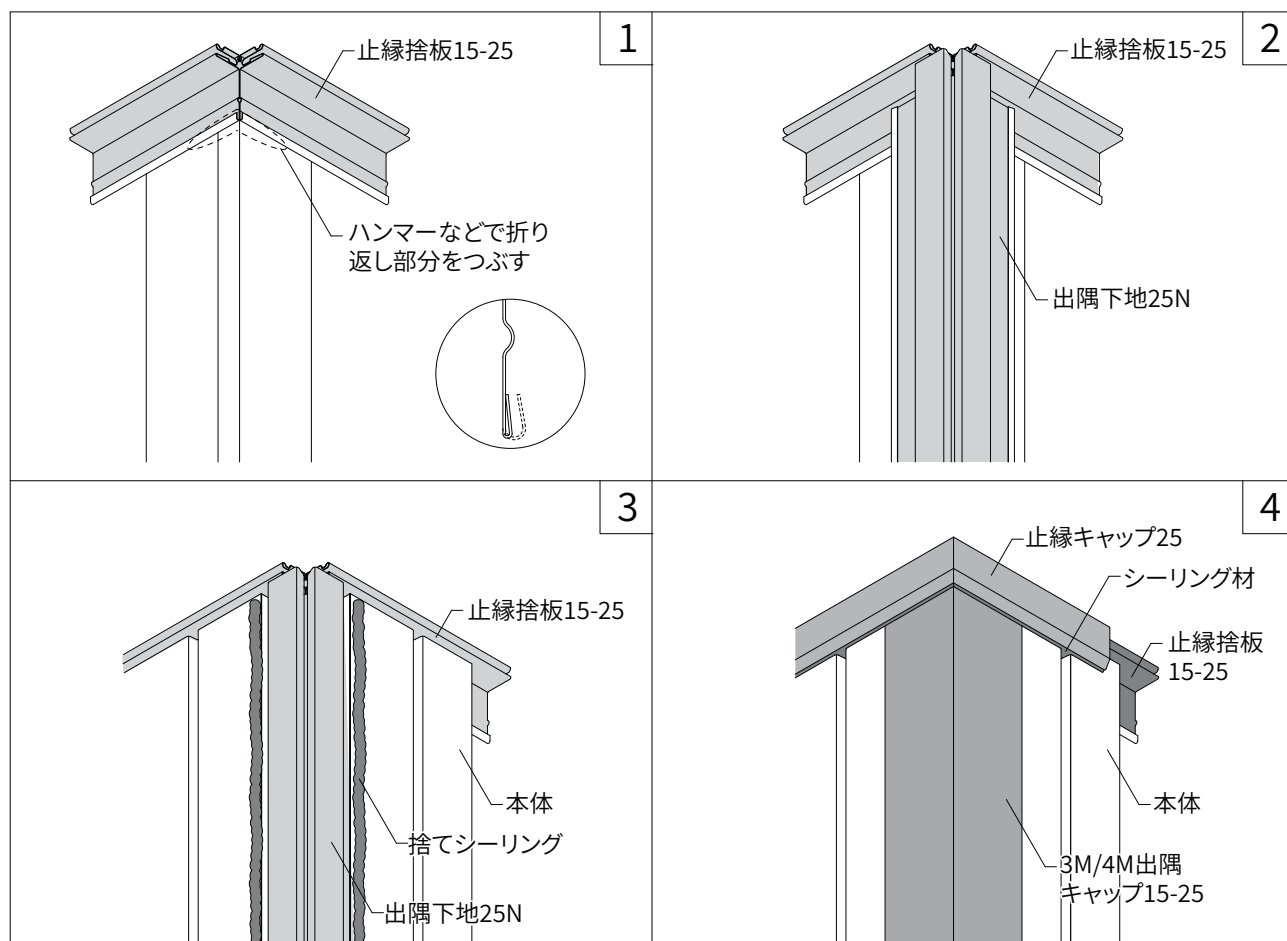
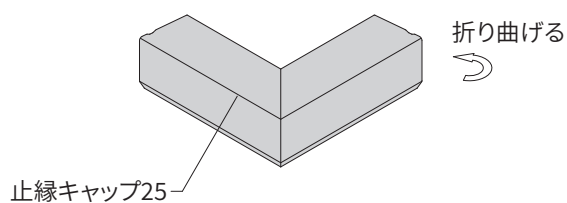
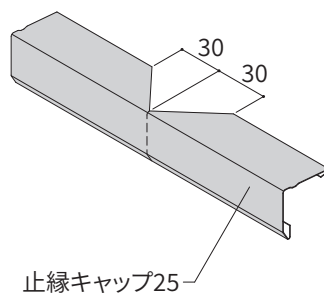
7-1. 部材の加工例

単位：mm

軒部[出隅部]①

使用部材：止縁キャップ25・止縁捨板15-25・3M/4M出隅キャップ15-25・出隅下地25N

下図の方法で部材を切り欠き加工し 1 ～ 4 の順序で施工してください。



7.部材の加工例とつなぎ方

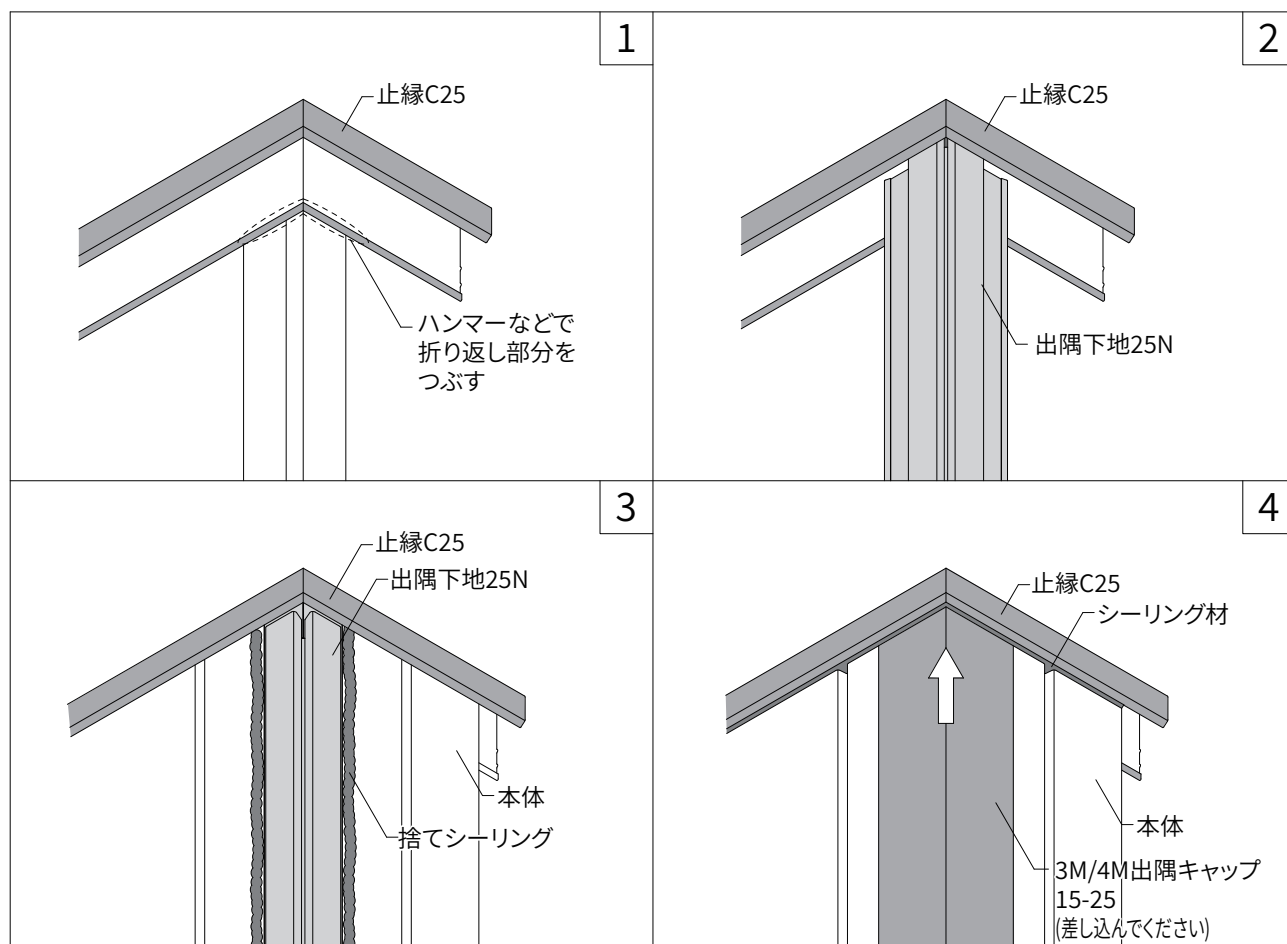
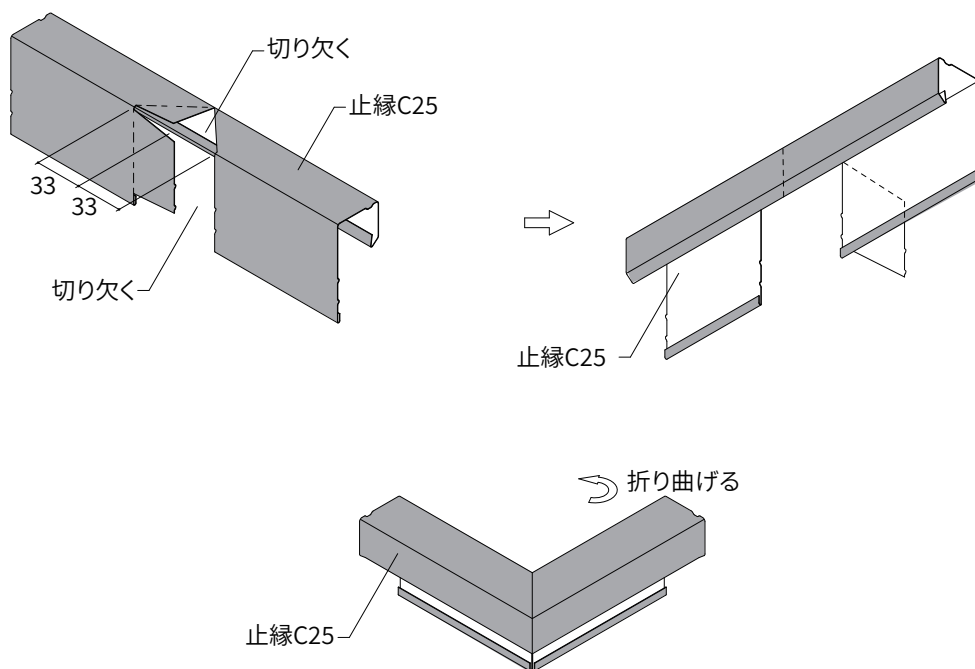
7-1. 部材の加工例

単位：mm

軒部[出隅]②

使用部材：止縁C25・3M/4M出隅キャップ15-25・出隅下地25N

下図の方法で部材を切り欠き加工し 1 ～ 4 の順序で施工してください。



7.部材の加工例とつなぎ方

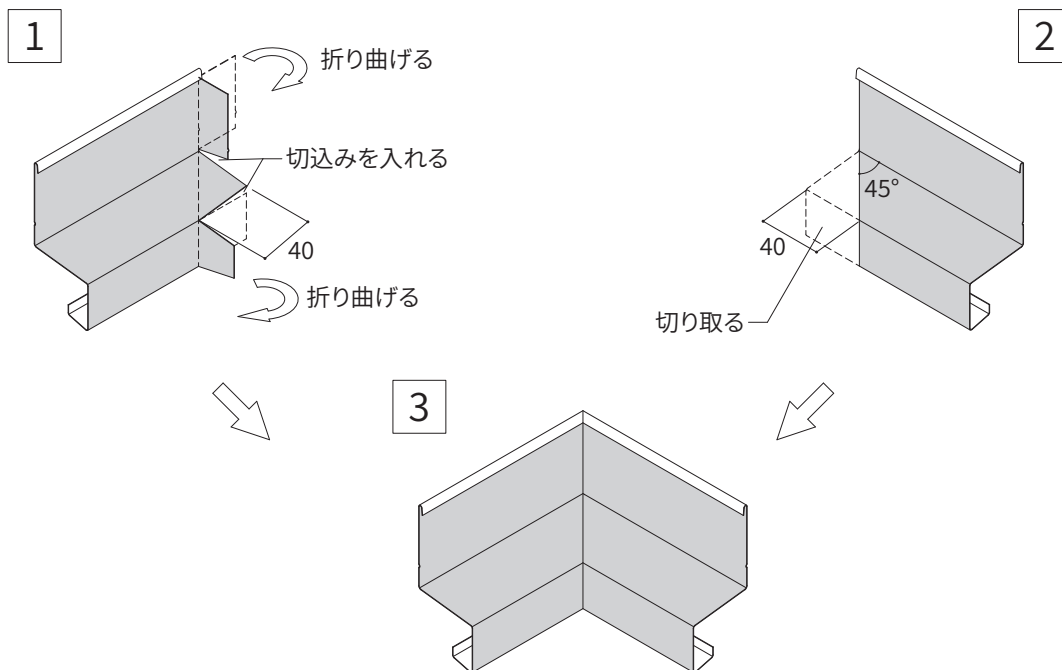
7-1. 部材の加工例

単位：mm

土台部[入隅部]

使用部材：水切25

1 ～ 3 の順序で切り欠き加工してください。



7-2. 部材のつなぎ方

単位：mm

